

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会

★総 括★

2019 年は、「我が事、丸ごと」地域共生社会の実現へ“市社協の使命を認識し実行する”をスローガンに昨年策定した社会福祉協議会中期事業計画に基づき、各課長を中心に計画（P）→実行（D）→検証（C）→見直し（A）のサイクルで、ひとりひとりが役割と機能を確認しながら、チームワークを進めることができました。また、課を横断したプロジェクトチームにおいては、メンバー全員の視点と市民発想により、社協が行っている事業について、事業開始の経緯と歴史を学び、改めて認識すること、間違っていて認識していることなどを整理し、現代とのマッチングをおこない、新しい発想を取り入れました。

今後も大野城市社協は「誰一人取り残さない」大野城市の共生社会構築へ、各課が「進化」を続けてまいります。

重点事業◇総務企画課◇

○健全な法人運営（収支をあわせた財政管理、法令の学習と遵守）

・市の助成に関する規則の見直しにともない令和元年度分より市補助金収入の増額が実現したことにより、資金収支について昨年度より大幅に改善しました。今後も収支の状況を確認しながら財政管理をおこなってまいります。

○業務の効率化（各課業務手順段取りを職員相互で点検し改善を、システムの効率的な活用と機器のネットワーク安全性を図る整備）

・業務上必要な文書やデータ等を保管するサーバの老朽化を改善するため、共有サーバの入れ替えをおこないました。今後はサーバ内のデータを整理しながら効率的に業務を進めることができるように努めてまいります。

○総合福祉センター改修工事

・総合福祉センター内のトイレ乾式改修工事及び南玄関出入り口のスロープ改修工事、ほっとぴあ間仕切り設置等をおこないました。新型コロナウイルスの影響により、ウォシュレットの導入が年度内にできませんでしたが、用途がつき次第残りの改修工事を進めていき、利用しやすいセンターを目指していきます。

重点事業◇募金課◇

○区長会と情報交換をおこない、地域福祉と財源について研究

・区長との懇談の中で、社協会員や共同募金の地域福祉における役割への共通理解と集合住宅における現状の課題等、区の実情についての意見交換を行うことができました。今後も大切な地域福祉の財源としての研究を継続します。

・社協会員会費は、令和元年度も様々な災害に関する義援金がある中、例年に近いご支援（加入）を市民のみなさまをはじめ企業や団体の方々に賜りました。会費は、地域における福祉活

動を中心とした取り組みやハンディがある方の移送支援、災害時の避難者支援などの社協事業に活用させていただきました。

・共同募金運動は、令和元年度も市民のみなさまをはじめ、多くの事業所の方々のご理解とご支援をいただき無事運動を終えることができました。啓発を重点に募金運動前の9月中旬から11月下旬までの間、各区の組長会（戸別募金）への説明に、募金課・地域課で協働し伺いました。また企業、事業所（企業募金）についても、各区との打ち合わせを適宜行い、要請に合わせ募金課・地域課職員が同行させていただき、昨年を超えるご支援を得ることができました。また、企業の方へ赤い羽根共同募金自動販売機の設置による地域貢献を強くお願いし、次年度共同募金配分事業へ繋げることができました。

重点事業◇地域課◇

○社協の情報提供のあり方について調査研究

・社協の専門委員会や、区長との懇談会の中で、社協だよりの配布方法などの見直しのご意見を賜り、事務局内で検討し、令和2年4月より市広報と一緒に業者に全戸配布を委託し、また紙面もタブロイド版に変えるなど検討し、市民に親しまれやすい広報づくりを目指し取り組みました。

・3年前に作成しました社会福祉協議会のパンフレットをリニューアルいたしました。今後、地域や各種団体等に配布し、「社協」をもっと知っていただけるよう努めてまいります。

・ホームページについては、職員内部での権限の共有まではできなかったものの、全面リニューアルに向けて事務局内で協議し、令和2年度からの企画計画に取り組みました。

○福祉教育プログラムの開発

・学校における福祉教育については、教職員の方と事前打合せの際に活用できるよう、「福祉教育プログラム集 Vol.1」を作成し、福祉教育に新たなプログラムを取り入れる小学校が増え、子どもたちが幅広い福祉教育を学ぶ機会につながりました。また、地域における福祉教育は、「ふーちゃんゼミナール Vol.5」を改訂し、この中で新たなメニューとして、朗読劇や悪質商法の注意喚起のため、社協が台本指導監修し、地域福祉の推進活動をおこなっている方々が演者となっておこなう寸劇などが加わり、各地域やコミュニティの行事で活用され、みなさまに好評をいただきました。

○ふれあいの旅事業の見直し

・令和元年までは、ふれあいの旅を小中学生の旅と、高校生以上の旅と2つに分けて実施していましたが、小中学生の参加者がここ数年減少しているため、令和2年より小学生から大人まで一体となつてのふれあいの旅として開催する企画検討を行いました。開催規模や予算は前年どおりとし、開催時期については、これまで秋に開催していたのを、対象者が利用している他のサービスとの兼ね合いなどから、初の試みで令和2年度は6月開催を企画いたしました。

○ひとりの見守りを大切に（福祉食事サービス事業）担当：募金課内

・令和元年度は、約80名の利用者（在宅高齢者及び障がい者）に対し、365日毎日

24,288 食の提供をおこないました。また、この事業の大切な使命である宅配時における安否確認を確実にしながら、利用者の QOL の向上を図るとともに、その家族等の精神的・身体的な負担軽減に繋がる取り組みを行いました。

重点事業◇権利擁護課◇

○弁護士による法律相談日増設

- ・相談内容も多様化複雑化しており、相談件数も増えてきているため、月の回数を1回増やし、市の福祉課が行う生活困窮者自立支援相談とも連携し、より多くの相談ニーズへ対応をおこないました。

- ・無料法律相談アンケート・ご利用いただいた方に聞き取りアンケートをおこないました。

○日常生活自立支援事業

- ・令和元年10月1日より基幹型方式より市町村方式へ。県社協の受託事業になりました。

○自分らしく人生を生きるためのセミナーなどの開催

- ・地域福祉活動をされている関係者等を対象に、孤独死の現状・遺品整理・終活・包括ケアシステムについてのセミナーを開催しました。

○障がい者関連法律の学習と啓発

- ・障がい者当事者およびご家族に対して、成年後見制度について講演会を開催しました。

重点事業◇介護サービス◇

○介護保険改正を熟知し、本人の望む在宅生活を支援

- ・利用者様の望む生活を第一に考えながら変わりゆく制度に対応してまいりました。時には、本人とは異なる角度からの助言を行いながら「住み慣れた地域で過ごしたい」という目標に向け支援させていただきました。

○社協内の他課と連携し地域福祉の視点で協働

- ・利用者様の困りごとや課題等共有すべき内容については、事業内で滞ることがないよう社協他課と連携に努めてまいりました。

○社協の介護職としての地域貢献

- ・前年度に引き続き、福祉教育や地域の学習会、ふくしフェスティバル等専門知識をもって地域貢献できるよう努めてまいりました。

○安定したサービスの提供

- ・重介護など体力を要する支援について、専門知識を活かした工夫を行うことにより今いるヘルパーの負担を減らすなど行ってまいりました。

○コストの見直し

- ・付加価値サービスとして、ご家族の介護負担軽減のため訪問入浴事業で使用するタオルの持参を始めました。また、常勤ヘルパーの勤務時間をサービス提供時間に合わせ設定し、時間外手当を減らす努力を行いました。

令和元年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
4	1	月	辞令交付式		専門委員会
	2	火		ボランティアセンター運営委員会	
	3	水		広報委員会	
	8	月		コミュニティ福祉部全体連絡協議会	
	10	水		福祉委員会	専門委員会
	18	木		所属長会議	
	23	火		広報委員会	
	26	金	社会福祉法人連絡会実務者会議		
			※地域ケア会議・・・5地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・19地区	
5	13	月		決算監査	専門委員会
	16	木		所属長会議	
	28	火		総務委員会	
	29	水	社会福祉法人連絡会総会		
	31	金		臨時所属長会議	
			※地域ケア会議・・・13地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・16地区	
6	3	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	10	月		正副会長会	
	12	水		福祉委員会	
	13	木		理事会	
	14	金		ボランティアセンター運営委員会	
	19	水		所属長会議	
	21	金	中央地区区長との懇談会		
	26	水		評議員会	
	27	木	Link子育て支援者つながろう会	理事会	
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・21地区	
7	6	土	北地区無料法律相談		
	10	水	南地区区長との懇談会		
	12	金	東地区区長との懇談会		
	13	土	職員研修		
	18	木		所属長会議	
	20	土	中央地区無料法律相談		
	22	月	東北応援の旅実行委員会		
	23	火	社会福祉法人連絡会実務者会議		
	31	水	もやいネット大野城(第1層協議体)		
			※地域ケア会議・・・13地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・16地区	
8	2	金	福祉教育基礎研修会		
	3	土	小中ふれあいの旅事前説明会		
			南地区無料法律相談		
	5	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	17	土	東地区無料法律相談		
	21	水	北地区区長との懇談会		
	22	木		所属長会議	
	23	金	東北応援の旅実行委員会		
	24～25	土・日	小中ふれあいの旅2019		
	26	月	大野城市やすらぎのまち市民協議会	福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・18地区	
9	3	火		正副会長会	
	4	水		成年後見運営委員会	
				評議員選任・解任委員会	
	5	木	重度障がい者リフレッシュ事業		
			共同募金ポスター選考会		
	7	土	赤い羽根共同募金のつどい		
	8	日	小中ふれあいの旅報告会		
	9	月		理事会	
	19	木		所属長会議	
	18～22	水	武雄市災害ボランティアセンター支援		
	20	金	社会福祉法人連絡会定例会議		
	24	火		評議員会	
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	

※ 毎月第2土曜日は介護サービス定例研修

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
10	1	火	共同募金運動開始(12/31まで)		
	7	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	9	水		福祉委員会	専門委員会
	10	木		広報委員会	
	12	土	ふれあいの旅2019事前説明会		
	18	金		所属長会議	専門委員会
	20	日	翔んでふれあって2019	福祉事業委員会	
	24	木	中央地区番茶の会		
	26～27	土・日	ふれあいの旅2019		
	29	火	南地区番茶の会		
	30	水	東地区番茶の会 福岡県社会福祉大会		
			※地域ケア会議…12地区	福祉推進委員会(福祉部)…17地区	
11	2	土	まどかフェスティバル		
	3	日	健康食育フェスティバル		
	6	水	令和元年度東北応援の旅事前説明会		
	8	金	北地区番茶の会	広報委員会	専門委員会
	10	日	南コミュニティまつり南風		
	12～14	火～木	令和元年度東北応援の旅		
	17	日	中央コミュニティ文化フェスティバル		
	19	火		令和元年度上半期監査	
	21	木		所属長会議	
	22	金	牛頸区認知症声掛け訓練		
	23	土・祝	ふれあいの旅2019報告会		
	29	金	大野城市やすらぎのまち市民協議会 成年後見制度公開講座		
	30	土	ふくしフェスティバル2019リハーサル・前日準備 大野城市市民終ぐるみ防災訓練		
			※地域ケア会議…11地区	福祉推進委員会(福祉部)…15地区	
12	1	日	ふくしフェスティバル2019 大野城ウィンターイルミネーションセレモニー		
	3	火		正副会長会	
	4	水		理事会	
	9	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	11	水		福祉委員会	
	14	土	職員研修(人権)		
	17	火	もやいネット大野城(第1層協議体)		
	19	木		所属長会議	
	20	金		評議員会	
			※地域ケア会議…11地区	福祉推進委員会(福祉部)…18地区	
1	7	火		ボランティアセンター運営委員会	
	10	金		広報委員会	専門委員会
	16	木		所属長会議	
	28	火	心配ごと相談事業懇談会		
	29	水	社会福祉法人連絡会実務者会議		
			※地域ケア会議…10地区	福祉推進委員会(福祉部)…15地区	
2	3	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	10	月	社会福祉法人連絡会定例会議		
	11	火	大野城市ボランティア連絡協議会30周年記念事業		
	12	水		福祉委員会	
	13	木	財政補助団体監査		
	18	火	生活支援コーディネータースキルアップ研修会	福祉事業委員会	専門委員会
	20	木		所属長会議	
			※地域ケア会議…12地区	福祉推進委員会(福祉部)…18地区	
3	2	月		成年後見運営委員会	
	4	水		総務委員会	専門委員会
	5	木		正副会長会	
	13	金		理事会	
	17	火	もやいネット大野城(第1層協議体)		
	18	水		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	19	木		所属長会議	
	23	月	大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	25	水	社会福祉法人連絡会実務者会議		
	26	木		広報委員会	専門委員会
	27	金		評議員会	
			※地域ケア会議…11地区	福祉推進委員会(福祉部)…15地区	

令和元年度職員体制（令和2年3月31日現在）

事務局長(総務企画課長兼務)	1 名	
総務企画課	5 名	(内、常勤嘱託3名)
募金課	5 名	(内、非常勤4名)
権利擁護課	4 名	(内、再任用1名、嘱託1名)
地域課	9 名	(内、嘱託3名、非常勤1名)
居宅介護支援事業課	3 名	
居宅介護サービス課	28 名	(内、非常勤21名)
総数	55 名	

プロジェクトチーム

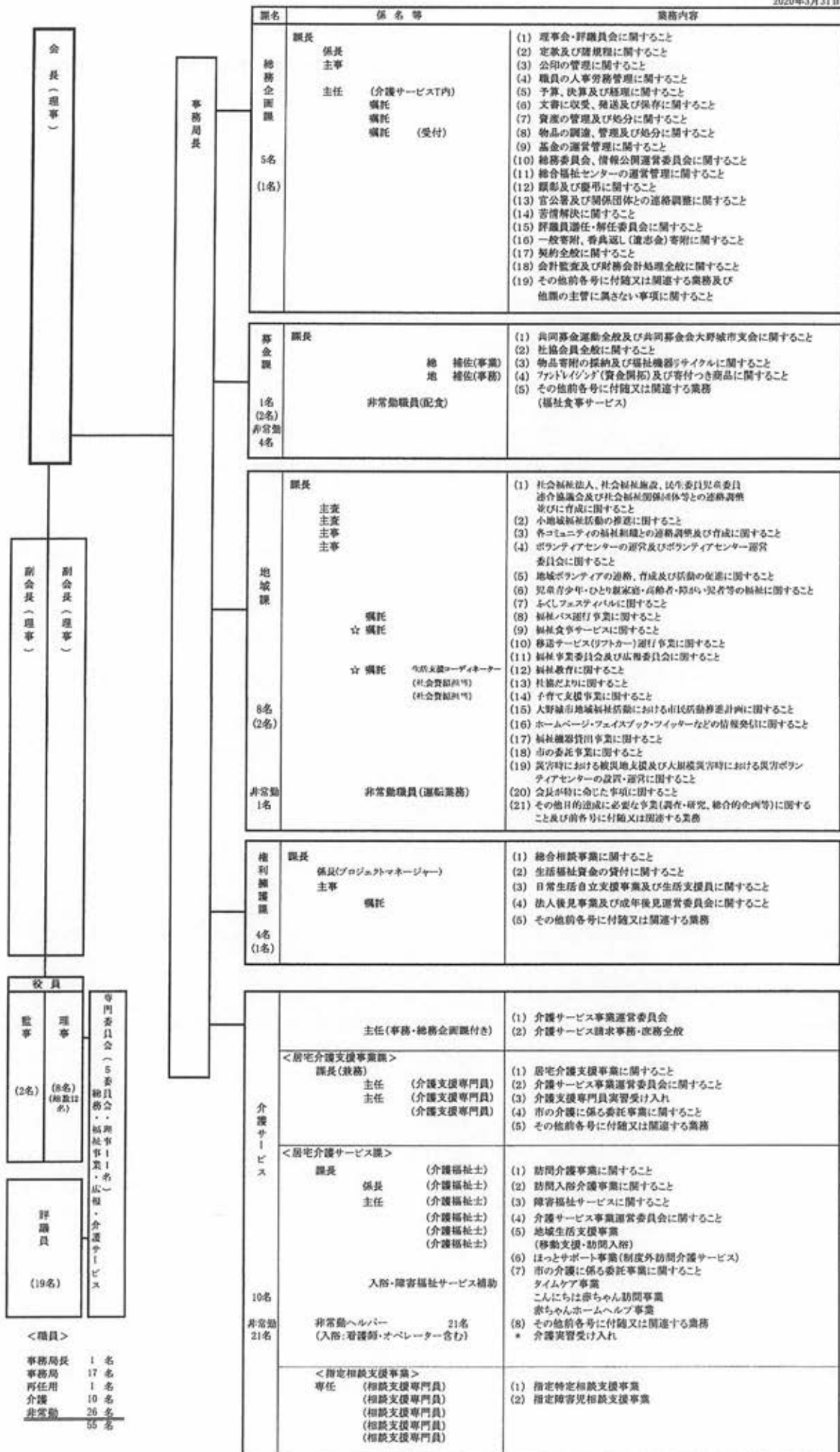
課を横断したチームを作り業務を遂行するとともに、職員相互の連携協力により、組織一丸となり、事業・活動を展開。

ボランティアエントリースystem	総務企画課(1名)、地域課(7名) 権利擁護課(2名)
第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画(市協働)	総務企画課(7名)、募金課(1名) 地域課(5名)、権利擁護課(3名)
ふくしフェスティバル(市協働)	総務企画課(7名)、募金課(1名) 地域課(8名)、権利擁護課(4名) 居宅介護支援事業課(3名) 居宅介護サービス課(7名)
権利擁護事業における事業開発の研究：死後事務等	総務企画課(1名)、地域課(2名) 権利擁護課(4名)、
学校における福祉教育	総務企画課(1名)、地域課(7名) 権利擁護課(1名) 居宅介護サービス課(1名)

社会福祉法人大野城市社会福祉協議会 組織図

()は兼務

2020年3月31日



令和元年度 事業報告書



目 次

「令和元年度事業報告（概要）」

I. 法 人	
1. 理事会・評議員会等	1
2. 専門委員会	4
3. 情報公開	4
II. 事業・活動	
4. 地域福祉推進事業	5
5. 広報関係	17
6. 法外援護対策事業	18
7. 身体障がい者福祉対策事業	19
8. 知的障がい児者福祉対策事業	20
9. 高齢者福祉対策事業	21
10. 子育て支援事業	22
11. 児童青少年福祉対策事業	25
12. 福祉教育	26
13. 父母子福祉対策事業	31
14. 在宅介護者支援事業	31
15. 令和元年度共同募金運動	32
16. 福祉機器貸出事業	34
17. 福祉機器リサイクル事業	34
18. 移送サービス事業	34
19. ハンディキャブ貸出事業	35
20. 福祉食事サービス	35
21. 福祉バス運行事業	36
22. 生活福祉資金貸付事業	37
23. 大野城市生活支援体制整備事業	38
24. 被災地支援活動	41
25. 社会福祉法人のネットワークの構築	43
III. ボランティアセンター事業	
26. ボランティア活動推進	45
27. 声の広報	50
IV. 総合相談事業	
28. 総合相談事業	51
V. 介護サービス事業	
29. 介護サービス事業	53
VI. 総合福祉センター	
30. 総合福祉センター	55
VII. 権利擁護事業	
31. 日常生活自立支援事業	57
32. 法人後見事業	58
33. ライフレスキュー事業	60
VIII. 寄附採納事業	
34. 寄附採納事業	61
IX. その他の事業	
35. ふくしフェスティバル 2019	62
36. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ	62
37. 職員の資格（取得）状況	63
38. 職員内部研修	64
【資 料】	
別表 1. 社協会員推進状況	66
別表 2. 地域ケア会議開催状況	67
別表 3. 介護サービス状況	68
別表 4. ほっとサポート状況	71
別表 5. 介護サービス研修会開催状況	72
別表 6. 福祉食事サービス利用状況	73
別表 7. 職員研修参加等実績	74
【アンケート集】	

I . 法 人

理事会・評議員会等		1
専門委員会		4
情報公開		4

1. 理事会・評議員会等

理事・監事の任期は、令和元年6月27日から令和3年定時評議員会終結時まで。

評議員の任期は、平成29年4月1日から令和3年定時評議員会終結時まで。

定款第15条第4項及び第28条第2項の規定に基づき、第3回理事会は書面表決をおこなった。

1 理事会開催状況（理事総数 12名）

開催年月日			議 題		出席者
令和元年	6月13日	第1回	第1号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	10名
			第2号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会決算及び監査報告について	
			第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の開催について	
			第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事・監事の任期満了に伴う識見を有する者の推薦について	
			第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について	
			第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会指定訪問介護規程ならびに指定訪問入浴介護運営規程の改正について	
	6月27日	第2回	第7号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選任について	9名
			第8号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会専門委員会委員について	
	8月9日	第3回	第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会への提案について	12名

令和元年	9月9日	第4回	第10号議案	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会実施事業の受託について	11名
			第11号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の招集について	
	12月4日	第5回	第12号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員給与規程について	10名
			第13号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の招集について	
令和2年	2月7日	第6回	第14号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の提案及び選任・解任委員会の召集について	12名
	3月13日	第7回	第15号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会令和2年度(2020年度)事業計画(案)について	11名
			第16号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会令和2年度(2020年度)資金収支予算書(案)について	
			第17号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の開催について	

正副会長会の開催 …… 打合せ会議を4回開催
(令和元年6月10日、9月3日、12月3日、3月5日)
理事会・評議員会の議案の事前審議

2 監事会の開催状況

開催年月日		監 査 内 容	出席者
令和元年	5月13日	平成30年度の会計決算監査	2名
	11月19日	令和元年度の会計中間監査	2名

3 評議員会開催状況（評議員総数 19名）

開催年月日			議 題		出席者
令和元年	6月26日	第1回	第1号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	13名
			第2号議案	平成30年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会決算及び監査報告について	
			第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事・監事の任期満了に伴う選任について	
	9月24日	第2回	第4号議案	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会実施事業の受託について	14名
	12月20日	第3回	報告事項	①上半期事業および監査報告について ②広報・社協だより“ふくしんぼ”について ③総合福祉センター改修工事について	15名
令和2年	3月27日	第4回	第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会令和2年度事業計画書（案）について	14名
			第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会令和2年度資金収支予算書（案）について	

4 評議員選任・解任委員会開催状況（委員総数 5名）

開催年月日			議 題	出席者
令和元年	9月4日	第1回	評議員の選任について	5名
令和2年	2月18日	第2回	評議員の選任について	5名

2. 専門委員会

1 専門委員会開催状況

委員会名	開催年月日	議 題
総務委員会	令和元年 5 月 28 日	第 1 回理事会、第 1 回評議員会の報告事項と議案について ・平成 30 年度事業報告について ・平成 30 年度決算について
	令和 2 年 3 月 4 日	・令和 2 年度事業計画書（案）について ・令和 2 年度資金収支予算書（案）について
広報委員会	平成 31 年 4 月 3 日 平成 31 年 4 月 23 日	社協だより 175 号 2019. 6. 1 号について
	令和元年 10 月 10 日	社協だより 177 号 2019. 10. 1 号の報告
	令和元年 11 月 8 日	社協だより 178 号 2019. 12. 1 号について
	令和 2 年 1 月 10 日	社協だより 179 号 2020. 2. 1 号について 社協だよりリニューアルについて
	令和 2 年 3 月 26 日	社協だより 180 号(タブロイド版) 2020. 4. 15 号について
福祉事業委員会	令和元年 10 月 18 日	・区長と社協の懇談会 2019 の報告(社協の課題) ・社協だより(ふくしんぼ)の発行見直しについて
	令和 2 年 2 月 18 日	・令和 2 年度事業計画（案）について ・第 3 期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画について

3. 情報公開

平成13年より情報公開に取り組み、市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促進することを目的として行っています。

1 状 況

情報公開請求人 0名
情報公開請求件数:0件
処理状況:情報公開決定通知:0件

2 情報公開請求

市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促すことを目的に、社協だよりやホームページ、財務諸表等電子開示システム等にて情報を公開していく。

Ⅱ．事業・活動

地域福祉推進事業		5
広報関係		17
法外援護対策事業		18
身体障がい者福祉対策事業		19
知的障がい児者福祉対策事業	...	20
高齢者福祉対策事業		21
子育て支援事業		22
児童青少年福祉対策事業		25
福祉教育		26
父母子福祉対策事業		31
在宅介護者支援事業		31
令和元年度共同募金運動		32
福祉機器貸出事業		34
福祉機器リサイクル事業		34
移送サービス事業		34
ハンディキャプ貸出事業		35
福祉食事サービス		35
福祉バス運行事業		36
生活福祉資金貸付事業		37
大野城市生活支援体制整備事業	..	38
被災地支援活動		41
社会福祉法人のネットワークの構築		43

4. 地域福祉推進事業

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画は2年目が終了し、令和元年度の全方策の振り返りを行うとともに、令和3年度からの第3期計画の策定に向けて準備に着手した。

また地域においては、地域ケア会議をはじめ、地域福祉推進委員会やコミュニティ福祉部会に職員が出席し、地域課題やニーズの把握を行っているが、特に各コミュニティ福祉部会が中心となって開催されている「番茶の会」については長年続いている事業であるが、内容や会場収容などいくつかの課題がクローズアップされ、番茶の会を見直すため、運営側と参加者側へのアンケート調査実施に向けての検討も行った。

令和元年度実績

1 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市と社協が一体的に策定した本計画は、平成30年度から第2期計画がスタートし、2年目を終えた。令和2年が最終年度を迎えるにあたり、これまでの第2期計画の総まとめを行いながら、同時並行で第3期計画の策定作業を行っていく。

◇大野城市やすらぎのまち市民協議会

開催年月日			議 題	出席者
令和元年	8月26日	第1回	①今後のスケジュール ②実施済み事業説明 ③実施予定事業説明	9名
	11月29日	第2回	①ふくしフェスティバルについて(報告) ②各事業の進捗状況について(報告) ③意見交換および発表(グループ協議)	9名
令和2年	3月23日	第3回	①各事業の進捗状況について(報告) ②意見交換および発表(グループ協議) ③第3期計画について(策定スケジュール・基本理念・目標)	9名

2 福祉委員会活動事業(第19期)

27区各区に1名の福祉委員を委嘱し、偶数月に定例会議を実施する。また令和元年度は、改めて「福祉委員の役割」について共有する場を設け、“福祉委員は社協の一員”でもあり、地域では社協職員の代わりに社協事業内容や現状を伝える立場にあること等を再認識して頂いた。

◇定例会の開催

期 日	内 容
平成31年 4月10日(水)	社会福祉協議会事業計画について 次期福祉委員への引継ぎについて
令和元年 6月12日(水)	委嘱状交付式 会長・副会長互選 福祉委員の役割について
令和元年 8月2日(金)	福祉教育基礎研修会
令和元年10月9日(水)	令和2年度足元気教室・音楽サロンについて
令和元年12月11日(水)	勉強会！福祉委員とは?? 評議員の選出について
令和2年 2月12日(水)	委嘱状交付式 グループワーク『高齢者福祉を考える』 やすらぎのまち市民協議会委員の推薦について

3 社会福祉協議会会員推進



◇会員推進状況

	一 般 会 員	賛 助 会 員	特 別 会 員	合 計
件 数	12,760 件	70 件	113 件	12,943 件
口 数	19,977 口	70 口	205 口	20,252 口
金 額	10,076,691 円	140,000 円	1,025,000 円	11,241,691 円

前年比 99.3%

※会員推進状況の詳細については、巻末資料「別表1 令和元年度社協会員推進状況」参照

4 福祉育成援助活動

27 区の行政区に地域福祉活動助成金として社協会員会費及び共同募金配分金を交付。

5 地域ケア会議

目的：高齢者の状況を中心に市（基幹型地域包括支援センター）、地域、民生委員、福祉委員、各地区地域包括支援センター、社会福祉協議会がさまざまな情報を共有し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に開催され、社協から地区担当者等が必ず出席している。地域ケア会議の開催回数は、困難ケースの増加とともに開催回数も増える傾向にある。令和元年度も平成30年度に引き続き27区全区で会議が開催されたが、年度末は新型コロナウイルス感染対策のため、中止になる区もあり、開催回数は平成30年度に比べて、12回ほど減少となった。

地域ケア会議参加状況（開催回数128回）※前年比91.4%

※ケア会議の開催状況については、巻末資料「別表2 令和元年度地域ケア会議開催状況」参照

6 各区の地域福祉推進委員会の開催状況



各地域で定例的に開催されている地域福祉推進委員会（福祉部会）の会議には、社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各地域の福祉活動を支援している。

会議の進め方は地域の主体性に委ねるところが多いが、ほとんどの地域で社会福祉協議会からの情報提供の時間が用意されたり、令和元年6月に福祉委員へ福祉委員会の内容を各区に周知するよう依頼した結果、福祉委員から推進委員へ社協の情報共有を行う区が増えた。

また生活支援体制整備事業を進めていく中で、全世代型の幅広い層の情報に地域が関心を持つことはとても重要なことで、会議に出席する社協職員にも今後も幅広い視野を持って会議に臨むことが必要になってきている。

地区担当（南：山内 中央：永田 東：永田 北：金丸）（開催回数：222回）前年比96.5%

地区	地域福祉推進委員会（福祉部会）	開催回数
南地区	牛頸区地域福祉推進委員会	6 回
	若草区地域福祉推進委員会	6 回
	平野台区福祉部会	11 回
	月の浦区地域福祉推進委員会	7 回
	南ヶ丘1区福祉部	7 回
	南ヶ丘2区地域福祉推進委員会	6 回
	つつじヶ丘区福祉推進部	12 回
中央地区	上大利区福祉推進委員会	5 回
	下大利区愛のネットワーク福祉推進委員会	12 回
	東大利区地域福祉推進委員会	5 回
	下大利団地区福祉推進委員会	12 回
	白木原区地域福祉推進委員会（こだまの会）	6 回
	瓦田区福祉推進委員会	12 回

東地区	釜蓋区福祉部	12 回
	井の口区福祉部会	5 回
	中区福祉部推進委員会	6 回
	乙金福祉部	12 回
	乙金台区福祉部	12 回
	乙金東区福祉部会	7 回
	大池区福祉部	10 回
北地区	上筒井福祉部	12 回
	下筒井福祉部推進委員	8 回
	山田区地域福祉推進委員会	4 回
	雑餉隈町区地域福祉推進委員会	—
	栄町福祉推進会	5 回
	仲島区地域福祉推進委員会	11 回
	畑詰区福祉推進委員会	11 回

7 ミニデイよりあい活動

各地域で行われるミニデイは、各地域福祉推進委員会の活動の一環として実施されている。各区で内容を検討し、催し物がマンネリ化しないよう、また参加者に親しみのある企画に工夫がみられる。令和元年度は、ふーちゃんゼミナールの活用で新たなメニューとして、ボランティアグループの「朗読の会文鳥」による朗読劇や民話の朗読が披露された。

地 区	名 称 等	開 催 日
牛 頸	牛頸あいあい会	3 班で各々年 4 回 10:00～14:00
	牛頸あいあいカフェ	年11回
	足元気教室・音楽サロン	年12回
若 草	若草あいあい会	年 10 回
	足元気教室・音楽サロン	年 12 回
平野台	花水木の会	年 7 回第 1 水曜日
	音楽サロン	年 6 回
月の浦	菜の花会	毎月第 2 金曜日
	足元気教室・音楽サロン	年12回
南ヶ丘1	友遊クラブミニデイ	年 12 回第 2 水曜日
	おしゃべりサロン	年 12 回第 3 水曜日
	足元気教室・音楽サロン	年 12 回
南ヶ丘2	ひまわり会	第 2 木曜日 10:30～13:30
	ミニデイ	第 3 木曜日 10:30～13:30
	足元気教室・足元気教室	年12回
つつじヶ丘	ふれあい会	年 10 回
	音楽サロン	年 6 回

上大利	音楽サロン等	第2金曜日 10:00～12:00
下大利	ミニデイ	年3回 10:00～13:00
東大利	ミニデイ	第4火曜日 10:00～13:00
下大利団地	ミニデイ	年5回 10:00～12:00
白木原	ミニデイ	第4月曜日 13:30～15:00
瓦田	ミニデイ	年5回 10:00～13:00
釜蓋	ミニデイ	第4金曜日 10:00～13:00
井の口	月陽会	第1月曜日 10:00～13:00
中	かたろう会	第3月曜日 10:00～13:00
乙金	かごめかごめの会 等	年11回 10:00～12:00
乙金東	しのめ会 等	年11回 10:00～14:00
乙金台	花草会	年13回 10:00～12:30
大池	こすもすサロン	第3月曜日 10:30～14:00
上筒井	あじさいサロン 音楽サロン	年2回 年6回
下筒井	ミニデイ ひまわりサロン 音楽サロン	年3回 第2・第4火曜日 年6回
山田	ふれあいマージャン 音楽サロン	毎月開催 年6回
雑餉隈町	ミニデイ	年12回
栄町	ミニデイ 足元気教室・音楽サロン	年4回 年12回
仲島	ミニデイ 足元気教室・音楽サロン	年2回 年12回
畑詰	ミニデイ	年4回

8 各地区コミュニティ福祉部会の開催状況

各コミュニティで定例的に開催される福祉部会の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各コミュニティの地域福祉活動を支援している。令和元年度は、1月までは各コミュニティともほぼ順調に事業を遂行されていたが、コロナウイルス感染防止対策のため2月以降は事業が中止になったところがあった。

地区担当(南:山内 中央:永田 東:永田 北:金丸)

(開催回数 32回) 前年比 97%

各地区福祉部会	定例会開催回数	現状と課題
南コミュニティ福祉部会	12 回	各区より2名、南地区シニアクラブ、民児協、食改善、包括支援センター、社協が部員として活動内容を協議しながら講座のテーマ等を決めて実施している。
中央地区コミュニティ運営協議会福祉部会	6 回	各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加している。子育て支援親子教室やオリジナルの寸劇を交えた悪質商法の啓発等を実施した。
東地区コミュニティ運営協議会専門部会 福祉部	9 回	東コミュニティ福祉部会は輪番制で毎年担当地区が変わり、各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加している。
北コミュニティ福祉部会	5 回	各区より民生委員と福祉委員が1名ずつ参加し定例会が実施されている。北地区福祉委員合同研修会では、認知症サポーター養成講座が実施された。3月の視察研修は新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止になった。

9 コミュニティ福祉部会の活動支援



◇各地区のコミュニティ福祉部会の活動状況

期 日	部 会 名	人数	内 容
令和元年	5月8日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	22 名簿確認 正副部会長選任 今年の活動と日程
	6月10日(月)	東地区コミュニティ運営協議会 専門部会 福祉部	21 令和元年度 各区福祉部活動と情報交換
	6月11日(火)	南地区コミュニティ福祉部会	116 福祉推進委員交流の集い(第20回)
	7月8日(月)	東地区コミュニティ運営協議会 専門部会 福祉部	37 在宅福祉 車いす体験・ハンディキャップ体験 講師:運転ボランティアむつわ
	7月10日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	22 北地区福祉委員合同研修会について(反省) 北地区福祉レクリエーション講演会について(反省) まどかレクスボ祭について 番茶の会について
	7月12日(金)	中央地区コミュニティ福祉部会	86 福祉推進委員の集い(第11回) ・市生涯学習まちづくり出前講座「消費者トラブルを防ごう」 ・寸劇「私たちが演じる悪質詐欺」 ・助け合いゲーム「ニーズと担い手の掘り起こし」 ・みんなが笑顔になれる健康体操
	8月5日(月)	南地区コミュニティ福祉部会	72 福祉レクリエーション講習会
	8月26日(月)	東地区コミュニティ運営協議会 専門部会 福祉部	17 視察研修「介護老人保健施設 同朋(太宰府市)」
	8月31日(土)	中央地区コミュニティ福祉部会	130 子育て支援親子教室 (参加者38組103名参加・支援スタッフ27名)
	9月11日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	20 北地区福祉委員合同研修会について(報告) 番茶の会について 北地区 MADOKA レクスボ祭について おおの山城大文字まつりについて
	9月30日(月)	南地区コミュニティ福祉部会	14 視察研修(嘉穂劇場等)
	10月17日(木)	中央地区コミュニティ福祉部会	16 番茶の会「寸劇」リハーサル
	11月6日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	19 番茶の会事前打合せ
	11月9日(日)	南地区コミュニティ福祉部会	— まつり南風(車いす・アイマスク体験、手作り体験)
令和2年	1月28日(火)	南地区コミュニティ福祉部会	63 ボランティア入門講座(手品教室)
	2月10日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	41 福祉推進員の集い「ユマニチュードの理論と技法を学ぶ」講師:ちくし那珂川病院 看護部長 佐伯 輝子 氏 他2名
	3月9日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	19 年度末活動報告 ※新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐため 「区長を囲んで」のみ中止

◇各地区のコミュニティ福祉部会の活動状況

◇第 36 回番茶の会(ひとり暮らし高齢者等のつどい)



各コミュニティ運営委員会(福祉部会)主催、社会福祉協議会共催で実施された。

地 区	期 日	会 場	参加者(対象者数)
中央地区	令和元年 10 月 24 日(木)	中央コミュニティセンター	250 名
南地区	令和元年 10 月 29 日(火)	南コミュニティセンター	227 名
東地区	令和元年 10 月 30 日(水)	ロイヤルチェスター	147 名
北地区	令和元年 11 月 8 日(金)	ロイヤルチェスター	136 名

◇コミュニティ福祉部会の活動推進費の交付

◇コミュニティ福祉部会連絡協議会役員との定例会 6回開催(偶数月)

4 地区コミュニティ福祉部会より 2 名参加し、各コミュニティの取り組み等の情報交換を行っている。令和元年度は、後半に長年続けている番茶の会の見直しを踏めるためのアンケート調査について協議された。

◇共同募金金配分金をとおして各コミュニティの福祉活動に助成

10 ふーちゃんゼミナール 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画



地域での福祉教育を広げるため、講座メニューを各地域や団体等に提示しながら、コーディネートを行なった。令和元年度は、朗読劇や悪質商法の寸劇など新たなメニュー開発もあり、講座回数も受講者数も平成30年度の2倍以上となった。

◇ ふーちゃんゼミナール開催状況

開催日	内容	受講団体名	参加者数	担当職員・協力団体
4月4日(木)	「向こう三軒両隣」って何？	平野台区福祉部	24名	山内
4月25日(木)	「向こう三軒両隣」って何？	南ヶ丘2区福祉部	15名	山内
5月23日(木)	「向こう三軒両隣」って何？	下大利区愛のネットワーク福祉推進委員会	30名	永田
6月7日(金)	コミュニケーションマージャンの遊び方	乙金東区福祉部	36名	山内・益坂
6月9日(日)	高校・大学等への進学就学資金について(奨学金・貸付金等)	大野城市母子寡婦福祉会	10名	井上
6月13日(木)	騙されないぞ！悪質商法	南ヶ丘2区福祉部	15名	山内
6月18日(火)	コミュニケーションマージャンの遊び方	上大利食生活改善推進会	30名	永田・永松
6月24日(月)	「向こう三軒両隣」って何？	乙金福祉部	15名	永田
6月27日(木)	朗読会	下大利区愛のネットワーク福祉推進委員会	55名	朗読の会文鳥
7月3日(水)	コミュニケーションマージャンの遊び方	平野台区福祉部	50名	山内・井
7月8日(水)	車いす体験・ハンディキャップ体験	東コミュニティ福祉部会	40名	永田・益坂 運転ボランティア むつわ
7月12日(金)	私たちが演じる悪質商法寸劇	中央コミュニティ福祉部会	80名	永田・井 中央地区包括
8月21日(水)	車いす体験・アイマスク体験	南地区民児協 高齢者障がい者福祉部会	33名	馬場・山内 生田
11月13日(水)	知ってトクする「訪問入浴事業」「ほっとサポート」	JA 筑紫大野城支店	35名	秦・今坂 山内
1月15日(水)	物忘れが出てきても自分らしい生活をするために	大野城市北地区民児協	19名	井上
1月21日(火)	コミュニケーションマージャンの遊び方	若草区地域福祉推進委員会	25名	山内・大北
3月6日(金)	私たちが演じる悪質商法	乙金東区福祉部		中止
3月19日(木)	物忘れが出てきても自分らしい生活をするために	仲島区福祉推進委員会		中止
3月25日(水)	福祉推進委員の役割	瓦田区福祉推進委員会	17名	金丸

17回 参加人数延べ529名
(前年比201%)

1 1 民生委員児童委員連合協議会活動への助成

◇民生委員児童委員連合協議会は、民生委員法及び児童福祉法に基づき要援護者の見守り等、各区の福祉委員とともに地域福祉のキーパーソンとして活動がなされている。

令和元年も各小学校で行われた福祉教育において、車いす体験やアイマスク体験など子どもたちの安全確保の誘導などの協力を頂いたり、各地区の定例会や専門部会では、ふーちゃんゼミナールを利用して勉強会も行われた。

1 2 大野城市民総ぐるみ防災訓練

2011年の東日本大震災以降、翌年の2012年より毎年各コミュニティごとに行われてきた総合避難訓練が、今年度は、全市一斉の防災訓練が実施された。社会福祉協議会は、井の口区と釜蓋区の避難訓練に参加し、車いす利用者の避難の搬送のため、リフトカーとハンディキャブを運行し、公民館に避難された要支援者からの情報聞き取りなどを行った。

また、この日はふくしフェスティバルのリハーサルがまどかぴあ大ホールで開催されていて、大ホール出演者も、14時5分よりリハーサルを一時中断して、避難訓練に協力いただいた。

開催日：令和元年11月30日(土)

場 所：釜蓋公民館・井の口公民館・まどかぴあ大ホール他

職 員：7名

役 割：・公民館で避難者(要支援者)への情報聞き取りなど
・大ホールから屋外へ避難誘導

1 3 中央地区復興のタベ

令和元年度より見直しが図られた。



14 令和元年度コミュニケーションマージャン貸出状況

各区で行われていミニデイや、各団体のレクリエーション等で、仲間づくりや特に男性の参加者をもっと増やすことを目的に、コミュニケーションマージャン(2セット)を貸出している。

貸出地区・団体	貸出期間
山田区地域福祉推進委員会	4月18日～4月19日
山田区地域福祉推進委員会	5月16日～5月17日
乙金東区福祉部	6月6日～6月7日
牛頸区地域福祉推進委員会	6月10日～6月12日
上大利区	6月17日～6月18日
山田区地域福祉推進委員会	6月20日～6月21日
平野台区福祉部	7月3日
山田区地域福祉推進委員会	7月18日～7月19日
中区福祉部	7月22日
山田区地域福祉推進委員会	8月15日～8月16日
下大利団地区地域福祉推進委員会	8月19日～8月20日
中区シニアクラブ	8月23日～8月26日
山田区地域福祉推進委員会	9月19日～9月20日
牛頸区地域福祉推進委員会	10月7日～10月9日
下筒井食改善推進委員会	11月19日～11月20日
若草区地域福祉推進委員会	1月21日
上大利区地域福祉推進委員会	2月7日～2月10日

令和元年度コミュニケーションマージャン貸出状況…延べ17地区(団体)【前年比68%】

15 (仮称) 認知症地域見守り訓練

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

地域で気軽に認知症に関する講座や訓練を行えるよう、『認知症地域見守り訓練マニュアル』を作成した。内容は認知症を理解する講座、認知症サポーター養成講座、認知症声かけ訓練の三部構成でふーちゃんゼミナールのように気軽に利用できるような内容になっている。区長会や福祉委員会、各区の福祉推進委員会等で周知して活用をお願いしている。

【活用実績】

令和元年11月22日(金) 牛頸区地域福祉推進委員会

- ・STEP1『認知症を理解する講座』
- ・STEP3『認知症地域見守り訓練(声かけ訓練)』



16 区長と社協との懇談会 【New】

社会福祉協議会より各区に取りまとめて頂いている社協会員・共同募金の地域福祉における共通理解と、区長さんより区の実情について等の意見交換を行ない、“わがまち大野城市の地域共生社会を目指して”、伴に地域福祉を推進することを目的に、区長と社協との懇談会を各コミュニティごとに開催した。

この中で出た意見をまとめ、市の関係各課とも協議を行い、社会福祉協議会としては令和2年度からの社協だより(ふくしんぼ)の全面リニューアルにつながった。

コミュニティ	開催日時	会場
南コミュニティ	7月10日(水) 10時～12時	南コミュニティセンター
中央コミュニティ	6月21日(金) 10時～12時	中央コミュニティセンター
東コミュニティ	7月12日(金) 10時～12時	東コミュニティセンター
北コミュニティ	8月21日(水) 13時～15時	北コミュニティセンター

5. 広報関係

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより(愛称:ふくしんぼ)」を年6回発行している。令和元年度に行われた区長と社協との懇談会にて、社協だよりが全戸配布されていないことや、専門委員会でも内容の見直し等の意見もあり、社協だよりのリニューアルを行うため、事務局内で協議を重ね、令和2年4月号より、市広報と一緒に業者が年3回全戸配布され、残り3回は各区の回覧板での配布になり、紙面の様式も全戸配布については、タブロイド版に代わりより多くの市民に親しみやすい紙面づくりを行った。

令和元年度実績

1 「社協だより」の発行



主 旨 : 広く地域の福祉情報を収集し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めている。

発 行 号 : 175号・176号・177号・178号・179号

2 ホームページ等による情報発信

社協活動、全社協 被災地支援・災害ボランティア情報をもとに被災地支援情報等を随時更新し、発信をしている。

3 ツイッター、フェイスブックによる情報発信

ツイッターとフェイスブックを活用しながら、社協の活動や災害ボランティア情報等を積極的に発信し、タイムリーな情報発信を行っている。

4 社会福祉協議会パンフレットの改訂

各事業に関する法律の改正や制度の見直し等により、パンフレットに記載されている内容が変更になったところがあり、社会福祉協議会のパンフレットを3年ぶりに改訂した。



6. 法外援助対策事業



火災等の被災者に対し、組布団や見舞金を支給。大雨や台風接近など事前に情報を察知した時は、貸し布団業者より貸ふとんを複数組借りに行き、これまでに公民館等に避難されたことがある地域と連絡を取り、貸し布団の提供を行った。

令和元年度実績

◇令和元年8月の前線に伴う大雨災害

前線の接近により、避難準備・高齢者等避難開始が発令された。区からの依頼により貸しふとんの支援を行った。

令和元年8月27日～29日 平野台区（貸しふとん6組）

8月27日～29日 中区（貸しふとん3組）

◇火災による避難

令和元年5月26日 山田区にて1世帯(2人分)の布団と見舞金を支給

7. 身体障がい者福祉対策事業



身体障がい者福祉協会や障がい者施設団体連絡協議会等、当事者組織と連携を図りながら、ハンディを持つ人たちの社会参加をサポートしながら、当事者団体が企画する事業や会議に社協からも出席し、必要に応じた支援や情報提供を行っている。

1 翔んでふれあって2019（大野城市障がい者大運動会）

期 日：令和元年10月20日（日）
場 所：北コミュニティセンター ふれあいホール
参 加 者：275名
主 催：大野城市身体障がい者福祉協会、大野城市手をつなぐ育成会、大野城市母子寡婦福祉会
大野城市障がい者施設団体連絡協議会
指 導：大野城市福祉課・スポーツ課
競技進行：大野城市スポーツ推進委員会

2 重度障がい者社会参加事業

期 日：令和元年9月5日（木）
場 所：福岡県糸島市（交通手段：リフトカー2台）
参加者：11名（うち職員2名）
※参加者アンケートは巻末アンケート集「①重度障がい者リフレッシュ事業アンケート集計結果」参照

3 大野城市身体障がい者福祉協会への支援

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なうとともに、事業の実施にあたりその活動の支援をおこなった。

4 大野城市障がい者施設団体連絡協議会への支援

◇毎週土曜日に大野城まどかびあで開設される、ほっとすぽと「サン・サン」の支援

◇大野城心のふるさと館内（ここふるショップ）において授産品の販売をおこなった

◇先進地視察研修 日時：令和元年9月17日（火）

行先：エフピコ愛パック（就労継続支援A型事業所）（佐賀県神崎市）/ひょうたん村（三井郡大刀洗町）

◇公開講座 日時：令和元年11月29日（金）19:00～20:30

『これからどうやって生きるの？～知っていますか、成年後見制度～』

参加者82名

（内訳）ご家族・ご本人 35 名/施設職員・市・社協 35 名/人権擁護委員 3名/手話通訳 2名、
所属未記入 7名

8. 知的障がい児者福祉対策事業



ふれあいの旅は、ハンディのある人とボランティアと1泊2日を過ごす事業として37回目が終了した。夏休みに実施していた、ハンディのある小中学生を対象とした「小中ふれあいの旅」は、令和元年度をもってひとまず終了となるが、今後は小学生から大人といった全世代に対応したニーズにも応えていくため、事業の内容や開催時期の検討が課題としてあげられる。

令和元年度実績

1 ふれあいの旅2019（第37回）

期 日 : 令和元年10月26日(土)～27日(日)
場 所 : 有田ポーセリンパーク、九十九島水族館海きらら
参 加 者 : 102名(参加者45名、ボランティア47名、職員8名、看護師1名、添乗員1名)
協 力 : 大野城市ボランティア連絡協議会
後 援 : 大野城市手をつなぐ育成会

※参加者アンケートは巻末アンケート集「②ふれあいの旅2019 仲間(参加者)のアンケート、ふれあいの旅2019 ボランティアのアンケート」参照

2 小中ふれあいの旅2019

期 日 : 令和元年8月24日(土)～25日(日)
場 所 : うみたまご(大分市)・ハーモニーランド(日出町)
参 加 者 : 30名(参加者8名、ボランティア16名、職員6名)

3 大野城市手をつなぐ育成会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行っている。

9. 高齢者福祉対策事業



大野城市の高齢化率は、21.6%(令和2年3月末現在)で、平成31年4月からの1年間で0.3%の増と、ここ数年の中でみるとゆるやかな増加となっているが、65歳以上は21,800人を超え、高齢者福祉対策はこれからの生活支援体制整備事業を進めていくうえでも、重要な施策の1つとなっている。

令和元年度実績

1 大野城市シニアクラブ連合会に対する活動援助

シニアクラブ連合会では、活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいと健康づくりや長年培ってきた知識、経験を地域社会のために生かす取り組みや、通学路における小学生の見守り活動等を展開されている。

職員派遣

期 日：令和元年5月21日(火)

会 場：まどかパーク

内 容：第28回大野城市シニアクラブ連合会ペタンク大会

期 日：令和元年6月4日(火)

場 所：まどかパーク

内 容：第28回大野城市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会

期 日：令和元年10月4日(金)

場 所：大野城市総合グラウンド

内 容：第28回大野城市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会

2 大野城市シニアクラブ連合会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なっている。会員相互の健康保持のための活動や健康医療講演会、訪問見守り活動などがなされている。

10. 子育て支援事業



大野城市に転入して間もない親子や、子育てに悩む親の支援、居場所や仲間づくりを支援するサークル登録、保育所への遊具設置など、子育て時期の不安や孤独を軽減し、親と子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、子育てしやすい環境づくりを図っている。

令和元年度実績

1 子育て支援事業

支援内容：総合福祉センター及び福祉バス利用料免除や遊具の貸出
子育てサークル活動費補助(4サークル)

登録サークル：4サークル(会員数 57名)【平成30年度：5サークル(会員数 79名)】

◇登録子育てサークル一覧

サークル名	主な開催場所	活動時間	会員数
ぶちらいおん	中央コミュニティ	毎週火曜日(第3火曜休)	13名
子連れヨガ	乙金公民館	毎月第2・4金曜日	10名
こあらくらぶ	乙金公民館	毎月第1金曜日	17名
ままいる	総合福祉センター	毎月第1・3金曜日	17名

2 「子育てサークルだより」の発行

主旨：安心して子育てできる環境を目指し、地域のサロンや、登録サークルの活動内容や市内外の子育て支援に関する情報などを発信している。サークルだよりが、より目に留まるように配布先を増やしている。

発行号：69号・70号・71号・72号・73号・74号

配付数：612枚

配付先：

登録サークル 4団体	コミュニティセンター	市役所 こども未来課
福祉委員	アスカーラ(まどかびあ)	市役所 こども健康課
コミュニティ福祉部会連絡協議会	ファミリー交流センター	市役所 子育て支援課
大野城心のふるさと館	子ども情報センター	社会福祉法人連絡会

3 子育てサロンの開催

◇公民館で開催されている子育てサロン

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1週			あいあいくらぶ (牛 頸) ぶんぶん (白木原)	わかぼっ子 (乙金東) だっこちゃん広場 (南ヶ丘1区) おひさま広場 (釜 蓋・井の口)	カンガルー広場 (下筒井) こあらくらぶ (乙 金)
第2週	すくすくくらぶ (若 草) 子育て支援教室 (東大利)		ぶんぶん (白木原) 親子ふれあい広場 (仲 島)		子育てサロン きらきら広場 (下大利) 子連れヨガ (乙金)
第3週		子育て にこにこサロン (山 田)	ぶんぶん (白木原) ひよこっこ教室 (中)	だっこちゃん広場 (南ヶ丘1区) さくらんぼサロン (雑餉隈町) おひさま広場 (釜 蓋・井の口)	カンガルー広場 (下筒井) ぷちかごめ (乙 金)
第4週	おひさまサロン (瓦 田)		チューリップサロン (上筒井) あすなろサロン (上大利) こあら広場 (南ヶ丘2区)	うさぎっこ (平野台) ころころくらぶ (大池・乙金台)	しゃべりば ぼこぼこ (月の浦) 子育て支援サロン らっこ (栄 町) 子連れヨガ (乙金)
毎週	グーチョキパー (つつじヶ丘)			はたづめっ子 (畑 詰)	

◇たけのこ支援主催のサロン

大野城市へ転入して来る子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、同じ仲間との交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報提供の場を目的としてその活動が行なわれている。

内 容	開 催 期 日	会 場	参加者
子育てサロン	平成31年4月3日(水)	総合福祉センター多目的室	2組
子育てサロン	令和元年6月5日(水)	総合福祉センター多目的室	1組
七夕会	令和元年7月3日(水)	総合福祉センター大会議室	5組
子育てサロン	令和元年8月7日(水)	総合福祉センター多目的室	2組
講演会	令和元年9月3日(火)	総合福祉センター多目的室	8組
クリスマス会	令和元年12月3日(火)	総合福祉センター大会議室	18組
子育てサロン	令和2年2月5日(水)	総合福祉センター多目的室	3組

4 保育所に遊具等の助成【おおり保育園】

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を(253,359 円)行なっている。

物 品： 遊具(運動会用品「玉入れ関係」・ブロック玩具・空気清浄機)

5 遊具の貸出状況

子どもたちの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを行っている。令和元年度は遊具の補修と、持ち運びしやすい遊具に合った運搬用具の整備に力を入れた。

○令和元年度貸出延件数 48 件(前年比 63%)

○貸出の多い人気の遊具

- | | |
|---------------|--------|
| 1. わくわくハウス(大) | (24 回) |
| 2. ツリースロープ | (12 回) |
| 3. コースター(大) | (11 回) |
| 4. ソフトブロック | (10 回) |
| 5. キッチン | (8 回) |

6 子育て支援者関係構築

日ごろ子育て支援活動をされる方々が、活動の思い・悩みを語り合い、情報交換や顔の見える関係構築につながることを目的に「Link～子育て支援つながろう会」実施。

日 時： 令和元年 6 月 27 日(木)13:30～15:30

会 場： 大野城市総合福祉センター

参加者： 16 名(区サロン活動者 9 名・登録サークル 3 名・ボランティア連絡協議会グループ 1 名・世代間交流ボランティアグループ 2 名・その他 1 名)

内 容： ○参加者が子育て支援活動において尋ねたいことや、課題をテーマにした少人数での話し合い。話し合いの内容や助言内容を共有するための発表。

○参加者による自己紹介と活動 PR。

○社協から貸出遊具の展示も含めて子育て支援事業の説明を行う。

※参加者アンケートは、巻末アンケート集「③Link子育て支援つながろう会アンケート集計」参照

11. 児童青少年福祉対策事業



令和元年度実績

1 福祉教育教材「ともに生きる」活用推進

平成30年度まで1冊100円で県社協で購入していた「ともに生きる」が、令和元年度より無料で購入できるようになった。活用に当たっては、基本的には小学校4年生を対象に配布しているが、小学校によっては他の学年での活用を希望する小学校もあり、その場合は柔軟に対応している。

対 象 : 市内小学4年生全員、福祉教育推進校(大野北小3年生・4年生)、大野城市教育委員会
配 布 数 : 1,300部
大野小、大野北小、大野南小、大野東小、大利小、平野小、大城小、下大利小
御笠の森小、月の浦小
備 考 : 教職員を対象に『福祉教育教材「ともに生きる」活用の手引き』を配布した。

2 大野城市子ども会育成会連絡協議会への助成

共同募金配分金をととして、子ども会育成会では、「子どもが主役だ・地域で育てよう子どもたち」を主眼に、子どもの健全育成、地域(各単位子ども会)の発展に向けて、活動が展開されている。

3 保護司会への助成

共同募金配分金をととして、保護司会では保護司信条である社会奉仕の精神をもって、過ちに陥った人たちの更生に尽くされる活動が行われている。

12. 福祉教育



1 学校における福祉教育

市内の小中学校、学童から総合的な学習の時間等を利用した福祉教育の依頼があった時に、職員やボランティア、障がい者など当事者の方と一緒に子どもたちに福祉やボランティアについて学習し、子どもたちひとり一人が“自分たちにできることは何か”を考えるきっかけにつながっている。

令和元年度には、学校の教職員との打ち合わせ等で活用する「福祉教育プログラム集Vol.1」を作成し、大野城市社協ではどのような福祉教育プログラムがあるのか、またそうしたプログラムをどのように進めていくのかを、教職員にもわかりやすく“見える化”することに取り組んだ。



福祉教育プログラム集 Vol.1

プログラムを見える化し、教職員との打合せ等で活用しているほか、ホームページでも公開している。

各小学校で行っている福祉教育実績一覧

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
5月16日(木)	大城小学校4年 93名	車いす体験 リフトカー体験	民生委員2名 福祉委員1名 社協3名
6月12日(水)	大城小学校4年 93名	手話体験	聴覚障がい者1名 ボランティア4名 社協2名
7月12日(金)	大野小学校4年 171名	車いす体験 ハンディキャップ体験	民生委員5名 福祉委員2名 福祉推進委員1名 ボランティア5名 社協2名
9月4日(水)	月の浦小学校3年 83名	障がいがあるってどういうこと	社協2名

Ⅱ－事業・活動

9月10日(火)	大野東小学校3年 145名	障がいがあるってどういうこと	社協3名
9月11日(水)	平野小学校3年 127名	障がいがあるってどういうこと	社協2名
9月11日(水)	大利小学校4年 124名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名
9月13日(金)	大野小学校4年 171名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名
9月17日(火)	大利小学校4年 124名	点字体験	ボランティア5名 社協2名
9月18日(水)	大城小学校4年 93名	アイマスク体験	民生委員1名 福祉委員1名 福祉推進委員2名 社協2名
9月19日(木)	下大利小学校3年 34名	私のつながりマップ	民生委員1名 社協2名
9月20日(金)	大野南小学校4年 132名	障がいがあるってどういうこと	社協2名
9月24日(火)	平野小学校3年 127名	車いす体験	福祉委員1名 ボランティア2名 社協3名
9月25日(水)	月の浦小学校3年 83名	車いす体験 当事者との交流(身体障がい)	身体障がい者1名 福祉委員1名 福祉推進委員2名 ボランティア2名 社協2名
9月26日(木)	大野東小学校3年 145名	車いす体験 ハンディキャプ体験	福祉委員2名 福祉推進委員5名 ボランティア3名 社協2名
9月27日(金)	大野南小学校4年 132名	アイマスク体験	福祉委員1名 社協2名
9月30日(月)	大利小学校4年 124名	障がい者スポーツ体験 (ボッチャ)	県障がい者スポーツ協会2名 社協3名
10月3日(木)	月の浦小学校5年 101名	障がい者スポーツ体験 (ボッチャ)	県障がい者スポーツ協会1名 社協2名
10月4日(金)	大野南小学校4年 132名	点字体験	ボランティア5名 社協2名
10月8日(火)	平野小学校3年 127名	アイマスク体験	福祉委員2名 社協3名
10月10日(木)	大利小学校4年 124名	ボランティア活動について	ボランティア1名 社協2名
10月11日(金)	月の浦小学校3年 83名	手話体験	聴覚障がい者1名 ボランティア3名 社協2名
10月16日(水)	大野南小学校4年 132名	車いす体験	福祉委員3名 ボランティア2名 社協2名
10月21日(月)	大野東小学校3年 145名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名

10月30日(水)	御笠の森小学校4年 66名	障がいがあるってどういうこと	社協2名
10月31日(木)	下大利小学校3年 34名	バリアフリーマップづくり(校区体験)	福祉委員2名 民生委員4名 福祉推進委員2名 社協2名
11月5日(火)	御笠の森小学校4年 66名	アイマスク体験	福祉委員2名 民生委員5名 福祉推進委員2名 社協2名
11月6日(水)	月の浦小学校3年 83名	アイマスク体験	民生委員2名 社協2名
11月7日(木)	平野小学校3年 127名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 ガイドヘルパー1名 社協2名
11月12日(火)	大野東小学校3年 145名	アイマスク体験	福祉委員3名 福祉推進委員5名 社協2名
11月18日(月)	御笠の森小学校4年 66名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名
11月22日(金)	大野南小学校4年 132名	ボランティア活動について	ボランティア2名 社協3名
11月26日(火)	御笠の森小学校4年 66名	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	県障がい者スポーツ協会1名 社協2名
1月22日(水)	月の浦小学校3年 83名	わたしにもできるボランティア活動	マジックグループ・ファンタジア1名 社協2名
1月24日(金)	平野小学校3年生 127名	授業参観「障がいがあるってどういうこと？」	社協2名
1月29日(水)	大野小学校4年生 132名	ボランティアセンター見学・介護見学(入浴車)・収集ボランティア体験	社協6名

合計回数 36回 延べ対象児童 3,972名

[前年比 116% 112%]

2 福祉教育基礎研修会 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の小中学校の教職員を対象として、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何か、またその在り方を学ぶとともに、授業実践に活かすことを目的とした研修会を開催した。

令和元年度は、平成30年度に引き続き大阪教育大学の新崎教授を講師に迎え、講演後は新たな取り組みとして、体験・講座の分科会形式をとり、各小学校のプログラムにもある車いす体験や視覚障がい疑似体験のほか、各小学校の教職員から相談の多い「特別支援教育講座」の3分野を用意し、それぞれ参加者の希望で受講して頂き、好評を頂いた。

期 日 : 令和元年8月2日(金)

場 所 : 総合福祉センター3階・大会議室 ほか

参 加 者 : 89名

内 訳 : 教職員 40 名、民生委員児童委員(主任児童委員)16 名、福祉委員 20 名
福祉推進員・ボランティア 2 名、ゲストティーチャー1 名、やすらぎのまち市民協議会 2 名
他市町村社会福祉協議会 8 名

内 容 : 【第1部】

講 演 「福祉教育のこれまでと、未来につなぐ福祉教育の取り組み
～地域・学校・家庭が連携した福祉教育の実践～」

講師:大阪教育大学 教育協働学科 教授 新崎 国広 氏

会場:総合福祉センター3階 大会議室

【第2部】

福祉体験・講座 (1)車いす介助体験 (2) 視覚障がい疑似体験 (3) 特別支援教育講座

【会場内パネル展示】

・各学校の福祉教育の取り組み

・福祉教育推進校 大野北小学校(3・4学年)の活動紹介

共 催 : 大野城市教育委員会

※参加者アンケートは、巻末アンケート集「④2019年度福祉教育基礎研修会アンケート集計」参照

3 大野城市福祉教育推進校の共同事業 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の全10小学校の中から福祉教育推進校となる1校を教育委員会・校長会で選定していただき、1期2年として福祉教育教材「ともに生きる」を活用したプログラムを学校・市・社協の三者で取り組んでいる。

令和元年度は、大野北小学校の3年生・4年生の2学年を対象に、2年目(最終年)となる福祉教育プログラムを実施した。

◇3年生(児童数:87名)

5月29日(水)「わたしのつながりマップ」

講師:福祉・ボランティア・見守り活動に携わっている方々

6月13日(木)小学生向け認知症サポーター養成講座(寸劇)

講師:認知症地域支援推進員、福祉施設職員

9月17日(火)「障がいについて」

講師:社会福祉協議会 地域課 課長 馬場 徹

10月18日(金)障がいのある人の社会生活

講師:大野城市障がい者施設団体連絡協議会

(あけぼの園、はまゆうワークセンター大野城、まどか・ゆいばる)

11月13日(水)車いす体験

11月28日(木)障がい者スポーツ「車いすバスケット体験」

講師:福澤 翔 選手(所属:ライジングゼファークオカ Wheelchair)

◇4年生(児童数:108名)

5月9日(木)「みんなにとって優しいまちってどんなまち？」

講師:社会福祉協議会 地域課 課長 馬場 徹

9月12日(木)バリアフリーマップづくり(まどかぴあ・総合福祉センター・心のふるさと館)

11月21日(木)校外学習「みんなにとって優しいまちってどんなまち？アイマスク体験」

1月16日(木)「ボランティア活動ってなんだろう？」

講師:マジックグループファンタジア 愛甲 忠一 氏、社会福祉協議会 地域課 益坂 和

1月28日(火)ボランティアセンター見学・絵付けボランティアと収集ボランティア体験

講師:介護ボランティアききょう

13. 父母子福祉対策事業



ひとり親家庭の相談に対する支援(母子会会議での助言や事業等)を行なっている。

令和元年度実績

1 大野城市母子寡婦福祉会への支援

共同募金配分金を活用して、大野城市母子寡婦福祉会では、日常における母子家庭の生活の安定等を目指して、自立促進につながる総合的なひとり親家庭の施策を充実するための活動が展開されている。

福岡県(受託:福岡県母子寡婦福祉連合会)学習支援ボランティア事業の支援

14. 在宅介護者支援事業



高齢者等の介護をされている家族を対象に、日帰りのリフレッシュ事業などを開催し、介護者同士のつながりをつくることなどを目的として事業を実施している。

令和元年度実績

1 介護者のつどい

内 容: 大野城市内に在住の高齢者(障がい含む)を、在宅または施設で介護中の方を対象に、日帰り旅行を通した当事者同士の交流の場づくりを企画した。

期 日: 令和2年3月3日(火)

場 所: 福岡県柳川市

※新型コロナウイルスの感染予防のため中止

15. 赤い羽根共同募金運動



令和元年度実績

多くの方々にご協力頂いた共同募金は、地域の福祉活動費や福祉団体への助成、社会福祉協議会が行なう様々な福祉事業に活かされている。

1 共同募金啓発チラシデザイン募集

内 容 : 啓発用チラシのデザインを、小学校4年生～6年生から募集し、入選作品を社協だより(ふくしんぼ177号)の折込みチラシとして全戸に配布。今回、月の浦小、下大利小、大城小、御笠の森小、大野北小の児童を対象として募集し、409 作品の協力を頂いた。入選作品は、共同募金運動期間中に総合福祉センターや各コミュニティセンターに展示した。

応募件数 : 409 件

最優秀作品 : 御笠の森小学校 6 年 中野四葉さん

2 目安額・実績額

(単位: 円)

	令和元年度		平成30年度	
	目 安 額	実 績 額	目 安 額	実 績 額
戸 別 募 金	13,960,000	14,409,335	14,509,000	13,827,320
企 業 募 金	2,563,000	2,598,895	2,618,700	2,537,709
街 頭 募 金	312,000	276,192	306,400	308,792
職域団体募金	716,000	852,674	701,500	708,515
バッジ等募金	551,000	553,344	539,700	545,994
個 人 募 金	297,000	314,431	365,700	293,891
イベント募金	10,000	20,990	16,400	9,743
自販機売上募金	575,000	591,092	939,300	569,092
募金箱設置協力	323,000	262,490	323,300	319,314
寄付つき商品による募金	76,000	65,208	77,300	74,860
合 計	19,383,000	19,944,651	20,397,300	19,195,230

3 寄付つき商品

大野城市内の事業所に協力いただき、共同募金(寄付)商品の開発を行い、推進している。

商 品 : かりんとう
協力企業 : 有限会社天龍堂製菓(大野城市仲畑)
募 金 額 : 65,208 円 (3,432 個)

4 支会理事会開催状況（理事総数 16名）

開催年月日			議 題		出席者
令和元年	8月26日	第1回	第1号議案	令和元年度共同募金運動実施計画案について	16名
令和2年	3月18日	第2回	第2号議案	令和2年度福岡県共同募金会大野城市支会資金収支予算書(案)について	13名

5 令和元年度赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう

このつどいは、これまで地域の身近な福祉活動、団体支援、近年は災害時のボランティア活動や新たな配分の取り組み等を支えている募金運動を通して、地域や関係団体・企業等が連携し、それぞれの思いと使命をひとつに結び付け、地域福祉を進めていくことを目的に開催。

期 日：令和元年9月7日(土)
 会 場：大野城まどかぴあ 多目的ホール
 参 加 者：117人
 内 容：
 ・福岡県共同募金会会長感謝状贈呈
 ・講演（福岡県共同募金会）
 ・企業の皆様から地域への思い など

6 企業募金推進打合せ会議

平成29年度までコミュニティごとに開催していた「コミュニティ企業募金推進会議」を平成30年度より各区ごとでの打合わせ会議に変更した。令和元年度も事前に各区に聞き取りを行い、会議の形態や開催の有無を確認した。事前の簡単な打ち合わせを希望された地区が多く、事業所の数や各推進状況により、打合わせがなかった地区は7区あった。

南コミュニティ：6区 中央コミュニティ：5区
 東コミュニティ：4区 北コミュニティ：5区

16. 福祉機器貸出事業



在宅で生活するために車いすや電動ベッドを必要とする人で、公的制度を利用することができない場合、又は利用決定するまでの期間に、短期間の福祉機器の貸出を行っている。

令和元年度実績

貸出延件数：車いす 103 件(前年比-32 件) 電動ベッド 4 件(前年比+1 件)

17. 福祉機器リサイクル事業

不要になった電動ベッドや車いすなどの福祉機器を必要としている方に斡旋し、まだ利用可能な福祉機器を活かすことを目的としている。

令和元年度実績

登録件数：0 件(前年比-3 件)

斡旋件数：0 件(前年比-2 件)

18. 移送サービス事業

著しく歩行が困難で車椅子等を利用している人や、寝たきりの状態で既存の交通機関を利用することが困難な人に対してリフトカーを運行し、障がい者や高齢者の社会参加の1つの手段として活用することで、福祉の増進を図ることを目的としている。ただ課題としては現在 2 台の車両で運行しているが、うち1台が走行距離が20万キロを超えており、新しい車両の導入を試み、日本財団等いくつかの企業等へ車両購入補助申請を行ったものの採用には至らず、今後も引き続き車両購入の補助申請を行っていく。

令和元年度実績

利用登録者数：40名(前年比-1名)

移送サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働日数(日)	18	16	17	25	18	19	23	19	20	22	18	18	233	19.4
利用延人数(人)	34	31	28	34	28	34	34	32	27	31	27	31	371	30.9

※参加者アンケートは、巻末アンケート集「⑤移送サービス(リフトカー)についてのアンケート結果」参照

19. ハンディキャブ貸出事業



車いすを利用している人や車いすを利用しないと外出が困難な人に、車いすに乗ったまま乗車できる軽車両（ハンディキャブ）の貸し出しを行う事業で、ハンディキャブを利用する事で障がい者や高齢者の外出を容易にし、家族の負担を軽減することを目的としている。また、利用者が運転者を確保できない場合、ボランティアセンターにおいて運転ボランティアのコーディネートを行っている。最近の傾向としては、家族で運転をするケースがほとんどになっている。

令和元年度実績

利用登録者数：39名（前年比 +9名）

運転ボランティア登録者数：7名

ハンディキャブ貸出事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働回数	13	22	17	14	14	26	20	22	12	15	11	10	196	16.3
運転ボランティア稼働人数	1	6	6	2	0	2	4	6	2	3	2	5	39	3.3
新規登録者件数	27	2	1	1	0	2	4	2	1	1	2	1	44	3.7

※参加者アンケートは、巻末アンケート集「⑥移送サービス（ハンディキャブ）についてのアンケート結果」参照

20. 福祉食事サービス（市受託事業）

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などに1年365日食事（昼・夕）を宅配しながら安否確認・見守りを行っている。この事業では、ボランティアグループ「ききよう」の作成による絵手紙を毎月添付している。

令和元年度実績

利用者数：月平均 76 名
 延食数：24,288 食
 延利用者数：915 名（前年比 97%）

※福祉食事サービス利用状況の詳細については、巻末資料「別表 6」令和元年度福祉食事サービス利用状況」P67 参照

21. 福祉バス運行事業

各地域の福祉活動では、ミニデイや福祉推進委員の視察研修などに、また福祉団体は各種イベントやスポーツ大会等への参加、先進地の視察研修などに福祉バスの利用が行われている。令和2年2月からのコロナウィルス感染防止対策のため運行の取りやめが相次いだ、運行回数は昨年とほぼ同じとなった。

令和元年度実績

福祉バス運行状況 乗車27人乗り(マイクロバス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
運行回数(回)	5	19	21	12	8	18	23	22	12	4	6	0	150 (前年比+1件)	13
延利用者数(人)	103	376	386	209	119	316	502	376	205	57	122	0	2,771 (前年比+45件)	230

*利用団体状況	(1) 福祉推進委員会、コミュニティ福祉部会、区長会、民児協	70	回
	(2) 社協が事業を行う上で必要とする場合	3	回
	(3) 行政が事業を行う上で必要とする場合	14	回
	(4) 社会福祉団体が福祉活動を行う上で必要とする場合	21	回
	(5) 福祉に寄与する団体等で使用目的、及びその活動の内容を 勘案し会長が必要と認めた場合	42	回

※利用者アンケートは、巻末アンケート集「⑦福祉バス利用者アンケート集計」参照

22. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

教育支援費は日本学生支援機構奨学金の拡充等に伴い、他制度につなぐことを目的として原則6ヶ月以内の申請となっており、教育支援資金の説明とともに他制度の確認も行うようにした。

総合支援資金、緊急小口資金の貸付は貸付希望者の負担軽減や支援の方向性を明確にするためにも自立相談支援機関との連携に努めたい。

また、3月よりコロナウイルス感染症に関する特例貸付として総合支援資金(生活支援費)、緊急小口資金の貸付申込が開始となり、当該資金の相談、申込みが増加した。

令和元年度実績

◇生活福祉資金相談・貸付状況

(※相談件数は初回相談時を標記 ※決定件数は平成30年度申込分を含む)

種別 / 内容		相談件数	申込件数	決定件数	貸付額
総合支援資金	生活支援費	8	6	1	600,000円
	住宅入居費	1	0	0	0円
	一時生活再建費	0	0	0	0円
教育支援資金	就学支度費	19	12	11	3,635,000円
	教育支援費	18	10	9	2,646,000円
福祉資金	生業	0	0	0	0円
	技能修得	1	0	0	0円
	葬祭	0	0	0	0円
	転宅	3	1	1	218,000円
	福祉用具購入	0	0	0	0円
	障がい者自動車購入	1	0	0	0円
	住宅改修	3	1	1	1,620,000円
	療養・介護	0	0	0	0円
	災害援護・国年・エアコン・必需品	1	1	1	40,000円
	緊急小口資金	69	48	38	1,850,000円
不動産担保型生活資金		3	0	0	0円
その他		22	0	0	0円
合 計		※149	79	62	10,609,000円

(前年比 58%)

◇臨時特例つなぎ資金相談・貸付状況

種別 / 内容	相談件数	申込件数	決定件数	貸付額
臨時特例つなぎ資金	1	0	0	0円
合 計	1	0	0	0円

23. 大野城市生活支援体制整備事業(市受託事業)

平成30年4月に第1層協議体(通称:もやいネット大野城)を設置し、また第2層協議体については、市の方針である令和2年度内での4コミュニティ設置を目標とし、平成31年3月に南コミュニティに第2層協議体が設置された。令和元年度は、残る3地区のコミュニティ運営協議会それぞれに打合せを行い、東コミュニティがすでに設置されていた東地区包括ケアシステム実行委員会と協議をする場を頂き、令和2年1月に市内2ヶ所目となる第2層協議体を設置されることとなった。

また、令和元年9月に社会資源情報冊子「大野城市暮らしのもやい帳(第2版)」2,000部を発行した。

1 大野城市生活支援体制整備第1層協議体(もやいネット大野城)の開催

大野城市が目指す地域の姿を共有し、これから進めていくべき「地域共生社会」のまちづくりを推進するため、大野城市全体でどう取り組んでいくか。また、そうした地域課題を各コミュニティごとに協議する場の中心となる第2層協議体の設置について協議を重ねた。

開催回数:3回

大野城市生活支援体制整備第1層協議体委員:14名

- ・学識経験者(1名)・区長(1名)・民生委員(1名)・福祉委員(1名)・介護保険事業者(1名)
- ・社会福祉法人(施設)(1名)・シニアクラブ(1名)・ボランティア連絡協議会(1名)
- ・シルバー人材センター(1名)・医療関係者(1名)・企業(1名)・基幹型地域包括支援センター(2名)
- ・南地区地域包括支援センター(1名)

内容:生活体制整備第1層及び第2層協議体について、第2層協議体設置に向けた今後の実施計画、大野城市暮らしのもやい帳の発行と更新について

開催日	議 題
第1回 令和元年 7月31日(水)	・委嘱状交付、正・副委員長の選任 ・生活支援体制整備第1層及び第2層協議体について ・大野城市暮らしのもやい帳について
第2回 令和元年 12月17日(火)	・第2層協議体設置に向けた経過報告、今後の実施計画 ・大野城市暮らしのもやい帳の発行と更新について
第3回 令和2年 3月17日(火)	・モデル地区(南コミュニティ)の経過報告と第2層協議体の設置について ・4地区コミュニティの現状について ・大野城市暮らしのもやい帳のアンケート調査の結果報告 ・次年度について

2 第2層協議体の設置に向けて

(南地区)

南地区ケアシステムプロジェクト会議(南地区第2層協議体)

開催回数:3回(※第4回はコロナウイルス感染防止の為、中止)

第1回	令和元年6月13日
第2回	令和元年8月23日
第3回	令和2年1月24日
※第4回	令和2年3月27日

内容:会議運営要領を元に、会議の目的・組織構成・処理方法の確認。地域ケア会議から出た課題を中心に、状況把握・問題解決を図っていく。

また、子どもから高齢者までの多様な課題解決に向けて、体制の見直しをしながら具体的な取り組みを進めていく。

(東地区)

東地区包括ケアシステム実行委員会(東地区第2層協議体)

開催回数:3回(※第4回、第5回はコロナウイルス感染防止の為、中止)

第1回	令和元年9月30日
第2回	令和元年11月18日
第3回	令和2年1月25日
※第4回	令和2年2月28日
※第5回	令和2年3月27日

内容:平成31年度に策定した東地区コミュニティまちづくり計画にて、東地区包括ケアシステム実行委員会・SOS ネット実行委員会を設置し、福祉問題に関する協議を重ね、令和2年1月25日に第2層協議体として設置されることとなった。

(その他)

中央地区・北地区においても、令和2年度中の設置を目標に、それぞれの地区の事業の内容や特色などを確認しながら、各コミュニティ運営協議会と協議を進めた。

3 生活支援コーディネーター連絡会の開催

地域の社会資源調査を行い、社会資源の情報共有や各コミュニティの福祉活動に関する情報交換を行っている。(生活支援コーディネーターのことを「SC」と呼んでいます)

開催回数12回(月1回)

出席者:基幹型地域包括支援センターSC、4地区地域包括支援センターSC、社協SC、社協担当者

内容:市内の社会資源調査及び社会資源の整理、大野城市暮らしのもやい帳の更新・第2版発行・配布について、第2層協議体の設置に向けての進捗状況など

4 研修等への参加・開催について

①生活支援コーディネータースキルアップ研修の開催

(第1回)

講義:大野城市生活支援コーディネータースキルアップ研修
～ボランティアコーディネーションの視点から～

日 時:令和2年2月13日(木)14時～16時

講 師:社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部地域支援課 課長 公文 真理亜 氏

内 容:ボランティアコーディネーションの視点から

ボランティアコーディネーター基本指針

第2層協議体の設置を見据えた会議の運営方法や計画づくりについて 等

出席者:基幹型地域包括支援センターSC、4地区地域包括支援センターSC、社協SC、社協(介護課、地域課)

※参加者アンケートは、巻末アンケート集「⑧生活支援コーディネータースキルアップ研修アンケート集 計結果」参照

(第2回)

日 時:令和2年3月11日(水) おおのじょうボランティアのつどい

※新型コロナウイルス感染症予防のため、中止

②福岡県生活支援コーディネーター連絡会

- ・第10回(4月17日:大刀洗町)
- ・初任者研修会(6月5日:福岡県中小企業振興センター)
- ・第12回(10月16日:糸島市)

③筑紫地区五市生活支援コーディネーター情報交換会

- ・5月23日【筑紫野市】 ・7月19日【那珂川市】
- ・12月6日【太宰府市】 ・2月19日【春日市】

④その他

- ・生活支援体制整備意見交換会(2月4日:福岡県社会福祉協議会)
- ・福岡県地域交通体系整備促進協議会研修会(2月5日:福岡県中小企業振興センター)

5 社会資源冊子「大野城市暮らしのもやい帳」の作成

「大野城市暮らしのもやい帳」の配布活用については、シニアクラブやケアマネージャー等、関係機関に協力依頼をするとともに、特に情報が必要な高齢者を中心に進めている。令和元年9月に発行した第2版(2,000部)については、コミュニティセンター及び公民館並びに医療機関にポスターを掲示し、周知を図った。また、アンケート調査を行い、市民と共に活用していただけるような冊子づくりに取り組んだ。

※利用者アンケートは、巻末アンケート集「⑨大野城市暮らしのもやい帳に関するアンケート調査結果」参照

24. 被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災にて被災し、地震、津波、原発事故、風評の被害がある福島県南相馬市を継続的に支援している。“忘れない”を合言葉に寄り添い、支援を続けている。

令和元年度実績



1 令和元年度東北応援の旅

これまでの被災地応援の旅に参加された方々に意向調査を行ったところ、東北応援の旅を希望される方が多く集まり、今年度はその東北応援の旅に参加希望された方々より、「令和元年度東北応援の旅実行委員会」が組織され、実行委員会を中心に旅行の行程や企画内容の協議を進められた。

●令和元年度東北応援の旅実行委員会

【第1回】令和元年7月22日(月)

【第2回】令和元年8月23日(金)

★令和元年度東北応援の旅

【実施日】令和元年11月12日(火)～14日(木) 2泊3日

【行き先】11/12(火) 南相馬市社会福祉協議会・宮城県関上地区・南相馬市小高地区

11/13(水) 南相馬市鹿島地区・宮城県女川地区・岩手県大船渡市

11/14(木) 岩手県南三陸町

2 被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

総合福祉センター1階ロビーにて、「福島県応援ショップ」として福島県南相馬市の特産品等を中心に販売を行っている。購入を通じた支援を行いながら、「つながり」を大切に、息の長い応援を継続する。

3 令和元年8月九州北部豪雨被災地支援活動

8月27日から大雨災害で設置された災害ボランティアセンターへ職員派遣し、被災された方の生活再建のための支援を行なった。

日時:令和元年9月18日(水)～9月21日(土)

場所:佐賀県武雄市北方町

内容:武雄市災害ボランティアセンター運営支援(マッチング班)

職員:1名

4 被災地支援義援金

市民の皆さまから預かりした多額の義援金は、被災地に設置された義援金配分委員会を通じて被災者へ分配される予定である。

Ⅱ－事業・活動

平成 28 年熊本地震義援金	46,235 円
平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金	15,401 円
平成 30 年 7 月豪雨義援金	16,789 円
令和元年 8 月佐賀県豪雨災害義援金	159,555 円
令和元年度台風 15・19 号千葉県義援金	26,699 円
令和元年度台風 19 号災害義援金	103,407 円
合 計	368,086 円

朝倉市へ直接送金

朝倉市義援金	16,134 円
--------	----------

25. 社会福祉法人のネットワークの構築

社会福祉法人・福祉施設は、それぞれに専門性を有しており、それをどう地域へ活かすかなど複数の法人による情報交換と法人同士の「顔が見える関係」をつくるため、平成30年度に設立された社会福祉法人連絡会では、分野が違う社会福祉法人相互の連携・協働の取組を進めている。令和元年度は、どの法人にも関わりの深い「防犯」をテーマに、春日警察署より施設における防犯対策等をテーマに研修された。

令和元年度実績

1 社会福祉法人連絡会総会

顔の見える関係づくりを基盤に、①会員相互のネットワークの充実、②災害時における取組の充実、③先行事例等の研修の実施、④ふくおかライフレスキュー事業との連携を重点事業に置き、会員法人めぐり（視察研修）や大野城市社会福祉法人マップを通して社会福祉法人連絡会の存在や相談先を周知していくこと、社会福祉法人として共通して学んでいきたい研修内容を協議する。

日時：令和元年5月29日（水）15：30～

会場：大野城市総合福祉センター

内容：平成30年度事業報告・平成30年度収支決算報告

令和元年度（2019年度）事業計画案・令和元年度（2019年度）収支予算案

大野城市社会福祉法人マップについて

参加者：9法人18名（社協5名）

2 社会福祉法人連絡会定例会議の開催〔主に各法人理事長の会議〕

【第1回】

日時：令和元年9月20日（金）14：30～

会場：大野城市総合福祉センター

内容：上半期の報告

地域や施設内外で直面している福祉課題について

2月に予定する研修内容について

参加者：8法人14名（社協5名）

【第2回】

日時：令和2年2月10日（月）14：30～

会場：大野城市総合福祉センター

内容：研修「施設の防犯対策」講師：春日警察署安全安心推進室

法人めぐりについて・総会および次年度の役員選出について

参加者：10法人20名（社協5名）

3 社会福祉法人連絡会連絡会議の開催〔主に各法人実務担当者の会議〕

【第1回】

日 時 : 平成31年4月26(金) 15:30～
会 場 : 大野城市総合福祉センター
参加者 : 7法人15名(社協7名)
内 容 : 大野城市社会福祉法人マップの修正進捗状況
総会に向けた平成30年度の決算・2019年度予算案・事業報告・事業計画案

【第2回】

日 時 : 令和元年7月23(火) 14:30～
会 場 : 大野城市総合福祉センター
参加者 : 5法人10名(社協5名)
内 容 : 大野城市社会福祉法人マップの運用について
法人めぐり(視察研修)について
今後の実務者会議の議題と進め方について(参加人数や協議形式について)

【第3回】

日 時 : 令和2年1月29日(水) 14:30～
会 場 : 大野城市総合福祉センター
参加者 : 9法人15名(社協4名)
内 容 : 2月の研修に関する防犯マニュアル話し合い
施設内外での事例検討会議

【第4回】

日 時 : 令和2年3月25日(水) 14:30～
会 場 : 大野城市総合福祉センター
参加者 : 7法人11名(社協5名)
内 容 : 決算・事業報告、次年度の事業計画(案)、役員体制

Ⅲ. ボランティアセンター事業

ボランティア活動推進 45

声の広報 50

26. ボランティア活動推進

平成30年度は西日本豪雨等により被災した、各地域の災害ボランティアセンター等での活動前に、ボランティア保険加入相談が多く入ったが、令和元年度はその分の相談が減り、相談件数は平成30年度と比べて減少となった。

一方で小学校への福祉教育でボランティアセンターの活動紹介や、子どもたちが実際にボランティアセンターの見学をした後で、ボランティア活動に興味を持った子どもたちが、学校が終わって午後5時までのわずかな時間に、ボランティアセンターで自分たちにできるボランティア活動を行なったり、ペットボトルキャップやリングプルなどの収集を学校で呼びかけるなど、収集ボランティアにも関わっていただいた。

令和元年度実績

1 ボランティア活動相談・コーディネート状況

コーディネート延べ件数 : 216 件[ボランティア保険 68 件・コーディネート 148 件]

… 相談:36 件(繋いだ組:35 組、繋がらなかった組:9組)

※相談延べ件数 : 106 件

- ・活動希望・情報収集に関する相談件数 : 64 件
- ・ボランティアニーズに関する相談件数 : 42 件

コーディネートを行ったボランティア活動の主な内容

- ・高齢者施設等での活動
(マジック手品、音楽レクリエーション、歌、太鼓、フルート、バンド、三味線等)
- ・学童保育所での活動(マジック手品、バルーンアートボランティア、音楽レクリエーション等)
- ・ボランティアグループでの活動(おもちゃ病院、運転ボランティアむつわ)
- ・運転ボランティア 定例会 10 回 ・新規ボランティア団体登録
- ・障がい児とのふれあいの旅ボランティア ・マンションや子ども会、ミニデイでのボランティア活動
- ・手話をしたいボランティアを会へ案内 ・小学生による募金の呼びかけ
- ・マジックをしたいボランティアを会へ案内
- ・おもちゃ病院のドクターをしたいボランティアをおもちゃ病院へ案内
- ・点字をしたいボランティアを会へ案内 ・拡大写本をしたいボランティアをグループへ案内
- ・要約筆記をしたいボランティアを会へ案内 ・認知症カフェへ精神障がいのある方を案内
- ・放課後等デイサービスでのボランティア ・何かしたいという方を運転ボランティアへご案内
- ・外国人留学生を登録団体へ案内 ・学習支援ボランティアへご案内

※ボランティア保険手続き 68 件 (198 名加入 ボランティア行事用保険除く)

2 配信システムによるボランティア情報等の提供

携帯電話やパソコンへの配信システムを構築(グループ別にて配信可)し、ボランティアセンター登録者や福祉委員の方々へ情報の提供を行っている。

登録者数:233名

3 ボランティアセンター運営委員会

運営委員(4名):民生委員経験者、ボランティア連絡協議会、障がい者施設団体連絡協議会、有識者各1名

開催回数:3回

開催年月日			議 題	出席者
令和元年	4月2日	第1回	・ボランティアセンター事業計画について ・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて	3名
	6月14日	第2回	・ボランティアセンター運営委員会について ・ボランティアエントリーシステムについて ・ボランティアセンター見学について	4名
令和2年	2月7日	第3回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて ・ボランティアセンター視察研修について	4名

4 おおのじょうボランティアのつどい 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティアセンターを拠点に活動しているテーマ型ボランティアと、各地域で活動している地縁型ボランティアの他、一般のボランティアが一堂に会し、情報提供・情報交換、情報共有の充実を図るため、おおのじょうボランティアのつどいを開催した。地縁型ボランティアやテーマ型ボランティア、一般のボランティアの対話の場をつくり、お互いのことを知ることから始めることを目的としている。

開催日時	令和2年3月11日(水) 13:30～16:00
場 所	大野城まどかびあ多目的ホール
ファシリテーター	加留部 貴行 氏
テーマ	「あったらいいな、こんなボランティア～これからの大野城を考える～」
対象者	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ及び 個人登録ボランティア、地域福祉活動ボランティア、エントリーシステム利用者

※コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

5 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

開催日時	令和2年3月15日(日) 8:45～12:15
参加者	災害ボランティア「ONOJO」メンバー、社協職員、市民
内 容	・テント設営、各班にボランティアをスムーズに通すための動線や班の機能を発揮するための準備 ・災害が発生して市民からニーズを受け付けるシュミレーション ・災害ボランティアセンターにボランティアが来てから受付をるところから被災地に出発するまでの流れの確認

※コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期

6 被災地での災害ボランティア活動希望者への情報提供・コーディネート等

大野城市民の方々に被災地においてボランティア活動を希望される方への情報提供や、ボランティア保険の手続きを行い、被災地にて注意すべきアドバイス等を行いながら送り出しを行った。

被災地での活動人数：48名（大野城市社協にて保険手続きを行われた方の人数）
【前年比28%】

7 ボランティアエントリーシステムの運用

ボランティア活動へ気軽に「エントリー（応募）」することができる仕組みを創り、ボランティア活動メニューを開発することにより、新たな人材がボランティア活動を始める機会を提供するためのボランティアエントリーシステムの構築に向けて、市内のボランティアの受け入れを行っている福祉施設やボランティア団体にボランティアエントリーシステムの趣旨説明を行い、及び気軽にできるボランティア活動メニューづくりを行った。また、ホームページから簡単に申込ができるようなツールとしてのシステム構築を行い、試行的に運用を行いボランティアの募集を行った。今後は随時気軽に参加できるようなボランティア活動メニューを増やしていかなければならない。

募集したボランティア活動メニュー

- ・小中ふれあいの旅ボランティア説明会
- ・ふれあいの旅ボランティア説明会
- ・地域交流イベント
- ・みんなのいこいの場
- ・みんなでかき氷を作ろう
- ・防災フェスティバル
- ・認知症カフェ
- ・デイサービスでのカフェ
- ・4周年感謝祭
- ・子どもたちとカラオケで盛り上がりよう
- ・障がい者との遠足

8 ボランティアセンター登録

★ボランティア登録者数（団体登録者 750 名 個人登録者 218 名）

★ボランティア団体登録状況

総合福祉センター1階のボランティアセンターを拠点に活動しているボランティアグループの支援を行うとともに、ボランティアセンターはボランティアのたまり場として、なくてはならないスペースであり、コピー機や大型プリンターは各種団体や地域の利用も増えている。また、ボランティア連絡協議会は、ふれあいの旅等において常に協働するとともに、共同募金配分金をととしてその活動への助成を行っている。

大野城市ボランティア連絡協議会 構成数10グループ

グループ名	活動内容	会員数
大野城手話の会	手話講習会の開催、手話通訳者の派遣、聴覚障がい者との交流会	24 名
点訳サークル あゆみの会	点訳講習会の開催、各種点訳活動、視覚障がい者との交流会	14 名
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会	26 名
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ方々とのレクリエーション活動	11 名
介護ボランティア ききょう	特別養護老人ホームでのお手伝い、食事サービス利用者への絵手紙づくり	12 名
おもちゃの図書館 あいあい	障がいを持つ子どもも持たない子どもも、共に遊ぶおもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成	17 名
拡大写本 虹の会	弱視の方から要請のある図書の拡大写本づくり、視覚障がい者との交流会	7 名
車いすダンス アミーゴス	車いすダンスの普及活動、車いす利用者との交流会	41 名
運転ボランティア むつわ	社会福祉協議会のハンディキャブ貸出事業における車両の運転	7 名
大野城要約筆記の会 びあ	聴覚障がい者への文字による同時通訳活動、要約筆記奉仕員養成講座の開催	11 名

計 170 名

Ⅲ ボランティアセンター事業

ボランティアセンター登録グループ 27グループ

グループ名	活動内容	会員数
まちづくり懇談会	市民サイドからのまちづくり研究やふるさとづくり活動	14 名
NPO法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためのサポート事業、海外支援、交流事業、提言、ネットワーク事業(調査、研究)	139 名
グループファンタジア	施設や敬老会等でのマジックボランティアやマジックによる各種団体との交流活動	10 名
創人エイサー守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベント等での演舞	22 名
国際交流協会	コミュニティ活動等を活かした国際交流の推進	113 名
子育てサポーターたけのこ支援	大野城市に引っ越してきた親子等を対象に子育てサロンを開催	11 名
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理	4 名
花の芽クラブ	障がいのある人となない人が一緒に楽しめる風船バレーボールを通しての交流活動及び普及活動	21 名
ボランティアグループりんごの会	近隣の公民館や福祉施設等で唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰問活動	7 名
大野城傾聴ボランティア「ダンボ」	大野城市内の施設等における傾聴ボランティア活動	17 名
大野城学習支援室かぼちゃ	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行う	21 名
おやのかい MIRAI	発達障害の子どもや保護者、発達障害に理解ある者が会員となり、発達障害の子どもたちが安心して就労できる企業や事業所を訪問して増やす活動	25 名
にほんご教室きんしゃい	留学生等の外国人に日本語を教え、学習することとおして国際交流を図り会員相互の理解を深める活動	5 名
演歌しゃくなげ	施設等においてギターや三味線、大正琴などの楽器を使って季節の童謡や歌謡曲、ナツメロ音楽を演奏	7 名
マジック雅	マジックを通じた地域の方々との交流や、地域社会の活性や社会福祉の情操を目指した活動	13 名
LaLaLa 音楽レクリエーション	介護予防や認知症予防のための音楽療法やレクリエーションの要素を取り入れた音楽や、子どもを対象にした音とリズムと歌を楽しむ活動	6 名
ららら♪シニアネットオーケストラ	施設等での童謡・唱歌・ナツメロなどの昔懐かしい曲の生演奏活動	22 名
いきいき健康レクササイズ	レクリエーションの要素を取り入れた椅子に座ったままできる運動(エクササイズ)や昔懐かしい歌を取り入れた運動	17 名
Blue bear project	老人ホームでのふれあい演奏会や学校等でのライブ演奏	8 名
なんくる〜ず	デイサービスや老人ホーム、公民館等で三味線を使った沖縄民謡や童謡等の演奏	12 名
「ハレハレ〜hare＊hale〜」子どもの居場所づくりサークル	様々な理由で学校に行けない、または自分の居場所がないと感じる子どもの居場所をつくる活動	8 名
災害ボランティア「ONOJO」	災害ボランティアとして必要な知識やスキルを学びながら、支援の輪を広げる活動と災害時支援活動	29 名
MELODY	音を奏で、演者も聴いてくださる方も楽しい時間を過ごしていただきたいと願い活動を行っている	7 名
ハーモニカ風の会	仲間づくり、健康づくり、ボケ防止、心と体の健康に必要なのは、笑える仲間づくりと語れる笑いづくり。独奏、合奏などを行う。	14 名
絵本箱	世代を超えて、みんなで絵本を楽しむ	2 名

防災ほっとキッチン	災害時にあたたかい食事をとれるように、バッククッキングの普及活動 HUG（避難所運営ゲーム）の普及活動	8名
とっ・と一・たい	ボランティア活動を推進するため、会員の経験と知識を活かし、他人や 社会に貢献する活動を中心とした、地方公共団体、大野城市社会福祉活 動の推進に取り組む団体と、会員の連絡等、良好なボランティア維持お よび形成に資する共同活動を行うことを目的とする。	18名

計 580 名

27. 声の広報

目の不自由な方や寝たきりの方に、青年団体連絡協議会が市の広報を、朗読の会「文鳥」が社協だより、
季節のたより『紙飛行機』、希望図書等をカセットテープに吹き込み、当事者の方の近況確認のため、社協担
当職員が自宅に届けている。

令和元年度実績

回 数:	24 回
登録利用者数:	12 名

IV. 総合相談事業

総合相談事業 …… 51

28. 総合相談事業

地域住民の悩みを一緒に考え、よりよい解決策をさがし、問題解決を図るため、弁護士による専門相談員や常勤相談員による助言を行う場を総合福祉センター内に設けている。

平成 29 年度より、地域住民の身近な地域で相談事業を実施するため、新たな取り組みとして 4 地区のコミュニティセンターにおいて、弁護士による相談事業を実施している。

また、令和元年度より毎月第 1 火曜日の午後の枠を増設し、より多くの相談ニーズへ対応している。

◇市の広報掲載内容

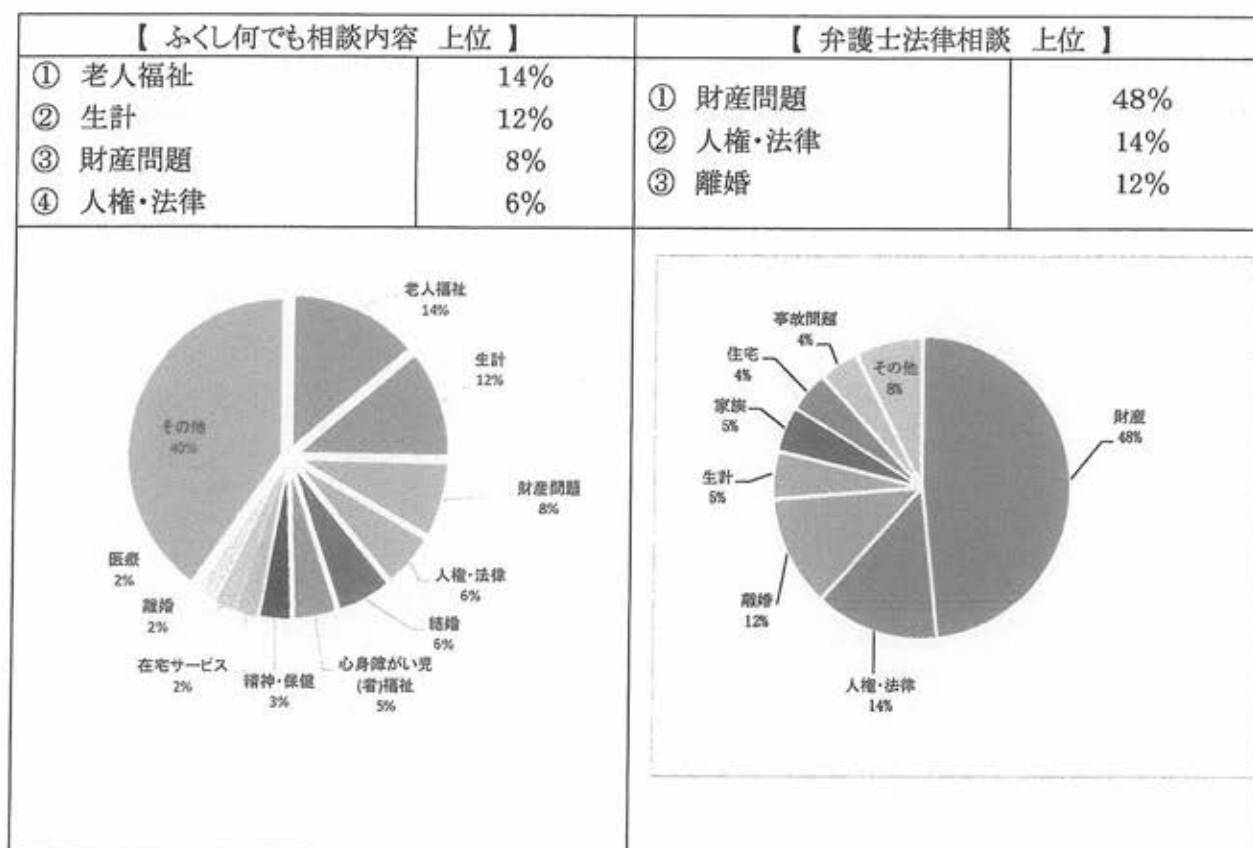
社会福祉協議会 ☎(572)7700 ふくし何でも相談 福祉の各種相談を随時受け付けています。 電話相談可 ☎(501)3311 ※午後 0 時 15 分～午後 1 時まで では昼休み、土・日・祝日、8 月 13 日～15 日、年末年始は休みです。	弁護士による電話法律相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家など 毎月第 2 木曜日午前 10 時～正午 (受付は午前 11 時 40 分まで) ☎(501)7830	弁護士による心配ごと相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家など 第 2・3 火曜日午前 10 時～正午 第 1・4 火曜日午前 10 時～正午 午後 1 時～午後 3 時 ※受付は午前 9 時～、 午後 0 時 45 分～ 事前予約可 ☎(572)7700
---	--	--

令和元年度実績

1 相談内容・状況等

相談員：	社協担当職員 1 名、弁護士 6 名	
協力：	民生委員 4 名	
内容：	心配ごと相談(第 1・2・3・4 火曜日)	251 件 (68 回)
	電話法律相談(第 2 木曜日)	37 件 (12 回)
	ふくし何でも相談(月～金曜日)	73 件
	南コミュニティセンター法律相談(8/3)	5 件
	中央コミュニティセンター法律相談(7/20)	4 件
	東コミュニティセンター法律相談(8/17)	5 件
	北コミュニティセンター法律相談(7/6)	4 件
	ふくしフェスティバル法律相談(12/1)	5 件
	計	384 件 (前年比 106%)

※利用者アンケートは、末巻アンケート集「⑩相談事業(心配ごと相談)アンケート集計」参照



* 高齢社会を背景とした介護についての家族問題や財産に関する相続問題、将来への不安等の相談が増えている。また、債務整理など実際に弁護士に委任した方がよいと思われる案件も多くなっており、生活困窮を含め、問題・課題も複雑化しているため、場合によっては、他の機関が行っている支援制度へと確実につなぎ、相談者のよりよい生活へ向けて尽力している。

2 相談員懇談会の開催

相談事業における近年の傾向や要望を基に、市民が活用しやすい相談事業のあり方を協議し、改善点(開催回数・開催内容)の確認と相談事例の情報交換を行った。

期 日	参 加 者
令和2年1月28日	弁護士5名 相談関係職員

3 地域のニーズに応えるための協議・確認事項

他機関における各種相談との差別化を図り、法律相談以前の身の上相談を含む幅広い相談に対応している。広報についても担当弁護士と連携を図りながら積極的に取り組み、地域の方に広く利用していただけるよう環境づくりに努めている。尚、令和元年よりニーズの高まりに合わせ、心配ごと相談の開催回数を1回(第1火曜日の午後)増やすこととした。

V. 介護サービス事業

介護サービス事業 53

29. 介護サービス事業

介護サービス事業については、地域福祉活動の視点をもって社協らしい介護サービス事業を展開すべく職員の資質向上に努めた。

区分	施策	活動内容
介護保険事業	指定居宅介護支援事業	介護支援専門員によるケアプランの作成(要介護及び総合事業)
	指定訪問介護事業	訪問介護員が居宅に伺い、身体介護・生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 7:00～24:00
	指定訪問入浴介護事業	看護職員等が居宅に移動入浴車で伺い、浴槽を搬入し入浴介護サービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～21:00
総合事業	訪問型サービス国基準	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～17:00
	訪問型サービスA	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～17:00
受託事業	地域生活支援事業	平成18年10月より新設された障がい福祉サービスの一部 ・移動支援 移動に支援を必要とする方(視覚障がい者等)を対象とした移動支援サービス。屋外での移動が困難な障がい児(者)に対して、学校や通所施設への送迎や外出の訓練等の際に、学校等へ送迎も行います ・訪問入浴サービス 身体障がい者で自力の入浴ができない方への訪問入浴サービス
	訪問入浴サービス事業	身体障がい者の方(65歳未満)・介護保険外の高齢者の方への移動入浴車による入浴介護サービスの提供
	タイムケア事業	障がいのある18歳以下の子どもに放課後の活動場所を提供するとともに、保護者等の一時的休養を確保するための一時預かり事業 ◇すこやか交流プラザ等におけるタイムケア事業 〈実施〉 第1・第3土曜日、第4日曜日 9:30～17:30
	赤ちゃんホームヘルプサービス	基本的には生後12週間以内の赤ちゃんのいる家庭を対象に、日常支援が必要な場合にホームヘルパーを派遣する
	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	生後4か月未満の乳児のいる家庭に訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取・相談、親子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供を行う

区分	施策	活動内容
障害者福祉サービス	居宅介護	ホームヘルプサービスと呼ばれているサービスで、自宅で入浴・排泄・食事などの介護を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で、常に介護が必要な障がい者に、自宅で入浴・排泄・食事の介助を行います。外出時の移動を助け、移動中の介護も行います
	行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な障がい者に、行動するときの危険を回避する援助や外出時の移動の補助を行います
	同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する者に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄・食事等の介護等を行います
	指定特定相談支援 指定障害児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者・児の自立した生活を支え、障がい者・児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います
制度外	ほっとサポート	①制度上(障害者総合支援法、介護保険等)のホームヘルパー派遣において制限をうける人 ②ホームヘルパーの派遣をうけないと日常生活に支障をきたす人を対象とするサービス。地域の中で安心して暮らせるように、日常生活に必要な介護等の支援を行うことを目的とした大野城市社会福祉協議会独自の事業

令和元年度実績

1 介護サービス状況

巻末資料「別表3 令和元年度 介護サービス状況」P 63～70 参照

2 制度外介護サービス状況

巻末資料「別表4 ほっとサポート状況」P71 参照

3 介護サービス研修会

巻末資料「別表5 令和元年度 介護サービス研修会開催状況」P72 参照

4 実習生受け入れ状況

◇令和元年度 訪問介護実習生受け入れ状況

団体名	期間	人数
麻生医療福祉専門学校	8/5・8/27 8/19・8/20	2
合 計		2

◇令和元年度 福岡県介護支援専門員実務者研修

団体名	期間	人数
福岡県	3/24・3/27・4/2	1
合 計		1

VI. 総合福祉センター

総合福祉センター 55

30. 総合福祉センター

総合福祉センター1階の交流スペース「ほっとびあ」、及び「ボランティアセンター」は、毎日多くの市民の方
に利用していただいている。

令和元年度はトイレの改修工事、南側出入口のスロープ改修工事、ほっとびあの間仕切設置をおこない
より利用しやすい環境整備を図った。

今後も、市民に開放された、誰もが利用しやすい福祉センターとして、また本来の目的である福祉活動の
拠点として運営していく。

令和元年度実績

	社 協		①福祉団体等		②行政関係		一般有料		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	44	497	129	1,771	10	230	15	679	198	3,177
5月	33	215	115	1,627	6	37	15	698	169	2,577
6月	46	412	110	1,382	10	205	24	1,423	190	3,422
7月	45	320	134	1,947	9	249	26	1,075	214	3,591
8月	50	620	93	1,092	10	461	19	954	172	3,127
9月	53	686	128	1,556	5	92	19	960	205	3,294
10月	56	678	102	1,183	5	37	12	707	175	2,605
11月	44	547	101	1,213	6	46	15	489	166	2,295
12月	43	459	94	1,247	6	297	11	590	154	2,593
1月	50	1,237	93	1,122	5	34	16	572	164	2,965
2月	52	432	99	1,114	5	34	15	471	171	2,051
3月	54	552	86	744	4	24	9	368	153	1,688
合計	570	6,655	1,284	15,998	81	1,746	196	8,986	2,131	33,385

◇令和元年度総合福祉センター利用状況 ①福祉団体等

	福 祉 団 体 等						合 計	
	ボランティア		福祉関係		その他			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	104	1,289	21	472	4	10	129	1,771
5月	96	1,189	18	436	1	2	115	1,627
6月	100	1,159	9	221	1	2	110	1,382
7月	108	1,408	18	516	8	23	134	1,947
8月	84	961	8	129	1	2	93	1,092
9月	116	1,180	12	376	0	0	128	1,556
10月	97	1,122	4	59	1	2	102	1,183
11月	92	1,008	8	203	1	2	101	1,213
12月	87	1,009	6	236	1	2	94	1,247
1月	85	943	7	177	1	2	93	1,122
2月	91	949	7	163	1	2	99	1,114
3月	76	624	9	118	1	2	86	744
合計	1,136	12,841	127	3,106	21	51	1,284	15,998

◇令和元年度 総合福祉センター利用状況 ②行政関係

	行政関係								合計	
	福祉		教育		総務		その他			
	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数
4月	6	198	3	30	0	0	1	2	10	230
5月	4	17	2	20	0	0	0	0	6	37
6月	7	100	3	105	0	0	0	0	10	205
7月	4	39	2	20	0	0	3	190	9	249
8月	5	202	5	259	0	0	0	0	10	461
9月	2	22	2	20	0	0	1	50	5	92
10月	3	26	2	11	0	0	0	0	5	37
11月	3	16	3	30	0	0	0	0	6	46
12月	4	277	2	20	0	0	0	0	6	297
1月	3	14	2	20	0	0	0	0	5	34
2月	3	14	2	20	0	0	0	0	5	34
3月	2	4	2	20	0	0	0	0	4	24
合計	46	929	30	575	0	0	5	242	81	1,746

VII. 権利擁護事業

日常生活自立支援事業	 57
法人後見事業について	 58
ライフレスキュー事業	 60

31. 日常生活自立支援事業 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者の方で判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活が送れるよう、社協に生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理、書類等(預貯金通帳)の預かり等のサポートを行っている。

本事業の利用に関する相談、また本事業の利用者は、年々増加の一途をたどっており、マンパワーの確保が急務となっている。

本会として、日常生活自立支援事業は、市民参加が難しい権利擁護事業において、唯一市民参加が可能な事業として位置づけし、地域福祉関係者に生活支援員を担っていただき、令和元年度は2名の生活支援員を増員した。

また、令和元年度から福岡県は、これまでの基幹的社協方式から全市町村方式へ移行することとなり、本会では令和元年10月1日より、全市町村方式へ移行した。それに伴い、これまで基幹的社協がおこなってきた初期相談から計画の策定、契約の締結に関する業務、支援開始後の利用者の状況把握などを行う“専門員”が必要となり、職員2名が専門員養成研修へ参加した。

令和元年度実績

◇新規相談件数 :12名 (男性6名 女性6名) [前年比 55%]

類型内訳:認知症7名 精神4名 知的1名

◇利用者数 :26名 (男性17名 女性9名) [前年比 90%]

類型内訳:認知症19名 知的3名 精神4名

◇専門員 2名

◇生活支援員 援助活動実績表 生活支援員14名(内、担当社協職員4名)

	件数	回数	終了	開始
4月	28	48	0	0
5月	29	40	0	1
6月	29	39	0	0
7月	30	45	0	1
8月	31	49	1	1
9月	30	50	2	0
10月	28	41	0	0
11月	29	49	0	1
12月	29	56	1	0
1月	28	46	1	0
2月	27	44	2	0
3月	26	47	0	1
合計	344	554	7	5

(前年比 104%)

◇生活支援員会議

開催日	内 容
4月24日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・ケース記録の記入について
7月24日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援員研修会（初任者編）について ・人権相談従事職員研修（基礎・基本）について ・全市町村方式の移行について
10月31日(木)	・全市町村方式移行への移行報告について ・日常生活自立支援事業の現状について
1月22日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・研修報告 ・成年後見制度への移行について
3月26日(木)	・日常生活自立支援事業の現状について ・研修報告

32. 法人後見事業

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

令和元年度実績

1 成年後見運営委員会の開催

第1回成年後見運営委員会

期 日：令和元年9月4日(水)

場 所：大野城市総合福祉センター2階多目的室

運営委員：弁護士(1)、司法書士(1)、社会福祉士(2) 計4名

内 容：①受任中ケースの報告(2件)

第2回成年後見運営委員会

期 日：令和2年3月2日(月)

場 所：大野城市総合福祉センター2階多目的室

運営委員：弁護士(1)、司法書士(1)、社会福祉士(1)、行政関係者(1) 計4名

内 容：①審議ケース(1件)

②受任中ケースの報告(2件)

2 その他の相談ケース内容と今後の展開

日常生活自立支援事業の利用者の中で、高齢になり体調が不安定な障害者、身体状況・認知症が急に進み在宅生活が厳しい高齢者、医療的管理が必要で入院治療が必要な障害者などの施設入所入院などの契約行為を伴うケースが増えてきており、数年で後見制度利用が必要であると考えられ、本人・親族・知人・関係者等との度重なる調整を行っている。

福岡家庭裁判所後見センターの市民後見人候補者の養成等について、「成年後見制度の利用促進基本計画をふまえ、今後は市民後見人を選任するにふさわしい事件があれば、積極的に活用していきたい。また、市民後見人候補者の養成や維持管理に携わる機関として、社会福祉協議会を考えている。」との考え方が示された。利用促進基本計画については、令和3年までに市役所が策定するようになっているため、市の担当課に今後の方向性について確認しながら、社協としてどのような対応が必要であるか検討をしていく。

③ 死後事務委任事業の開発にむけて

第1回会議 権利擁護事業における事業開発の研究：死後事務について

期 日： 令和元年5月9日(木)15:45～17:00
場 所： 会長室
参加者： 合原局長・井上・小谷・山内・橋川・小川・永田・村上
内 容： 2月28日開催した権利擁護セミナーについて、アンケート結果をもとに報告および今年度の権利擁護セミナーについて協議を行う。

第2回会議 権利擁護事業における事業開発の研究：死後事務について

期 日： 令和2年3月5日(木)11:00～12:15
場 所： 会長室
参加者： 合原局長・井上・橋川・小川・永田・村上
内 容： 令和元年12月1日開催した権利擁護セミナーについて、アンケート結果をもとに報告および来年度の権利擁護セミナーについて協議を行う。

権利擁護セミナー開催：「人生の最終章を自分らしく生きるための備え」Vol.2

期 日： 令和元年12月1日(日)12時30分～14時
会 場： 大野城まどかぴあ 2階 小ホール
参加者： 54名(民生委員・福祉委員・包括支援センター職員・介護保険事業所職員等)
目 的： 個人・家族・地域・社会、それぞれの立場で、その人が自分らしく生きるために、どんな準備や関わりが必要であるかを考えるきっかけになること
講 師： 一般社団法人 家財整理相談窓口 理事 岩橋 ひろし氏
内 容： 孤独死の現状・遺品整理・終活・包括ケアシステムについて

33. ライフレスキュー事業

社会福祉法人の公益事業として県下で進められている生活困窮者等に対する相談・支援事業である「ふくおかライフレスキュー事業：主管福岡県社会福祉協議会等」に参加し、権利擁護事業の拡充を図る。この事業に参画する市内の社会福祉法人及び市の関係部署とも連携を図りながら、緊急を要する人への食材支援、ライフラインの復旧などの経済的援助（現物給付）を行い、個別支援を強化する。

令和元年度実績

市役所の関係部署から若干数の相談を受け、状況を確認したり、ご本人との面談を行ったが、ご本人と会えない状況であったり、転居されたりと支援には結びつかず、ふくおかライフレスキュー事業に加入されている社会福祉法人との情報共有までには至らなかった。

VIII. 寄附採納事業

寄附採納事業 …… 61

34. 寄附採納事業

寄附金は在宅高齢者・障がい者の方への支援事業やボランティアセンター運営事業など社会福祉協議会が行なう民間社会福祉事業に活用されている。

※寄附種別

- 一般寄附 個人、団体の善意による寄附
- 香典返し寄附 故人並びにご遺族のご遺志による寄附
- 指定寄附 指定した事業に充てられる寄附
- 物品寄附 車いす、紙オムツなど物品による寄附

令和元年度実績

◇寄附採納事業実績

寄附種別	件 数	寄附内容
一 般 寄 附	66 件	1,384,623 円
香 典 返 し 寄 附	15 件	840,000 円
指 定 寄 附	2 件	30,000 円
(合 計)	83 件	2,254,623 円
物 品 寄 附	54 件	※福岡県社協では㈱セブン-イレブン・ジャパンと商品寄贈に関する協定を締結し、県内の市町村社協等へ雑貨や食品を配布している。大野城市社協へ受贈された雑貨や食品は、福祉団体等へ繋いだ。 シルバーカー2台、車いす5台、炊飯器1台、紙おむつ・パッド14件、お菓子11件、衣類4件、手芸用品1件、寝具1件、食品・生活雑貨8件 福祉用具(プレストーク1個、視覚障がい者用腕時計1個、視覚障がい者用拡大読書器1個) 文房具1件、緊急用ミニトイレ1件、テント1件 切手・ハガキ等は一般寄附へ まどか号回数券6枚、マスク1件、電動自転車充電器1個、青竹1個、日本語手話辞典1冊、ランドセル1個、コンサートチケット1件、

―税控除の適応について―<社会福祉協議会へのご寄附は特定寄附金です>

個人寄附者

寄附金控除額 = $\frac{1 \text{ 月} \sim 12 \text{ 月まで}}{\text{特定寄附金}} \left\{ \begin{array}{l} \text{総所得の 40\% 相当額} \\ \text{どちらか} \\ \text{少ない額} \end{array} \right\} - 2,000 \text{ 円}$

企業寄附者 全額損金算入限度額 = $\frac{1 \text{ 月} \sim 12 \text{ 月まで}}{\text{(資本金の 0.25\%) + (所得の金額の 5\%)}} \div 2$

★但し、税制改正により変更になることがある。

Ⅸ. そ の 他 の 事 業

ふくしフェスティバル 2019		62
社会福祉援助技術現場実習受け入れ		62
職員の資格（取得）状況		63
職員内部研修		64

35. ふくしフェスティバル2019

第2期大野城市地域福祉活動における
市民活動推進計画

令和元年度は、新たな取り組みとして筑紫女学園大学のフィルハーモニー管弦楽団に、ギャラリーモールステージのオープニングを飾っていただき、また、茶道部の皆さんには抹茶を点ててお点前を体験していただく『茶道体験』コーナーを担当していただくなど、多くの学生にご協力いただいた。まどかぴあ小ホールでは『亡くなった後にみえてくる自分らしさ』と題して権利擁護セミナーを、大ホールでは講演と寸劇を交えた認知症を正しく理解するステージを実施した。そのほか小学生ボランティアに赤い羽根共同募金の啓発・PR活動に参加していただくなど、若い世代の参加・協力をいただいた。こうした新たな企画を10名の実行委員とともに検討し取り組んだ結果、来場者数が8,000人となり過去最高となった。(実行委員会 7回開催)

令和元年度実績

内 容 : 福祉施設団体や音楽サロン発表等のアトラクション、ボランティア体験コーナー、おいしくて簡単にできる介護食、ボランティアグループによるマジックショーやコンサートなど
期 日 : 令和元年12月1日(日)
場 所 : 大野城まどかぴあ・市役所南側駐車場・大野城心のふるさと館
参 加 者 : 約8,000人
主 催 : 大野城市ふくしフェスティバル実行委員会
共 催 : 大野城市・大野城市社会福祉協議会
※来場者アンケートは、巻末アンケート集「⑩ふくしフェスティバル2019 来場者アンケート集計結果」参照

36. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス(訪問介護、訪問入浴)、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

令和元年度実績

◇実習生受け入れ状況

実 習 期 間	大 学 名	人 数
8月7日(水)～9月19日(木)	筑紫女学園大学	1

37. 職員の資格（取得）状況

資格等名	社会福祉士	社会福祉主事	社会保険労務士	ボランティアコーディネーション力	ボランティアコーディネーション力	社協会計実務通信講座			簿記3級以上	介護支援専門員	主任介護支援専門員	看護師	介護福祉士	ホームヘルパー		介護職員初任者研修	ガイドヘルパー	行動援護	強度行動援護	同行援護	障がい者ヘルパー	精神障がい者ヘルパー	難病ヘルパー	喀痰吸引（第3号）
				2級	3級	上級	中級	入門						1級	2級									
事務局	7	10	1	2	6	1	1	2	6	2			2		3	2	2	1				1		
介護サービス	3				1				6	6	2	2	18	1	16		8	5	1	4	6	7	6	2
総数	10	10	1	2	7	1	1	2	12	6	2	2	20	1	19	2	2	6	0	4	6	7	7	2

資格等名	認知症キャラバンメイト	バリデーション	認知症ケア専門士	障害者相談支援従事者	社会福祉士実習指導者	介護福祉士実習指導者	成年後見人養成	福祉住環境コーディネーター	福祉用具相談専門員	介護クラーク事務	医療事務	応急手当普及員	防災士	防火管理者	保育士	幼稚園教諭	調理師	栄養士	食品衛生責任者	図書館司書	第二種衛生管理者	大型一種運転免許	医療的ケア児コーディネーター	車イスレクダンスインストラクター
事務局			1	1	5		1	2				5	3	4	2	2			1		2	1		
介護サービス	4	2		2		1		2		1	1			1	4	3	2	1	2	2			1	
総数	4	2	1	3	5	1	1	4	0	1	1	5	3	5	6	5	2	1	3	2	2	1	1	0

延べ総数 191

38. 職員内部研修

◇令和元年度職員内部研修

①接遇研修

開催日	令和元年7月13日(土)
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員35名
研修内容	講師:金生塾 金生 郁子 先生 ① 接遇とは ② 敬語(ことばづかい) ③ 促進的態度(ファシリテーション) ④ 自己宣言!理想の接遇像をイメージしましょう!

②人権研修

開催日	令和元年12月14日(土)
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員39名
研修内容	「自己覚知」について 令和元年度人権相談従事職員研修受講 介護サービス課 秦 係長 地域課 山内 主査

◆◆◆ ◆◆◆新人職員研修プログラム ◆◆◆ ◆◆◆

研修期間				研修内容	担当課	担当	担当	時間
月	日	曜日	時間					
4	2	火	15：30～	大野城市社会福祉協議会の使命と変遷	事務局長			1
4	1	月	15：30～	ガイダンス／社協概要（社協の全体像・ミッション・組織・役員・職員）について	事務局長	高原		
4	1	月	15：30～	法人の運営／規程・処遇／社保関係手続	総務企画課	高原		1.5
				総合福祉センター（館内案内）・支援ショップ・ほっとぴあ		事務局長		
				接遇（来館者・相談者・利用者・各種団体・団体代表者・理事・評議員）・湯茶接待				
				就業リズム（1日の流れ）				
4	8	月	10：00～	総合相談事業・生活福祉資金	権利擁護課	井上	井上	1
				日常生活自立支援事業・法人後見		井上	井上	1
4	5	金	9：00～	地域福祉活動の推進、地域組織、地域ケア会議	地域課	馬場	金丸	2
4	5	金	13：00～	当事者支援・福祉教育	地域課	馬場		1
4	3	水	15：30～	地域ケアシステムと生活支援体制整備事業	地域課	馬場	永田	1
4	3	水	10：00～	居宅介護支援事業	居宅介護支援課	阿相		1H
4	4	月	9：30～	同行訪問		阿相		4H
4	2	火	10：30～	訪問介護事業・訪問入浴介護事業・4/11(木)15：00介護予防事業（訪問・入浴）ほっとサポート事業 障害福祉サービス・地域生活支援事業 赤ちゃん訪問	居宅介護サービス課	福島		1.5H
4	12	金	13：00～	訪問介護事業説明、訪問同行、タイムケア				4H
4	9	火	13：00～	タイムケア事業		幸		0.5H
4	4	木	9：00～	赤ちゃん・こんにちは赤ちゃん訪問		萩尾		0.5H
4	3	水	9：00～	ボランティアセンター事業・移送サービス事業・ハンディキャブ貸出事業	地域課	馬場	益坂	1
				広報啓発事業（社協だより）・緊急災害援助				
4	5	金	14：00～	社協会員・共同募金運動	募金課	岡部		1
			15：00～	福祉食事サービス事業 4月9日18日19日配食同行				1H・4H
4	2	火	13：00～	福祉機器貸出事業	地域課	馬場	山内	1
				リサイクル事業・福祉バス事業		馬場	生田	
4	6	土	9：00～	介護サービス定例ミーティング 社協の事業計画				2
Q＆A・その他				・Q…どこの課に、何を尋ねたいか？				
※ 資料：組織図・事業報告書・事業計画予算書								

資 料

別表 1	社協会員推進状況	… 66
別表 2	地域ケア会議開催状況	… 67
別表 3	介護サービス状況	… 68
別表 4	ほっとサポート状況	… 71
別表 5	介護サービス研修会開催状況	… 72
別表 6	福祉食事サービス利用状況	… 73
別表 7	職員研修参加等実績	… 74

令和元年度社協会員推進実績

別表1

令和2年3月31日現在

区分	一般会員			賛助会員			特別会員			令和元年度合計			平成30年度実績		前年度比較
	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	口数	金額	
牛頭	813	1,003	501,500	1	1	2,000	0	0	0	814	1,004	503,500	1,007	505,000	△ 1,500
若草	464	551	275,500	1	1	2,000	0	0	0	465	552	277,500	558	286,800	△ 9,300
平野台	1,002	1,002	501,000	0	0	0	0	0	0	1,002	1,002	501,000	994	497,000	4,000
月の浦	1,198	1,267	633,500	0	0	0	0	0	0	1,198	1,267	633,500	1,264	634,600	△ 1,100
南ヶ丘1	1,662	1,876	938,000	0	0	0	0	0	0	1,662	1,876	938,000	1,865	932,500	5,500
南ヶ丘2	1,052	1,052	526,000	0	0	0	0	0	0	1,052	1,052	526,000	1,056	528,000	△ 2,000
つつじヶ丘	903	1,161	580,500	0	0	0	0	0	0	903	1,161	580,500	1,171	585,500	△ 5,000
上大利	68	1,500	750,000	0	0	0	0	0	0	68	1,500	750,000	1,501	752,000	△ 2,000
下大利	322	910	469,400	1	1	2,000	2	2	10,000	325	913	481,400	897	480,900	500
東大利	176	862	453,400	1	1	2,000	1	1	5,000	178	864	460,400	938	497,500	△ 37,100
下大利団地	600	600	300,000	1	1	2,000	0	0	0	601	601	302,000	544	275,000	27,000
白木原	190	452	226,000	3	3	6,000	21	71	355,000	214	526	587,000	469	590,000	△ 3,000
瓦田	366	782	401,676	13	13	26,000	3	3	15,000	382	798	442,676	848	479,676	△ 37,000
釜蓋	34	464	232,000	1	1	2,000	0	0	0	35	465	234,000	553	281,000	△ 47,000
井の口	593	593	296,500	0	0	0	0	0	0	593	593	296,500	596	298,000	△ 1,500
中	70	901	450,500	0	0	0	0	0	0	70	901	450,500	903	453,000	△ 2,500
乙金	88	528	304,715	1	1	2,000	0	0	0	89	529	306,715	516	297,750	8,965
乙金台	505	505	252,500	0	0	0	0	0	0	505	505	252,500	499	249,500	3,000
乙金東	464	465	232,500	1	1	2,000	1	1	5,000	466	467	239,500	424	216,500	23,000
大池	383	383	191,500	0	0	0	0	0	0	383	383	191,500	385	192,500	△ 1,000
上筒井	632	1,382	691,000	1	1	2,000	0	0	0	633	1,383	693,000	1,392	699,000	△ 6,000
下筒井	215	521	260,500	0	0	0	0	0	0	215	521	260,500	559	284,000	△ 23,500
山田	488	508	254,000	0	0	0	0	0	0	488	508	254,000	480	249,500	4,500
雑餉隈町	115	126	63,000	2	2	4,000	3	3	15,000	120	131	82,000	126	82,500	△ 500
栄町	64	67	33,500	2	2	4,000	2	2	10,000	68	71	47,500	80	53,500	△ 6,000
仲島	163	271	135,500	0	0	0	0	0	0	163	271	135,500	261	135,000	500
畑詰	103	189	94,500	0	0	0	0	0	0	103	189	94,500	193	96,500	△ 2,000
ｼﾝﾌﾞﾙﾌﾞ	5	13	6,500	3	3	6,000	16	18	90,000	24	34	102,500	36	106,500	△ 4,000
食改善	1	3	1,500	1	1	2,000	24	43	215,000	26	47	218,500	46	218,000	500
企業・団体	12	21	10,500	9	9	18,000	24	41	205,000	45	71	233,500	77	242,500	△ 9,000
ﾘﾌﾄｰﾘｳﾅｰ	3	4	2,000	22	22	44,000	13	17	85,000	38	43	131,000	22	87,000	44,000
ﾊﾞﾃﾞｻﾞｰ利用者	2	4	2,000	5	5	10,000	0	0	0	7	9	12,000	8	28,000	△ 16,000
福祉機器利用者	4	11	5,500	1	1	2,000	0	0	0	5	12	7,500	6	3,000	4,500
個人	0	0	0	0	0	0	3	3	15,000	3	3	15,000	2	4,000	11,000
合計	12,760	19,977	10,076,691	70	70	140,000	113	205	1,025,000	12,943	20,252	11,241,691	20,276	11,321,726	△ 80,035

令和元年度 地域ケア会議開催状況

別表2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
牛頭	15(月)		10(月)		19(月)		15(火)		16(月)	20(月)		16(月)	時間は9:30～
若草		10(金)		10(水)		3(火)		7(木)		8(水)		6(金)	時間は10:00～
平野台		14(火)			19(月)			26(火)			18(火)		
月の浦			25(火)							28(火)		24(火)	
南ヶ丘1		7(火)		1(月)		2(月)		11(月)			3(月)	2(月)	奇数月月曜日10:00
南ヶ丘2		16(木)		11(木)		5(木)		7(木)		9(木)		12(木)	奇数月第2木曜日14:00
つつじヶ丘		20(月)		18(木)			2(水)		11(水)			19(木)	
上大利			5(水)		7(水)		2(水)		4(水)		5(水)		偶数月第1水曜日13:15
下大利		8(水)		3(水)		4(水)		6(水)		8(水)		4(水)	奇数月第1水曜日10:00～
東大利		15(水)		17(水)		18(水)	16(水)			15(水)			第3水曜日10:00～
下大団地		10(金)		5(金)		6(金)		1(金)		10(金)		6(金)	奇数月第1金曜日9:30
白木原	2(火)		4(火)				8(火)		10(火)		4(火)		偶数月第1火曜日13:30
瓦田	26(金)		27(木)		22(木)		30(水)		20(金)		28(金)		偶数月13:30～
釜蓋				11(木)		12(木)			12(木)				第2木曜日10:00
井の口		8(水)	12(水)	10(水)		11(水)	9(水)	13(水)	11(水)		12(水)		第2水曜日10:00
中		10(金)		5(金)		6(金)		8(金)		10(金)		13(金)	奇数月第1金曜日10:30
乙金			12(水)				3(木)		27(金)		27(木)		
乙金台		8(水)			7(水)			6(水)				4(水)	
乙金東			19(水)		21(水)		16(水)		18(水)		19(水)		偶数月第3水曜日19:30～
大池			17(月)				7(月)				17(月)		6月、10月、2月
上筒井		28(火)		23(火)		24(火)		26(火)		28(火)		24(火)	奇数月第4火曜日13:30
下筒井		23(木)			29(木)			28(木)					
山田			20(木)			19(木)			19(木)				
雑餉隈町	24(水)			31(火)			8(火)			22(水)			基本的に第4水曜、時間は10:00～
栄町	26(金)		21(金)		9(金)		18(金)		13(金)		21(金)		時間はいずれも13:30～
仲島											26(水)		
畑詰				3(水)							14(金)		時間は14:30～
開催回数	5	13	11	13	8	11	12	11	11	10	12	11	【年間開催回数128回】

別表3 令和元年度 介護サービス状況

			R1						合 計 (上半期)	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月		
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		70	70	69	67	66	68	410	
	介護予防ケアプラン作成(人)		4	5	4	5	4	4	26	
	指定訪問介護(人)		14	14	15	14	15	14	86	
	指定介護予防訪問介護(人)		-	-	-	-	-	-	-	
	指定訪問入浴(人)		4	4	4	4	5	5	26	
	指定予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	-	
	件数合計		92	93	92	90	90	91	548	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	55.00	52.50	48.00	41.50	50.50	42.00	289.50	
		生活援助	48.20	43.28	47.70	51.80	58.50	56.53	306.01	
		予防訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	
計		103.20	95.78	95.70	93.30	109.00	98.53	595.51		
入浴スタッフ稼働回数		実施	28	22	22	20	28	29	149	
		キャンセル	-	4	1	8	-	2	15	
総合事業	総合事業ケアプラン作成(人)		1	1	-	1	1	1	5	
	訪問型サービス国基準(人)		3	3	3	4	4	4	21	
	訪問型サービスA(人)		14	14	14	14	14	14	84	
	件数合計		18	18	17	19	19	19	110	
	ヘルパー実働 (時間)	訪問型(国)	23.00	23.75	23.00	27.75	28.00	26.00	151.50	
		訪問型(A)	69.00	67.00	65.75	71.50	66.75	60.50	400.50	
		計	92.00	90.75	88.75	99.25	94.75	86.50	552.00	
指定特定相談支援		計画相談	24	10	6	17	7	10	74	
		モニタリング	12	13	9	13	10	11	68	
居宅介護	対象者 (人)	障害者	20	21	21	21	22	23	128	
		知的障害者	2	4	4	4	4	3	21	
		障害児	-	-	-	-	1	1	2	
		計	22	25	25	25	27	27	151	
	身体介護 (時間)	障害者	191.00	201.00	195.50	192.00	192.00	207.00	1,178.50	
		知的障害者	3.00	22.50	22.00	27.00	20.00	16.50	111.00	
		障害児	-	-	-	-	34.50	49.00	83.50	
		計	194.00	223.50	217.50	219.00	246.50	272.50	1,373.00	
	家事援助 (時間)	障害者	34.00	28.50	28.00	29.50	27.50	30.50	178.00	
		知的障害者	17.00	21.00	22.50	22.00	19.00	14.00	115.50	
		障害児	-	-	-	-	-	-	-	
		計	51.00	49.50	50.50	51.50	46.50	44.50	293.50	
	合 計		245.00	273.00	268.00	270.50	293.00	317.00	1,666.50	
	重度訪問 介護	対象者(人)	身体障害者	3	3	3	3	3	3	18
		時間	身体障害者	40.50	39.00	40.50	42.50	51.50	45.00	259.00
障害福祉サービス 行動援護	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		知的障害者	1	1	1	1	1	1	6	
		障害児	-	-	-	-	-	-	-	
		計	1	1	1	1	1	1	6	
	時間	障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		知的障害者	11.00	11.00	10.00	9.00	9.00	10.00	60.00	
		障害児	-	-	-	-	-	-	-	
		計	11.00	11.00	10.00	9.00	9.00	10.00	60.00	
同行援護	対象者(人)	視覚障害者	1	2	1	2	1	2	9	
	時間	視覚障害者	11.00	14.50	9.50	16.00	9.50	13.00	73.50	
地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	2	1	1	2	2	1	9	
		知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		障害児	6	7	7	7	1	8	36	
		計	8	8	8	9	3	9	45	
	移動身体 あり(時間)	障害者	12.50	8.00	9.00	14.50	13.50	7.50	65.00	
		知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		障害児	16.50	23.50	24.00	21.50	1.00	31.50	118.00	
		計	29.00	31.50	33.00	36.00	14.50	39.00	183.00	
	移動身体 なし(時間)	障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	
		障害児	6.50	10.00	7.50	8.50	-	13.00	45.50	
		計	6.50	10.00	7.50	8.50	-	13.00	45.50	
	合 計		35.50	41.50	40.50	44.50	14.50	52.00	228.50	
入浴事業対象者(人)		3	3	3	3	3	3	18		
障害者(回)		15	19	14	15	23	17	103		
計		11	11	11	12	6	12	63		
障害福祉対象者計		38	42	41	43	38	45	247		
サービス利用者 計		148	153	150	152	147	155	905		
ヘルパー総稼働時間数		538.20	565.53	552.95	575.05	581.25	622.03	3,435.01		
入浴事業稼働回数		43	41	36	35	51	46	252		

			R1			R2			合 計	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	(年度)	
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		66	69	68	68	67	65	813	
	介護予防ケアプラン作成(人)		5	5	5	4	4	4	53	
	指定訪問介護(人)		16	17	16	16	17	17	185	
	指定介護予防訪問介護(人)		-	-	-	-	-	-	0	
	指定訪問入浴(人)		5	5	5	4	5	5	55	
	指定予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	0	
	件数合計		92	96	94	92	93	91	1106	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	49.50	65.50	68.50	70.23	64.00	65.82	673.05	
		生活援助	59.96	63.23	43.33	37.88	35.68	36.66	582.75	
		予防訪問介護	-	-	-	-	-	-	0	
		計	109.46	128.73	111.83	108.11	99.68	102.48	1255.80	
入浴スタッフ稼働回数	実施	31	25	25	20	23	26	299		
	キャンセル	-	4	3	-	1	2	25		
総合事業	総合事業ケアプラン作成(人)		1	1	1	1	1	1	11	
	訪問型サービス国基準(人)		5	5	8	8	7	10	64	
	訪問型サービスA(人)		13	13	14	12	10	4	150	
	件数合計		19	19	23	21	18	15	225	
	ヘルパー実働 (時間)	訪問型(国)	36.75	39.00	46.25	44.75	50.08	53.00	421.33	
		訪問型(A)	65.75	61.50	69.00	55.00	43.00	20.00	714.75	
計		102.50	100.50	115.25	99.75	93.08	73.00	1136.08		
障害福祉サービス	指定特定相談支援		計画相談	9	4	4	2	1	0	94
			モニタリング	7	1	5	13	1	0	95
	居宅介護	対象者 (人)	障害者	22	23	22	23	23	22	263
			知的障害者	3	3	4	4	4	4	43
			障害児	1	1	-	-	-	-	4
			計	26	27	26	27	27	26	310
		身体介護 (時間)	障害者	254.50	253.50	220.50	222.50	217.50	245.50	2592.50
			知的障害者	17.50	17.50	47.50	44.00	44.50	45.00	327.00
			障害児	4.50	2.50	-	-	-	-	90.50
			計	276.50	273.50	268.00	266.50	262.00	290.50	3010.00
		家事援助 (時間)	障害者	27.00	25.00	23.00	27.50	33.00	28.50	342.00
			知的障害者	17.00	20.00	22.00	22.00	32.00	29.00	257.50
			障害児	-	-	-	-	-	-	0
			計	44.00	45.00	45.00	49.50	65.00	57.50	599.50
	合 計		320.50	318.50	313.00	316.00	327.00	348.00	3609.50	
	重度訪問介護	対象者(人)	身体障害者	3	3	3	2	2	1	32
		時 間	身体障害者	60.50	46.50	57.00	49.50	24.00	21.00	517.50
	行動支援	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-	0
			知的障害者	-	1	-	1	1	-	9
			障害児	-	-	-	-	-	-	0
			計	-	1	-	1	1	-	9
		時 間	障害者	-	-	-	-	-	-	0
			知的障害者	-	9.00	-	7.00	10.00	-	86.00
障害児			-	-	-	-	-	-	0	
計			-	9.00	-	7.00	10.00	-	86.00	
同行支援	対象者(人)	視覚障害者	1	2	1	2	1	2	18	
	時 間	視覚障害者	11.00	14.00	9.50	13.00	9.50	17.00	147.50	
地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	1	1	1	1	1	1	15	
		知的障害者	2	1	1	1	2	1	8	
		障害児	8	8	8	8	8	1	77	
		計	11	10	10	10	11	3	100	
	移動身体あり (時間)	障害者	9.00	12.00	13.00	8.50	13.50	9.00	130.00	
		知的障害者	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	24.00	
		障害児	33.00	30.50	20.50	29.00	29.00	-	260.00	
		計	46.00	46.50	37.50	41.50	46.50	13.00	414.00	
	移動身体なし (時間)	障害者	-	-	-	-	-	-	0	
		知的障害者	4.00	-	-	-	4.00	-	8.00	
		障害児	16.00	20.00	14.00	15.00	15.50	2.50	128.50	
		計	20.00	20.00	14.00	15.00	19.50	2.50	136.50	
	合 計		66.00	66.50	51.50	56.50	66.00	15.50	550.50	
	入浴事業対象者(人)		3	3	3	3	3	2	35	
障害者(回)		21	18	21	20	13	12	208		
計		14	13	13	13	14	5	135		
障害福祉対象者計		44	46	43	45	45	34	504		
サービス利用者 計		155	161	160	158	156	140	1,835		
ヘルパー総稼働時間数		609.46	637.23	658.08	642.86	619.26	576.98	7302.88		
入浴事業稼働回数		52	43	46	40	36	38	507		

別表3 令和元年度 介護サービス状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
受 託	対象者(延べ人数)	8	10	12	11	8	7	14	13	10	7	9	10	119
	時間	90.00	96.00	120.00	112.00	88.00	72.00	138.00	128.00	106.00	74.00	88.00	104.00	1,216.00
	対象者(延べ人数)	40	37	56	49	29	33	29	23	15	13	14	21	359
	時間	43.0	37.0	62.0	49.0	32.0	40.0	36.0	32.0	28.0	14.0	23.0	41.0	437.0
	回数	40	37	56	49	29	33	29	23	15	13	14	21	359
	対象者数	0	2	2	1	0	2	2	3	1	5	1	1	20
	訪問終了者	0	2	2	1	0	2	2	3	1	5	1	1	20
	サービス利用者 計	48	49	70	61	37	42	45	39	26	25	24	32	498

別表4

ほっとサポート状況(平成31年4月～令和2年3月)

のべ利用者 296 名

実利用者数 8 名

単価(1時間:3,500円)
 ※低所得者の方は1時間:2,000円
 ※生活保護世帯の方は1時間:1,700円

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
介護保険制度外支援他	30分	850	2	1 H	1,700
〃	30分	1,750	228	114 H	399,000
〃	30分 (時間外)	2,000	2	1 H	4,000
〃	1時間	1,700	3	3 H	5,100
〃	1時間	2,000	10	10 H	20,000
〃	1時間	3,500	27	27 H	94,500
〃	1時間30分	5,250	4	6 H	21,000
〃	1時間30分 (時間外)	3,000	6	9 H	18,000
〃	1時間30分 (時間外)	6,000	4	6 H	24,000
〃	1時間 (時間外)	4,000	4	4 H	16,000
〃	2時間	7,000	4	8 H	28,000
〃	2時間 (時間外)	8,000	2	4 H	16,000
合 計			296	193 H	647,300

令和元年度介護サービス研修会開催状況

別表 5	訪問介護	訪問入浴	居宅介護	新人職員
4月6日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○2019年度の方針及び事業内容について(担当 阿相)	○	○	○	○
5月11日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○発達障害児・者の正しい理解について(担当 幸・松田)	○	○		
5月21日13:30～15:30大野城市役所311.312会議室(居宅連絡会)事例検討会			○	
6月8日(土)9:00～11:00 社協3F大会議室 ○感染症防止についてについて(担当 幸・貝原)	○	○		
6月12日13:30～16:00春日市ふれあい文化センター(2019年度第1回筑紫地区介護支援専門員連絡協議会)根拠あるケアプラン作成について			○	
7月13日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○接遇について(担当 総務企画課・鬼塚)	○	○	○	○
7月16日13:30～15:00大野城市役所311.312会議室(居宅連絡会)ケアマネ業務・予防プランの作成について			○	
8月10日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○緊急時の対応について～利用者の容態急変から災害時まで(担当 福島)	○	○		
8月27日13:30～15:00大野城市役所311.312会議室(居宅連絡会)社会資源について			○	
9月14日(土) 9:00～11:00 社協2F多目的室 ○身体介護技術について(担当 秦) 講師:福岡徳洲会病院リハビリテーション室長 札本 篤氏	○	○		
9月17日13:30～15:00大野城市役所311.312会議室(居宅連絡会)ソーシャルワーカーとの連携について				○
10月12日(土)9:00～11:00 社協2F多目的室 ○口腔ケアの重要性について(担当 松田) 花田歯科クリニック 花田真也氏	○	○		
10月11日14:00～16:00春日市ふれあい文化センター(2019年第2回筑紫地区介護支援専門員連絡協議会)認知症カフェ・各事業所インフォーマルサービスについて			○	
12月4日(水)9:00～15:00 久留米リハビリテーション病院 ○施設見学(担当 幸)	○	○		
11月19日13:30～15:00大野城市役所311.312会議室(居宅連絡会)成年後見制度についての事例発表会			○	
12月14日(土) 9:00～11:00 社協2F多目的室(事務局合同) ○高齢者・障がい者の人権研修・利用者のプライバシー保護・倫理観及び法令遵守(担当 総務企画課・中山)	○	○	○	○
12月17日13:30～15:00大野城市役所311.312(居宅連絡会)ケアプランチェックについて			○	
1月11日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○認知症の正しい理解について(担当 松田・貝原)	○	○		
1月21日13:30～15:00大野城市役所311.312(居宅連絡会)民生委員との連携について			○	
2月8日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○虐待防止について(担当 秦・今坂)	○	○		
2月18日13:30～15:00大野城市役所311.312(居宅連絡会)年間計画検討会※主任ケアマネのみ			○	
3月14日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○制度改正について(担当 福島)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
3月17日13:30～15:00大野城市役所311.312(居宅連絡会)サービス事業所(通所)との連携について				

訪問介護・訪問入浴職員全員参加(新任職員も含む)、毎回ヒヤリハット報告・事務連絡あり。
居宅介護については、毎週の定例会議の他月1回の事例検討会開催。大野城市居宅介護支援事業者連絡会もしくは筑紫地区介護支援専門員連絡協議会の研修に交替で参加。

令和元年度福祉食事サービス利用状況

別表6

月	利用者数	利 用 食 数			1日平均利用者			当 月 利 用 者 世 帯 状 況							未 利 用 者 内 訳					新規
		昼食	夕食	計	昼食	夕食	1日	単身	夫婦	身障者	知障者	精障者	その他	廃止	入院	施設	死亡	その他		
4月	高齢者	74	572	1,402	1,974	19	47	66	62	10	1	0	3	2	6	1	2	1	0	1
	障がい者	4	72	45	117	2	2	4												
5月	高齢者	74	622	1,423	2,045	21	47	68	63	9	1	0	3	2	2	3	3	0	1	1
	障がい者	4	77	48	125	3	2	4												
6月	高齢者	72	516	1,327	1,843	17	44	61	61	9	1	0	3	2	3	3	2	0	1	1
	障がい者	4	76	45	121	3	2	4												
7月	高齢者	72	570	1,294	1,864	19	43	62	63	7	1	0	3	2	8	8	0	0	1	2
	障がい者	4	83	40	123	3	1	4												
8月	高齢者	70	600	1,249	1,849	20	42	62	62	6	1	0	3	2	3	4	3	1	1	7
	障がい者	4	78	20	98	3	1	3												
9月	高齢者	73	582	1,292	1,874	19	43	62	66	5	1	0	3	2	4	2	0	0	1	4
	障がい者	4	77	19	96	3	1	3												
10月	高齢者	73	643	1,374	2,017	21	46	67	67	5	1	0	2	1	3	2	0	1	0	3
	障がい者	3	74	20	94	2	1	3												
11月	高齢者	73	648	1,270	1,918	22	42	64	67	7	1	0	2	1	2	2	0	0	2	2
	障がい者	5	95	70	165	3	2	6												
12月	高齢者	75	658	1,205	1,863	22	40	62	67	7	2	0	3	1	2	2	2	0	2	2
	障がい者	5	120	80	200	4	3	7												
1月	高齢者	68	630	1,166	1,796	21	39	60	62	5	2	0	3	1	5	2	1	0	2	5
	障がい者	5	103	80	183	3	3	6												
2月	高齢者	70	604	1,089	1,693	20	36	56	64	5	2	0	3	1	6	4	2	1	0	0
	障がい者	5	69	77	146	2	3	5												
3月	高齢者	69	648	1,282	1,930	22	43	64	63	5	2	0	3	1	1	2	0	0	0	5
	障がい者	5	73	81	154	2	3	5												
合計		915	8,290	15,998	24,238										45	35	15	4	11	33

別表 7 職員研修等参加実績

◇ 外部研修

研修会場	日程	会 場	参加職員
平成 31 年度市町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長会議	4/24	クローバープラザ	会長・事務局長
令和元年度地区介護保険事業者連絡会総会	5/24	南福岡グリーンホテル	事務局長
福岡県生活支援コーディネーター初任者研修	6/5	福岡県中小企業振興センター	井
避難所運営「HUG ゲーム」講座	6/6	まどかびあ	益坂
令和元年度福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会	6/25	クローバープラザ	井上
令和元年度市町村社会福祉協議会管理職員研修会	7/5	クローバープラザ	会長、高原、金丸、小川
令和元年度ひきこもり支援関係者研修	7/11	福岡県精神保健福祉センター	小川
令和元年度安全運転管理者等講習会	8/5	クローバープラザ	事務局長、井上
令和元年度市町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長会議	9/9	福岡ファッションビル	会長、事務局長
令和元年度「報・連・相」強化研修	9/12	クローバープラザ	馬場
令和元年度第 1 回大野城市多職種・多機関連携研修会	9/13	筑紫医師会館	福島
令和元年度災害対策セミナー	9/24	九州ビル	山内、益坂
令和元年度地域保健関係職員等研修	10/9	筑紫総合庁舎	高山
九州厚生局地域共生社会の実現に向けた自治体等の研修について	11/1	福岡第二合同庁舎	山内
第 13 回やさしい福祉のまちづくり～未来へ繋ぐ～	10/22	筑紫野市生涯学習センター	事務局長
地域共生の「見える化」についてのシンポジウム	11/16	筑紫女学園大学	高原
高齢者・障害者総合支援センターあいう研修「避難行動要援者に対する支援」	11/20	福岡県弁護士会館	永田
令和元年度ひきこもり支援者等ネットワーク会議	12/12	福岡県精神保健福祉センター	金丸
令和元年度広報担当者研修	12/5	クローバープラザ	益坂
ボランティアセンター視察研修	1/7	糸島市社会福祉協議会、西南学院大学	金丸・益坂
令和元年度地域担当職員研修	1/9	クローバープラザ	山内・金丸
令和元年度福祉サービス苦情解決従事者研修会	1/16 1/17	クローバープラザ	岡部、小川、横川 山内、今坂
令和元年度災害時における他機関連携のためのセミナー	1/27	クローバープラザ	山内、益坂
令和元年度社会福祉法人監事及び会計責任者研修	1/28	クローバープラザ	高原
アルコール依存症講演会	1/29	筑紫保健福祉環境事務所	村上
令和元年度市町村地域計画に関する研修及び福岡県再犯防止推進市町村連絡会議	2/5	福岡県吉塚合同庁舎	山内、益坂
令和元年度筑紫地区企業・事業所同和問題研修会	2/7	大野城まどかびあ	横川
チラシ×SNS で顧客開拓セミナー	2/13	西鉄イン福岡	益坂
令和元年度精神保健福祉講座	2/20	福岡県筑紫合同庁舎	村上
ふくおか地域貢献活動サポート事業説明会	3/4	福岡県吉塚合同庁舎	井

毎月第 2 土曜日 介護サービス定例研修

アンケート集

①	重度障がい者リフレッシュ事業	・・・ 75
②	ふれあいの旅 2019 仲間（参加者）	・・・ 77
	ふれあいの旅 2019 ボランティア	・・・ 79
③	Link 子育て支援つながろう会	・・・ 82
④	2019年度福祉教育基礎研修会	・・・ 84
⑤	移送サービス（リフトカー）	・・・ 91
⑥	移送サービス（ハンディキャブ）	・・・ 96
⑦	福祉バス	・・・101
⑧	生活支援コーディネータースキルアップ研修	・・・105
⑨	大野城市暮らしのもやい帳	・・・107
⑩	相談事業(心配ごと相談)	・・・111
⑪	ふくしフェスティバル2019	・・・115

① 重度障がい者リフレッシュ事業アンケート集計結果

参加者 9名

回答数 9件 [回答率100%]

問1 今回の日帰りの旅はいかがでしたか？

よかった	まあまあ	よくなかった
9	0	0

理由

- ・日中天気も良くておいしい物が食べられた事
- ・バーベキューがよかった
- ・海の見える丘で、おしゃべり・食事は最高でした
- ・最近食べたかった焼き肉を食べて、思いがけずきれいな海も見れた。
- ・お天気にも恵まれ、糸島の美しい海の景色、そしてバーベキューもおいしかった。

問2 開催時期はいかがでしたか？

よかった	よくなかった	わからない
8	0	1

ご希望の時期はいつ頃ですか？

- ・9月頃 暑くもなく、寒くもないような時期
- ・9月下旬～10月初旬頃 まだ少し暑かった
- ・9月～10月中旬頃 寒いとき・暑い時をできたら避けていただきたい。
- ・欲を言えば10月中旬頃
- ・真夏を外してあったのでよかった
- ・まだ残暑の強い日でしたが、もう秋の気配もあり良い時期でした。

問3 行き先はいかがでしたか？

よかった	よくなかった	わからない
9	0	0

ご希望の行き先や内容などはございますか？

- ・いつも見られない海が見えた事 次も又 海の方がいいかも
- ・おいしいものを食べられたり、買い物ができればいいです
- ・時期に相應しいと思った
- ・何年ぶりのバーベキューが良かった
- ・買い物ができる場所を希望

感想やご意見

- ・ 社協のお二人がお世話をしてくれて楽しい一日でした
- ・ 天候もよく、海のそばでのバーベキューは良かったです
お肉もおいしかったです 来年も楽しみにしています
- ・ ついつい食べすぎました。静かなきれいな海をたくさん見れてとても嬉しかったです。
- ・ 食事中は少し具合を悪くし大変迷惑かけ申し訳ございませんでした
色々と氣遣っていただいてありがとうございました
- ・ 日頃見ない景色がいっぱい見られて楽しかった。福岡県はどこまでも続くので
改めて広いなと思いました。
- ・ 社協のお二人のお世話が行き届き感心感謝しています。集合時間を
間違えてご迷惑をおかけしました。運転手の方にも感謝しています。ありがとうございました。
- ・ 外でバーベキューとか個人ではできないので皆でワイワイ楽しめたのはとても
良かったと思います。この事業、とてもありがたいと思っています。
- ・ 社協の職員やボランティアの方々、そして運転手さんには大変お世話に
なりました。バーベキューとても美味しかったです、ありがとうございました。
皆さん、お疲れさまでした。

② ふれあいの旅2019仲間(参加者)のアンケート集計結果

参加者 43名 (兄弟姉妹での参加は1とする)

回答数 20件 [回答率46.5%]

問1 今回のふれあいの旅(長崎件・佐賀県)はいかがでしたか?

よかった	まあまあ	よくなかった
19	1	0

感想・ご意見

- ・有田ポーセリングパークでの絵付けが楽しかった。
- ・列車の旅を企画してほしい。
- ・水族館、温泉、絵付け、レクリエーションがよかった。
- ・イルカショーが楽しかった。
- ・お風呂が気持ちよかった。
- ・料理がおいしかった。

問2 開催時期はいつ頃がよろしいですか?(複数回答)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
0	0	0	0	0	0	1
8月	9月	10月	11月	12月	無回答	
1	1	19	0	0	1	

問3 行ってみたいところをお書きください。

- ・熊本、天草、阿蘇ファームランド
- ・ハウステンボス
- ・宮崎
- ・大分県別府市(ハーモニーランド・宇佐神宮・中津)
- ・だざいふえん
- ・サファリパーク
- ・遊園地
- ・山口県
- ・鹿児島県
- ・動物がいるところ
- ・武雄温泉
- ・USJ
- ・ディズニーランド

問 4 やってみたいこと、体験したいことをお書きください。

- ・ 蒸したまご
- ・ ジェットコースターなどの乗り物に乗りたい。
- ・ 楽しいこと
- ・ カラオケ
- ・ 列車にのりたい
- ・ 山登り
- ・ 絵付けのような創作活動
- ・ 紙製品を作ること
- ・ パン作り
- ・ バンジージャンプ

その他、ご意見等ございましたらお書きください。

- ・ 10時出発くらいを希望。（初日は朝からの方がいい）
- ・ 笑顔で帰ってきたことが安心した。ボランティアさんの意識の高さを感じた。
- ・ 事前説明会、報告会を日曜日に開催してほしい。（土曜日は行けないので）
- ・ 残り半日の旅行内容がちょっと寂しい気がする。
- ・ 遊園地で一日遊びたい。

②ふれあいの旅2019ボランティアのアンケート集計結果

参加者 47名

回答数 41件 [回答率87.2%]

問1 今回のふれあいの旅（長崎県・佐賀県）はいかがでしたか？

よかった	まあまあ	よくなかった	無回答
35	5	0	1

理由

- ・ふれあいの旅という企画はとても良かった。
- ・バスレクがとても良い内容だった。
- ・メッセージカードを書く時間がほしい
- ・ボランティアさんにトイレの時間、進め方を教えてほしい。
- ・行程がゆっくりでよかった
(仲間たちが急がずボランティアも気配りができた)
- ・普段できない体験ができた
- ・交流を深め楽しみうことができた
- ・仲間の特性をもう少し知りたかった。
- ・散歩できるところも多かった。
- ・みんなが楽しそうにしているのが伝わってきたから

問2 開催時期はいつ頃がよろしいですか？（複数回答）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
0	0	1	2	2	2	2
8月	9月	10月	11月	12月	無回答	
3	7	35	11	0	2	

問3 今後ふれあいの旅でどのようなプログラムを取り入れてほしいですか？

- ・体験すること（非日常的な体験・乳搾り・作品作り）
- ・参加者とボランティアが協働でつくるもの作り
- ・軽スポーツ
- ・仲間とパートナーがもっと一緒に楽しめることをやりたい
- ・アトラクション以外のもの
- ・昼からのスタート、助かる
- ・仲間との共同作業（制作）や一緒に参加する競技、出し物等
- ・キャンプファイヤー
- ・ユニバーサルスタジオジャパン
- ・スポーツ観戦旅行
- ・果物狩り、芋ほり、農業体験等

- ・広島（宮島）がいい
- ・カラオケ大会
- ・広い公園で遊ぶ（春日公園、筑紫野総合運動公園）

問4 今回のふれあいの旅において気づいたことや改善点がありましたらお書きください。

- ・ボランティアさんたちの中で温度差を感じた。
- ・ボランティアさんの言葉に心が折れそうでした。
- ・ボランティアさんの「疲れているでしょうから俺がやりますよ」
この言葉は折れた心を救ってくれた。
- ・行程が詰まっていなかったのも、余裕があってよかったと思う。
- ・出発時間はもう少し早い方がいい。（昼ごはんの関係で）
- ・個人情報（チェックシート）の管理
- ・バス座席図と実際のシートが違う（班が分裂するのはNG）
- ・資料準備は要改善（枚数確認・配付のタイミング）
- ・室内でお互い話ができる時間がほしい。
- ・夜ご飯の連絡ミスが残念だった。
- ・たまに介助方法が間違っていることがあったので、
車いす担当の人は特に気をつけてほしい。
- ・タイムスケジュール、集合がゆっくりでよかった。
- ・集合時間に余裕があると嬉しい
- ・福祉スタッフ、医療スタッフの動きがスムーズだった。
- ・何名かフリーで動ける人がいるといい（状況に応じて応援を呼んだ）
- ・水族館の時間が足りなかった
- ・火を使う料理が出て、待てずに触ってしまったので、危ないと思った。
- ・部屋割りの配置を考えた方がよい
- ・場違いのボランティアの方は参加してほしくない。
- ・寄れるトイレには行きたい。間隔が長かったかも。
- ・利用者とボランティアのマッチングがうまくいくセッティングを望む。
- ・手や足が出る方には、一人男性スタッフをつけてほしい。
- ・初参加の方が多く、より個別の研修も必要。
（仲間ごとへの対応法など分かるといいかと思う）
- ・車いすの部屋は、ベッドのある部屋の方が介助しやすいと思う。
- ・宿泊地のエレベーターがもう少し広い方がいいと感じた。
- ・音楽CDをたくさん流してほしいとの意見があった。（音量が低く聞こえなかった）
- ・バスレクの中で、今回はクイズが長すぎた。
- ・食事補助の仕方のノウハウを事前に教えてほしかった。
- ・水族館から船に乗るまでもう少し時間がほしい。

その他、ご意見等ございましたらお書きください。

- ・出発のテーブルは、事前研修と一緒にしてほしい。
- ・バスの補助席の位置の確認をしてください。
- ・もっと若い人が参加していただけたらいいなと思う。
- ・人員不足
- ・細やかに計画されており、とてもスムーズな旅行行程だった。
- ・一か所をゆっくり見たい（保護者の方の意見）
- ・初日の昼ご飯はみんなで食べた方がよい（軽食でもいいので）
- ・班ミーティングは消灯時間前に終わってほしい
- ・多くの仲間達に参加できるようになればいいと思う。（断ったと聞いたので）
- ・男性ボランティアを増やすために、何かしらのアクションを起こさないとと思った。
 - ・イルカショーなどで参加者が少し暴れる場面があったが、一般の方が多いところでは危険も多い。
 - 何かあった際にすぐに対応できる距離にスタッフが待機してもらうか、その場を離れるかなど早めの判断をしてもらえると助かると思う。
（ボランティアさんだけでは判断が難しそうだった。）

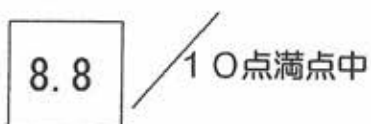
・ボランティアに関して事前研修が必要
命を預かる、安全を確保するという点で、どうすればいいのか、また本人の自主性に任せているのかはわからないけれど、他者に対して攻撃しても客観的にみている方もいるので、やられている方は、自分の仲間を守るのに必死になり大変だった。

アンケート集計

■参加者数 16名
回答数 15名 [回答率：93.7%]

■今回の満足度（平均点）

満足度合い



点数のイメージです

参考になった	まあまあ	参考にならなかった
・満足		・不満足
10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0

＜具体的な理由＞

- ・皆さんからの情報がとても役に立ちました。良かったです。それに対しての意見と対策をしっかり話したいです！次の機会をよろしくお願いします。
- ・長年活動をされている先輩方のお知恵・ご苦労を聞けてとても参考になりました。
- ・どんなPRをすればよいのかヒントになることがたくさんあった。実際にすぐできる内容が聞けたので良かったです。
- ・初めての参加でした。地区の活動しか知らなかったなので、色々な話が聞けて良かった。
- ・子育てのイベントがこんなにあることを知った。告知しない事→もったいないです。いろんな活動に参加したいと思いました。
- ・他の団体や活動している方と顔合わせできたので参考にしていきたい。ざっくばらんに話ができた。
- ・はじめの一步としては満点です。
- ・各サロンでの取り組みがすごく参考になりました。
- ・今していることに対して納得の再確認でした。ありがとうございました。
- ・子育て支援ということで、そこに関わる人たちのお話が聞けたのは良かったです。しかし、そこそこの事情はかなり違って、子育て支援につながるのだろうかちょっと思った。
- ・今の現状を話して交流できた点。7/21の親子サロンや他団体の活動を知ることができた点。
- ・座って何か聞くだけだと思っていました。思っていた内容と違い、楽しかったです。

■今後もこのような会があれば参加しますか？

参加したい・・・14

不明・・・1

参加したくない・・・0

■その他ご自由にお書きください

- 今日、得た情報についてそれぞれに対しての意見や対策を話し合う場と機会をまた作ってほしい。
- PR チラシを作るのが大変なので社協さんが作ってくれたらうれしいです。
(有料でもいいので)
- 子連れヨガ、地区の方でも試してみたいです。
- もっとたくさんアピールしていくと良いと思いました。
- 気軽に皆さんの悩みを聞きながら少しでも子育て環境がより良い方向になるようにいろいろ協力していきたいと思います。
- 子育てに正解とか王道とかなないように支援も様々だと思います。
- テーマなどを絞って話をされたのは良かったなと思いました。今後何について話し合いたいかなど、団体にアンケートをするのもよいかと思います。
- 高齢者の見守りもしているので、あまり参加できないが皆さんの目が必要かな。
- 大野城市って平和だなと思います。

<Link～子育て支援つながろう会で投げかけられた意見>

- 県に登録している、特技を持った（例：読み聞かせ）ボランティアさんの情報を必要時に社協にお尋ねしたい。
- Link で知り合いになれたボランティア間にて各活動の助け合いができないだろうか。
- サロンを開くときに、ボランティアが高齢化していて身体的な力が要る活動がきつくなっている。マットを敷く、などの一部分だけでも手伝ってもらえないだろうか。
- 区内住民のみを対象としている公民館サロンがあることが市役所によって確認されていて、子育て冊子に表示されている。

④ 2019 年度 福祉教育基礎研修会アンケート集計

開催日と場所	8月2日(金) 総合福祉センター3階大会議室				
テーマ	『福祉教育のこれまでと、未来につなぐ福祉教育の取り組み ～地域・学校・家庭が連携した福祉教育の実践～』				
講師	大阪教育大学 教育協働学科 教授 新崎 国広 氏				
回答者数	84名 (参加者:89名) [回答率:94.3%]				
	教職員	民生委員児童委員	主任児童委員	福祉委員	その他
	40名	10名	6名	19名	9名

問1) 本日の研修会はいかがでしたか

教職員

①参考になった…40 ②どちらともいえない…0 ③あまり参考にならなかった…0

- ・新崎先生のお話はわかりやすく、感銘を受けました。素晴らしかったです。
- ・たくさんの資料をもとに、詳しく話してくださったので、大変有意義な研修をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・新崎先生の①②講演どちらとも腑に落ちました。とても勉強になったから。
- ・実際にやってみたり、実践方法を知ることができたので参考になった。
- ・「あ〜!」と納得するところや、「なるほど!」という発見。気づきがあり、とてもよい研修会でした。
- ・「福祉」は特別な人が受けるもの、というイメージが変わりました。
- ・2学期から即実践できる内容でとても勉強になった。
- ・福祉=笑顔ということばがとてもよかった。
- ・普段、「福祉」について考える機会がないが、研修会に参加したことで「福祉」に対する視点が広がったように思えたから。
- ・とても勉強になって、参加してよかったです。
- ・「福祉」という言葉について、色々な方向から考えることができました。
- ・新崎先生の話がうまい。ふくしは、ふだんの暮らしの幸せ。1人で考えるより、2人、3人で話すと笑顔ができる。納得しました。
- ・福祉教育は家庭だけでもだめだし、学校の中だけでも成り立たない事、市や専門機関、地域、そして学校全てで行うのだと分かりました。
- ・考え方が広がった。
- ・学びが多い研修会でした。

民生委員児童委員

①参考になった…10 ②どちらともいえない…0 ③あまり参考にならなかった…0

- ・学校運営協議会に参加するようになり3年目になりました。私に出来る地域での見守り等に関わらせていただきたいとさらに思いました。
- ・今の社会における福祉についての考え方をしっかりとすることができました。
- ・元気を一杯頂けました。
- ・講演と体験の両方あったのでよかった。体験があったことで初めて会った方との交流もできた。

主任児童委員

①参考になった…6 ②どちらともいえない…0 ③あまり参考にならなかった…0

- ・わかりやすいしゃべり方で楽しかった。(2件)
- ・新崎先生の講演は3回目です。

福祉委員

①参考になった…18 ②どちらともいえない…1 ③あまり参考にならなかった…0

- ・新崎先生のユーモアを交えたお話、自分も少しでもそうしたユーモアが言えるようになりたいと思いました。
- ・初めての参加でしたが、お友達に誘われてとても良かったです。
- ・地域でつながって活動する事でよりよい地域づくりが出来る。
- ・時々、この様な機会が有ると良い(日常、つい忘れて行動している事がある)
- ・最後まで楽しく学習できました。
- ・まず、相手を認め、違って良い、人は一律でないから楽しいと思います。偏見に気付いたらあやまれればいいなど、とても良かったです。
- ・アイマスク体験は良い経験でした。
- ・車いす体験は2回目ですが、乗る人と押す人のコミュニケーションが必要だと思います。これが本当に病気の人だったらもっと大変でしょうね。

その他

①参考になった…9 ②どちらともいえない…0 ③あまり参考にならなかった…0

- ・すごい体験ができた。
- ・講義・体験・展示等様々な方法で福祉について考え、学ぶことができてとても良かった。
- ・新崎先生のお話をもっと聞いて学びたかった。
- ・現在やっていることの自信と、時代の変化とともに児童の変化に合わせた伝え方を学んだ。すぐに活かしたい。

問2) 講演「地域・学校・家庭が連携した福祉教育の実践」について

教職員

①とても良かった…30 ②良かった…9 ③ふつう…0 ④あまり良くなかった…0
⑤良くなかった…0 ●未回答…1

- ・ふだんのくらしのしあわせを、福祉教育を通して子どもたちに伝えていきたいです。ネガティブな面のみ伝えることのないようにしたいと思います。
- ・福祉教育を指導するときに、配慮しなければならないことについて学ぶことができて、とても勉強になりました。
- ・「人々に必要とされることをする」高齢者の多い実家の地域の人たちと通常でしたいと思いました。
- ・実践したいと思えた。
- ・福祉とは一体何なのか漠然としたものはあるけど、それが一つ一つ意義づけてもらえた。
- ・「地域づくり」という言葉が心に残りました。助け上手、助けられ上手になりたいです。
- ・これからの授業に生かしたい内容がたくさんありました。
- ・今年初めて参加しました。新崎先生のお話、昨年までの分もお聞きしたかったです。とても勉強になりましたし、「福祉」を身近に感じました。もっと積極的に学んでいきたいと思いました。
- ・相互実現型自主の考えがとても勉強になりました。自分の娘にも、今日の内容を伝えたいです。

- ・福祉について自分自身の考えがまだまだ浅かったということを実感した。とても分かりやすく、学ぶことができた。
- ・福祉の視点から見た「教育」について考える貴重な時間となりました。
- ・地域とつながることの意味が少し理解できた。
- ・偏見についての話は子どもたちにしたいと思いました。
- ・高齢者だけでなく、子育てをするにしても、地域・家庭・学校の連携が大切だと改めて理解しました。
- ・去年も聞いたので、できれば違う内容が聞きたかった。
- ・地域の教育力を高めることが大切であると改めて実感した。
- ・福祉についての大切な考え方、ポイントを学べました。

民生委員児童委員

①とても良かった…7 ②良かった…3 ③ふつう…0 ④あまり良くなかった…0
⑤良くなかった…0

- ・「人は必要とされることを必要とする」との新崎先生の言葉、心に強くひびきました。必要とされる自身に成長していきます。
- ・大変役に立ちました。楽しかったです。

主任児童委員

①とても良かった…6 ②良かった…0 ③ふつう…0 ④あまり良くなかった…0
⑤良くなかった…0

- ・活動に役立つ情報。とても勉強になりました。
- ・子供の目を一番見ます。笑顔だったら私もうれしいです。家の前に立っていると子供が集まってきます。
- ・もう少し長い時間しっかり聞きたかったです。

福祉委員

①とても良かった…13 ②良かった…6 ③ふつう…0 ④あまり良くなかった…0
⑤良くなかった…0

- ・自分の子供とコミュニケーションが取れていないので、まずはそこからと思います。
- ・企業など社会を構成しているグループが欠けている。組込の必要。
- ・福祉、教育別々の観念でしたが、大事さがわかった。
- ・先生がわかりやすくお話をしてくれました。
- ・家庭では母親が忙しすぎて、子供が留守番が多くてさみしい思いをしています。
- ・実体験の話がもっと聞きたい。考え方を柔軟にしないといけなと感じた。
- ・地域の一員として、子供達の見守り、声掛けをしていけたらいいなと思いました。
- ・地域・分野横断的な地域共生社会づくりはむずかしいが、目指していきたいと思いました。福祉も教育も別々に考えず繋がっていると思いました。
- ・地域活動の中でも取り組めていけたらと思います。
- ・大野城市はこんなに積極的な取り組みをしているのを知りませんでした。安心して相談できると感じました。
- ・梶先生のお話も新崎先生のお話もとてもためになりました。
- ・よかったし、やさしい言葉でお話しされたけど、内容は高度でちょっと難しかった。

その他

①とても良かった…8 ②良かった…0 ③ふつう…1 ④あまり良くなかった…0
⑤良くなかった…0

- ・興味をもてるような教育で良かった。

- ・もっと新崎先生のお話を聞きたかったです。
- ・わかりやすく、とても参考になりました。
- ・「福祉教育：地域づくり」この視点を改めて学ぶことができた。「自分に今できること」を伝えることも認識して、子どもにも「できること」を伝えたい。
- ・新崎先生のお話は、分かりやすかったです。もう少し時間が欲しかったです。

問3)【第2部】福祉体験・講座について

(教職員体験数)

教職員

①とても良かった…28

②良かった…7

③ふつう…1

④あまり良くなかった…0

⑤良くなかった…0



【車いす体験】

・まったく認識のない人とペアになって取り組んだが、お互いにコミュニケーションをとりながらできた。やはり実際にやってみるからこそそのコミュニケーションだと思った。また「車いすに乗るようになったから…」のお話を聞いて、お互いに伝え合おうとすることが大切だなあと思った。

【特別支援教育講座】

・配慮が必要な子へはもちろん、まわりの子どもたちへの配慮も、考えていかなければいけないと感じました。

・早く子ども達に会いたくなった。

・自閉症スペクトラム、発達障害など生きづらさを感じる子どもや親への対応を、あらためて教えてくれたから、これからも続けていきたい。

・特定の子だけでない、全員に伝えることで、自分の表情を子どもたちは見ていると思った。

・やはり保護者との関係づくりが大切だと思いました。

・具体的な言葉かけの仕方を学べて良かった。

・保護者との会話のポイントが聞けて良かった。参考にしたい。

・ホッとできる「ナナメの関係」はとても納得できました。困った子は実は、「困っている子」だという視点で今後も子どもたちに関わっていきたいです。

・子ども達は緊張の高い場面でパニックになったり、落ち着きはなくなったりしやすいことを、改めて実感し納得した。

・子どもたちの支援だけでなく、保護者方の支援という視点をもつことも大切だと感じました。

・どの子どもに対しても「困った子」と思うのではなく、「困っている子」と考えると、自分自身にも余裕が出て、前向きに支援方法を考えられると感じたから。

・時間が十分でなかったため、中途半端だった。

・保護者との関わり方がわかって良かったです。

・障がいを持つ子について、周りの環境の大切さについて振り返ることができました。

・困り感をもっている子、その子の良いところを見つける。シャドーワークの大切さ。手本となる教員でなければならない。

・子どものことで悩んでいたことが少し楽になった。

・クラスづくりをするにあたって、大切にすることを確認できてよかった。

・大切な考え方、子や保護者へのかかわり方のヒントをたくさん学べました。

民生委員児童委員

(民生委員児童委員体験数) (名)

- ①とても良かった…9
- ②良かった…1
- ③ふつう…0
- ④あまり良くなかった…0
- ⑤良くなかった…0



【車いす体験】

- ・実際に乗ってみたことで、速さ、路面のでこぼこなど、とても強く感じた。お互いのコミュニケーション、思いやりが必要だと思った。
- ・乗るのも押すのも初めてでしたので参考になりました。ゆっくり、ゆっくり押して、二人のコミュニケーションが大事。

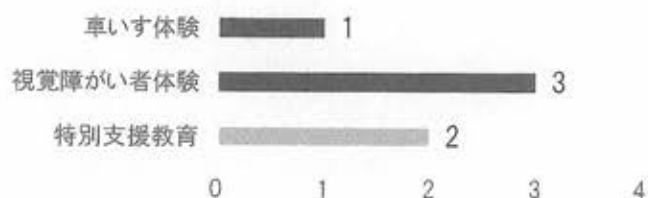
【特別支援教育講座】

- ・孫が重度の障がいがありますので、とても感じるがありました。1人の人格として、大切にしていきたいと思っています。
- ・事例をあげての説明で、実際にどのように関わっていけばいいか具体的でわかりやすかった。非常勤講師と民生委員としてこれからの役に立ちます。

主任児童委員

(主任児童委員体験数) (名)

- ①とても良かった…5
- ②良かった…1
- ③ふつう…0
- ④あまり良くなかった…0
- ⑤良くなかった…0



【車いす体験】

- ・ちょっとの段差でもドキドキしました。意外と点字ブロックの所は震動があるんだなぁと思いました。

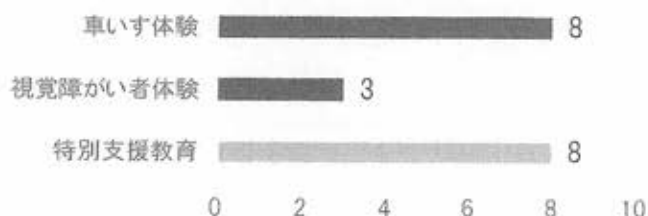
【視覚障がい疑似体験】

- ・介護する側、される側の両方を体験した。点字ブロックを意識することで、新たな気づきがありました。
- ・初めてのアイマスクで怖かったけどやって良かった。福祉授業で子ども達に教えたことはあったけど、自分でやってみて良かった。
- ・体験したことで、普段気にならない事、小さな事、素通りしてしまう事すべてが感じられ、視覚障がい者の方への接し方など理解できた。

福祉委員

(福祉委員体験数) (名)

- ①とても良かった…12
- ②良かった…4
- ③ふつう…2
- ④あまり良くなかった…0
- ⑤良くなかった…0
- 未回答…1



【車いす体験】

- ・思いやり、気遣いをしながらいけない事を学びました。
- ・初めて車いすを動かしましたが、乗ってみて早く動いているように思えた。
- ・貴重な体験ができて良かった。思ったより操作しやすく、乗り心地も良いと思った。
- ・短い時間だったので、もう少し体験時間が欲しかった。
- ・実際に車いすを使っている方がお話しされたので、色々大変な事があるみたいですね。

【視覚障がい疑似体験】

- ・前進するのもこわこわで、途中で前に進んでいつも東西南北の感覚がなくなり、屋外では音も加わり、耳を澄ませ、精神的に疲れると思いました。
- ・とてもためになりました。

【特別支援教育講座】

- ・接する機会が今まで少なかった（気付かなかった？）
- ・ボランティア等、子ども達との関わりがあることがわかった。
- ・具体的な事案をあげての説明でよく理解が出来た。なかなか難しいものですね。
- ・視点を変えることが大切だと思いました。ソーシャルワークの原点に戻る学びを得ました。

その他

①とても良かった…5 ②良かった…2 ③ふつう…0 ④あまり良くなかった…0

⑤良くなかった…0 未回答…2

- ・体験を全部に付いてしまった。
- ・限られた時間でポイントや重要なところが理解しやすく、参考になりました。
- ・障がいの子だけでなく、だれにでも共通する内容であった。子育ても！「承認」自分の課題です。
- ・時間がとても足りなかった。もっと先生の話を知りたいと思った。（支援教育）
- ・体験としては少し短かったが、最後に大切なことを教えて頂きました。（車いす）
- ・質問の時間が短すぎた。（視覚）

■その他の意見等

教職員

- ・福祉教育は「ななめの関係」ということが大切だと思いました。今は教師の立場ではありますが、ボランティアや地域のおばあちゃんとしても、やっていきたいと思いました。
- ・本当に参加できて良かったです。たくさん実践していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・車いすに乗る経験がなかったので、初めてのことでばかりで勉強になりました。スピードが速く感じたので、押す側になった時はゆっくり進みたいと思いました。
- ・聞きやすく、とても分かりやすいお話でした。ありがとうございました。
- ・できれば子ども達に多くのことを体験させて、たくさんの方に気付いてもらいたいが、学校で取り組める時間は限られているのが…。本校では、4年生が福祉教育を実施しているが、もっと学年を広げてもいいのかも。
- ・今回は後半に体験の時間があり、とても良かったです。また、講話も現在日々の教育活動の中で感じていたことをわかりやすく、すばりとお話ししていただき、とても納得できたと同時に、これからの課題の大きさをあらためて感じた。

- ・教員ですが、福祉委員の友人が偶然いて、それぞれの立場で話すことができました。（移動の少しの時間に。）いろんな立場の方と話すのもいいなと思いました。
- ・偏見をうすめていきたい。
- ・保護者に対しても、どんどん広げてほしい。希望制の参加にすると、ずっと聞かない人は聞かないので親になったら1回は必ずこんな話を聞く機会をつくってほしい。
- ・はじめて新崎先生のお話を伺いました。あまりよくわかっていない私でも、すーっと頭と心に残るお話がたくさんありました。参加できてよかったです。※時間がもう少しあれば…と思いました。

民生委員児童委員

- ・ありがとうございました。もう一度復習しなおし確認し、今後の役に立てたいと思います。
- ・地域という資質性がとても問われてきているのを感じました。子供の頃はまわりの大人達の目がとても行き届いていたと思う（大人はえらい、怖い存在）。今は無関心な大人が多いと思うし、関わるのがとても難しくなってきたと思う。
- ・福祉教育は人権教育と同じであること。小学校の先生だけでなく、中学校の先生も各校1名は参加し、勉強してほしい。地域で聞き上手になるよう努力したい。

福祉委員

- ・奥が深い内容です。わかっているのに、つい忘れて行動している時があると思う。常に意識（志）を高く持ち続ける様になりたい。福祉とは、構えるものではないのかもしれませんが、いつでもそっと寄り添えるようになりたい。
- ・年に一度の新崎先生の講話ですが、忘れかけた福祉の事を改めて勉強できました。笑顔をもって地域福祉活動しないといけないと思いました。
- ・子どものころからの福祉教育が大切だと思います。

その他

- ・興味深く体験出来て良かった。
- ・担当者の明解な説明が分かりやすかった。すごい体験になりました。ありがとうございました。
- ・車いす、アイマスク体験の時間が短すぎた。

⑤ 移送サービス（リフトカー）についてのアンケート結果

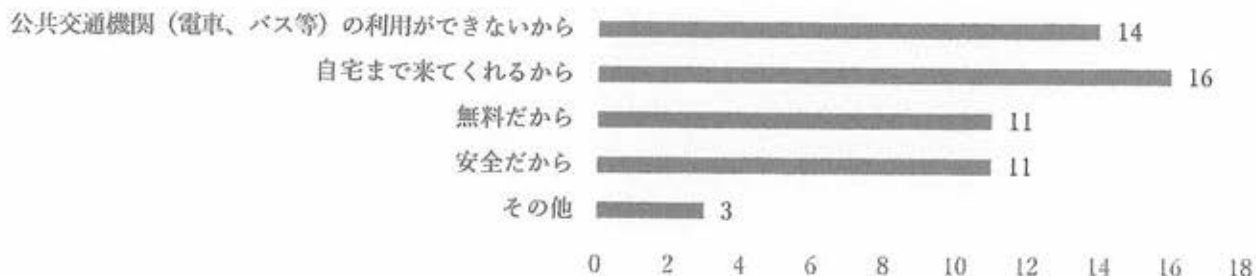
○調査期間 2019年12月5日（木）～2019年12月23日（月）

○調査対象者 36名（今年度登録者）

○調査結果 返送者27名（回答率：75.0%）

問1

リフトカーを利用される理由（複数回答）



その他の理由

母親（自分）が病気を二つ持っているので。

寝たきりで障がいも1級だから

ご意見（自由記述）

ハンディキャブが利用できない時に利用する。

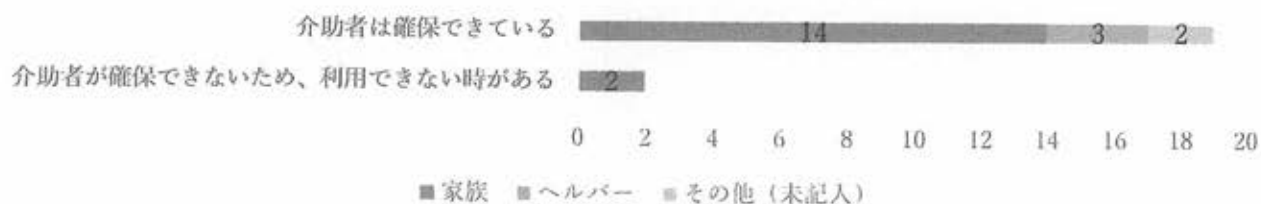
リフトカーを個人で購入する事は負担が大きいので、助かっている。無料だとは余計にありがたい。

雨の日など送迎してもらえるので助かる。

運転手さん付きで助かる。

問2

リフトカーを利用する時、添乗（介助）者の確保についてお尋ねします。



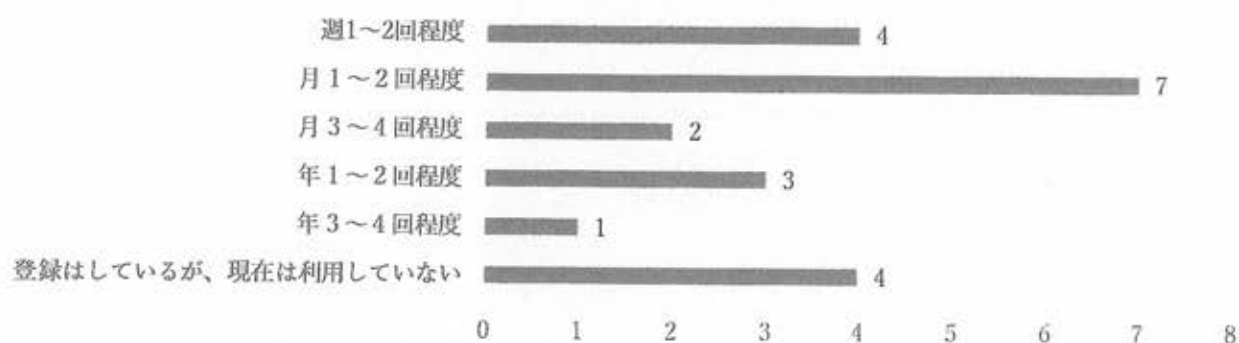
ご意見（自由記述）

私が添乗しているが、私の足が悪くなっていつまで介助できるか心配
母親またはヘルパーさんをお願いしている。
介助者がいなくて、困っている。
今のところ家族が確保できているが、それが出来なくなったらと心配する。

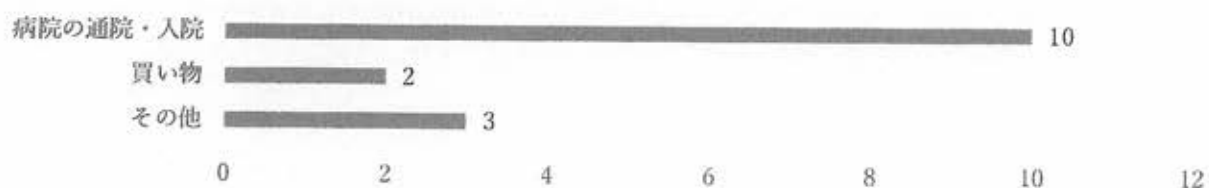
→介助者の確保が困難な場合、社協事務局に安全に乗ることができる方法を一緒に考えて参りたいので、まずはご相談ください。

問3

①リフトカーの利用頻度について（自己申告） ご意見（自由記述）



②リフトカー利用目的（複数回答）

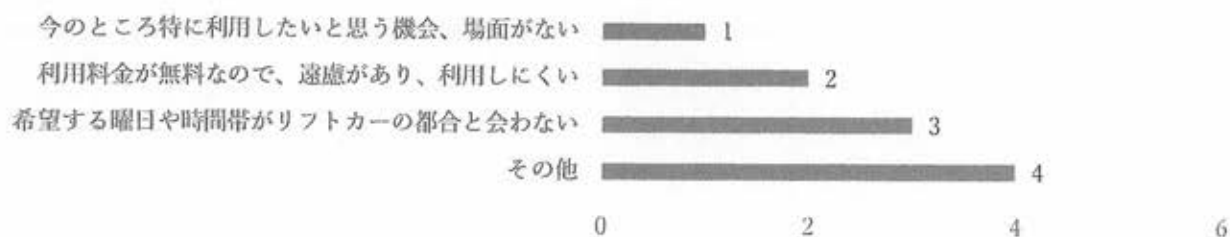


その他の行き先

レクリエーション・趣味の会
行事への参加
リハビリ

問 4

登録しているが、現在は利用していない方の理由について

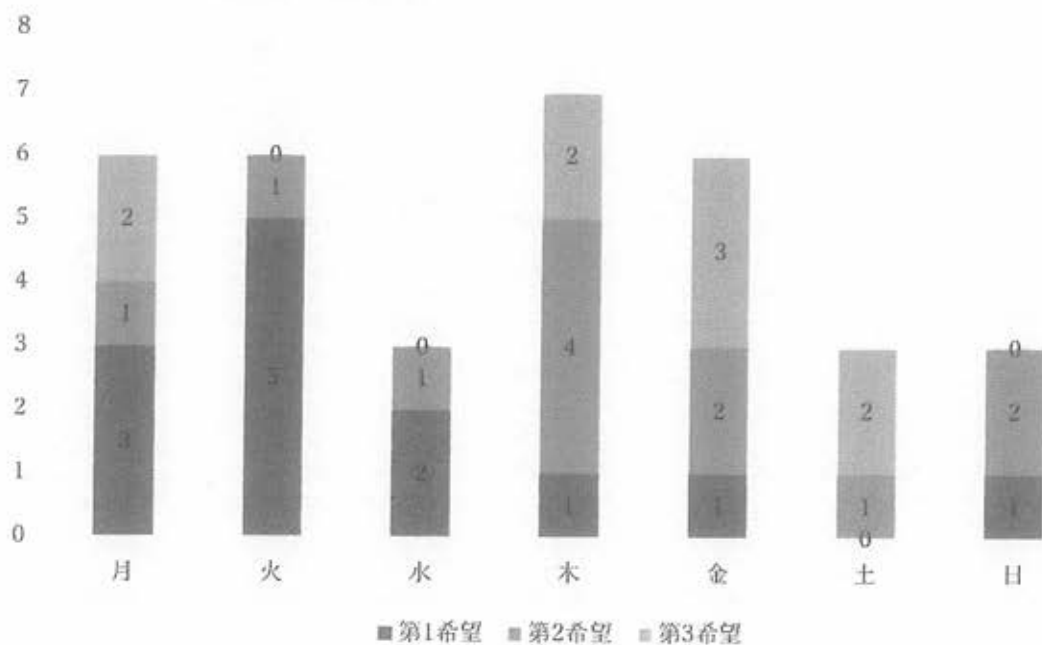


その他の理由

介護タクシーに乗っている。
訪問診療を受けるようになったため
在宅ではないので。
家族だけでは車いすに乗せることができないので。

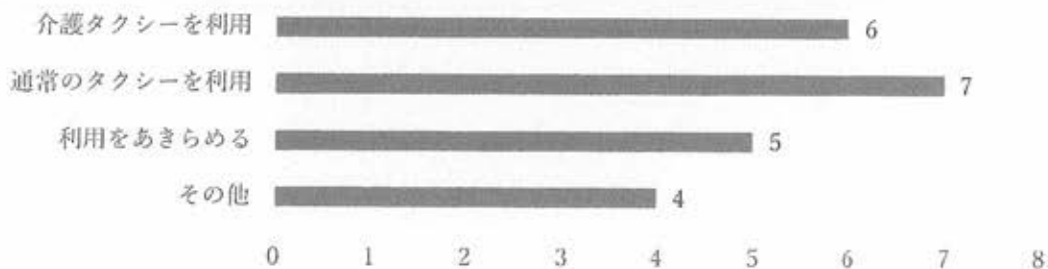
問 5

リフトカーを利用する希望曜日



問 6

リフトカーが利用できない場合、どうしていますか。

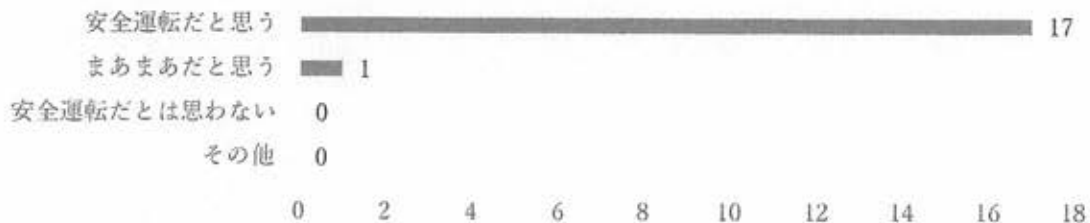


ご意見（自由記述）

私の体調がいい時は私が、または近所の人に自分の車を運転して子どもを乗せている。
ハンディキャブで運転ボランティアをお願いしている。
利用できない時は病院の予約日を変えてもらう
家族に送ってもらう。
公共交通機関を利用しているが、乗り継ぎが大変。
利用できる月の前月の1日に申請している。
家族に協力してもらう。
希望する日に利用できている。

問 7

リフトカーを利用する際、運転手は安全だと思われますか。

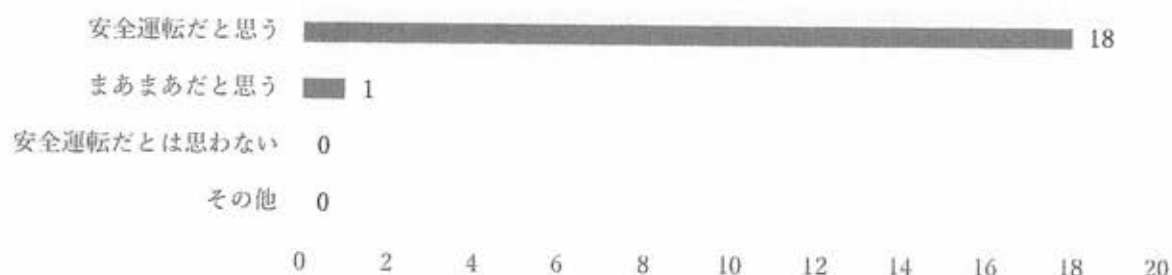


ご意見（自由記述）

安全運転で大変ありがたい。
色々と気遣ってくれてありがたい

問 8

リフトカーを利用する際、運転手の車椅子の取り付けは安全に行われていると思いますか



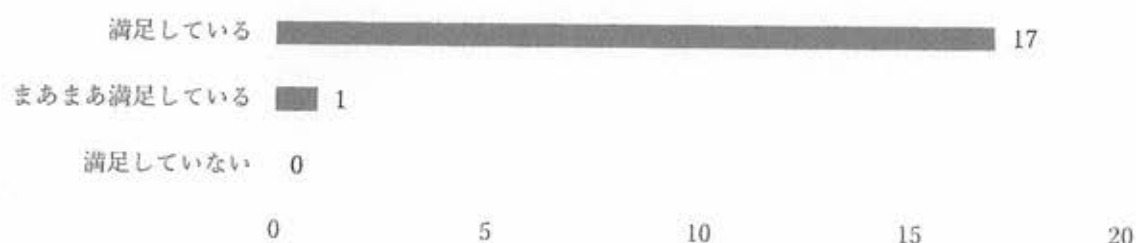
ご意見（自由記述）

運転手にお世話になり、感謝している。

運転手のせいではないが、車によってセッティングが違うが、古い方の車はロックがかかりにくい時が多く何回かかけ直してもらうことがある。

問 9

移送サービス（リフトカー）事業のサービスに満足していますか。



問 10

移送サービス（リフトカー）へのご意見、ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

定期的に、時間通りに頼めない時が多いので、利用しづらい。

病院から病院への移動に使えると助かる。

行き先の入り口近くまで、車いすを押してくださるのでありがたいと思っている。

感謝しきれないほどリフトカーにお世話になった。仲間と色々な所に出かけることもできたし、社会参加もできた。この事業が長く続くよう願っている。

病院行きのみ利用させていただいているが、予約の時間に丁度合うように連れて行ってくださる。待ち時間が長い時は申し訳なく思っている。いつも感謝のみ。

運転手の方の年齢制限はありますか？

→社協では特に制限を設けておりませんが、現在の委託先は年齢制限があり、さらに契約更新のための検査を1年ごとに行っています。

予約できない場合もあるので、もっと活用できるようにしていただきたい。

⑥ 移送サービス（ハンディキャブ）についてのアンケート結果

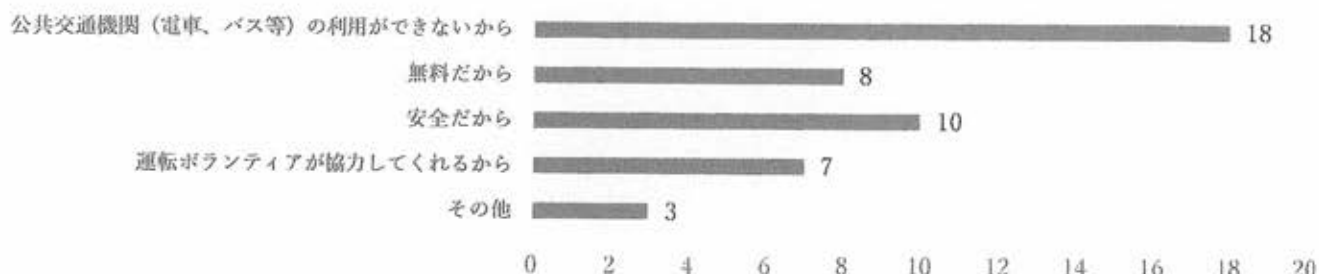
○調査期間 2019年12月5日（木）～2019年12月23日（月）

○調査対象者 34名（今年度登録者）

○調査結果 回答者25名（回答率：73.5%）

問1

ハンディキャブを利用される理由（複数回答）



その他の理由

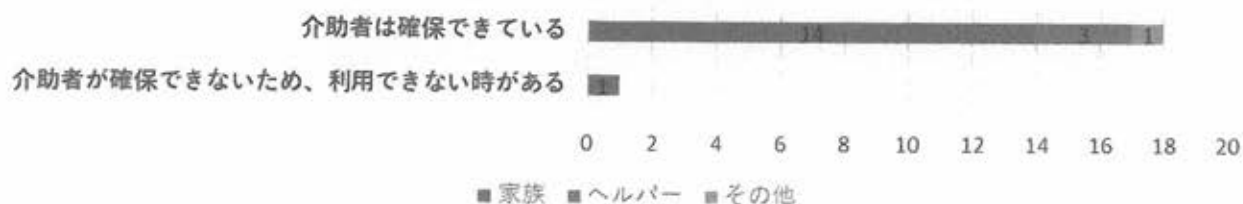
母が再発する病気を二つ持っているため
車いすが乗る車を持っていないため
リフトカーや介護タクシーが利用できない時

ご意見（自由記述）

母一人では無理なので。
運転ボランティアの方が親切で感じがいい。

問2

ハンディキャブを利用する時、添乗（介助）者の確保についてお尋ねします。

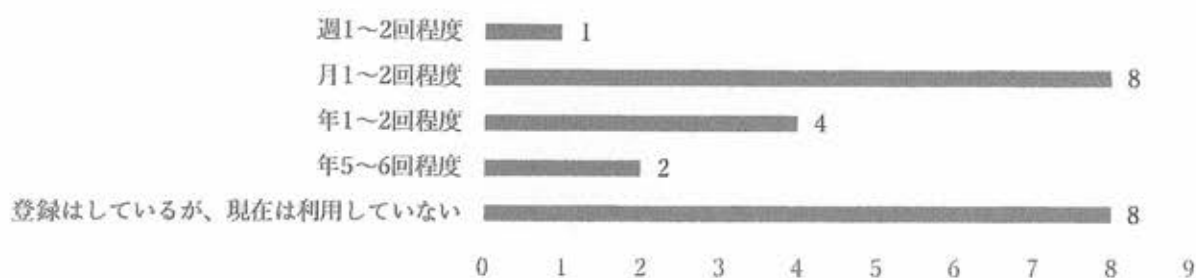


ご意見（自由記述）

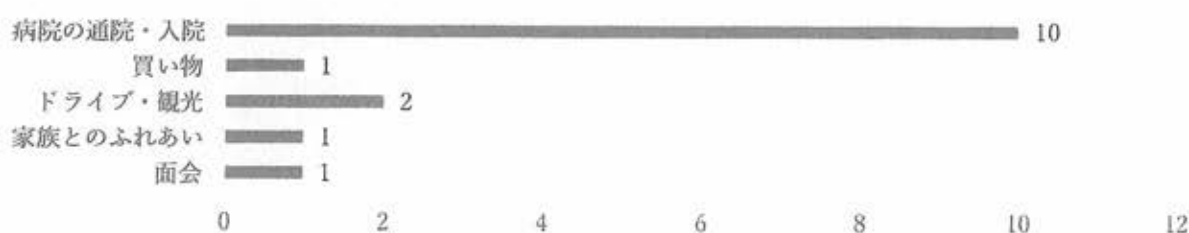
私が添乗しているが、足が悪くなっていつまで介助できるか心配

問 3

①ハンディキャブの利用頻度について（自己申告）



②ハンディキャブ利用目的（複数回答）

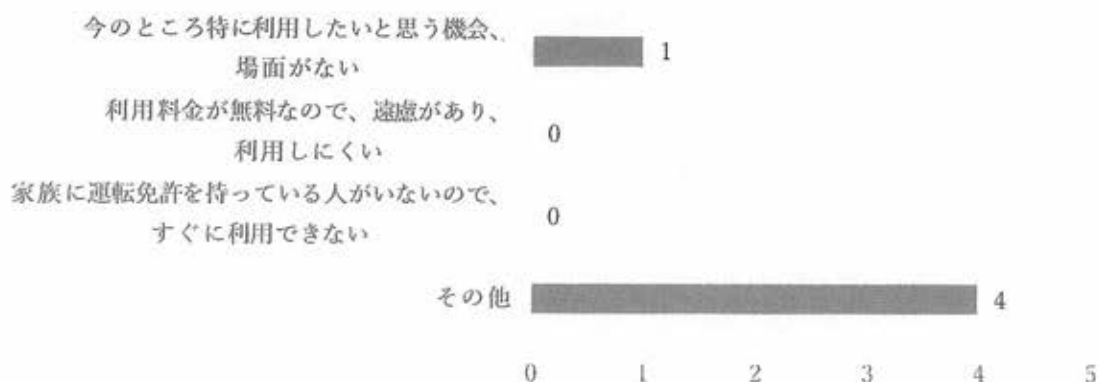


③他にどんなことに利用されたいですか。

介護タクシーに乗れない時
ドライブや観光
家族とのふれあいの為
土日のお出かけ

問 4

登録しているが、現在利用していない方の理由について



その他の理由（自由記述）

訪問診療を受けるようになったため。

免許はあるが、運転が苦手のため。

リフトカーで間に合っている

入院中で外出できる状態ではない。

ご意見（自由記述）

利用者本人が車移動を望んでいない。（車いすに乗ったまま乗車する事に恐怖を感じている）

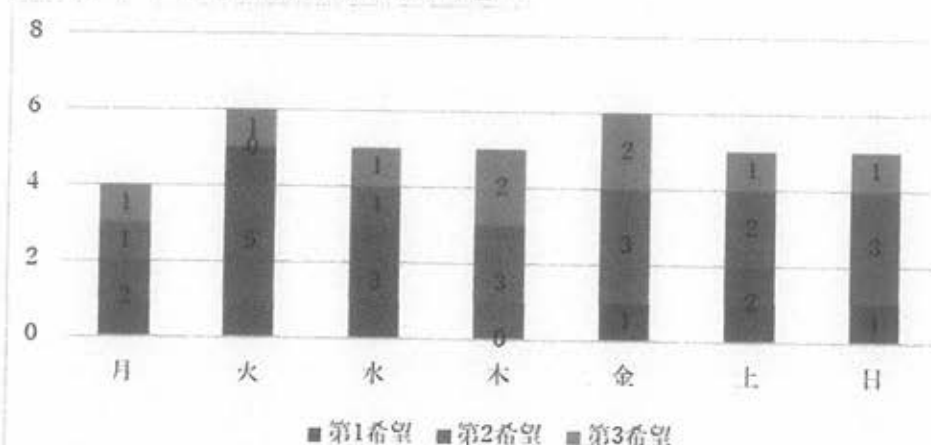
介護タクシーに乗れない時にお願いする。

ハンディキャブで自宅に帰っても、道路から玄関、家の中へ移動することが難しい。車イスでも気軽に利用できる食事の場所を検討中。

月1の定期検診が土曜日 15:00～17:30 であり、帰宅時間が遅くなり、利用したいが時間的に合わない。（行き先が大橋）

問5

ハンディキャブを利用する希望曜日

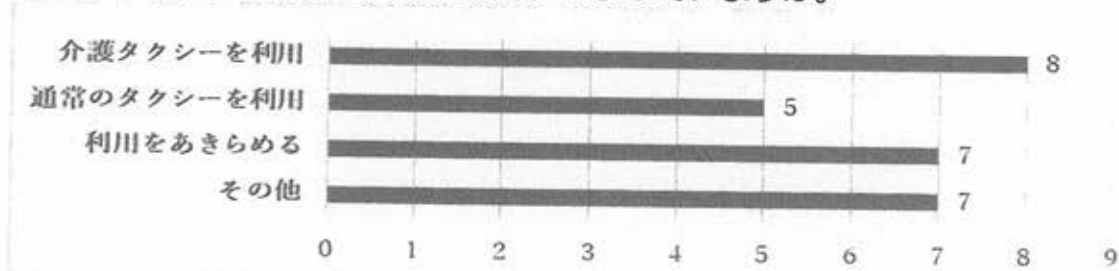


その他

ハンディキャブの利用可能日と歯科への予約がマッチする日に利用している

問6

ハンディキャブが利用できない場合、どうしていますか。



介護タクシー・通常のタクシーを利用

病院等とハンディの空き状況で利用している。

病院の予約日をし、ハンディキャブを利用している。
曜日を調整してお願いしているので、利用できている。
夫の介護で同乗か、夫の車で行く。

その他のご意見（自由記述）

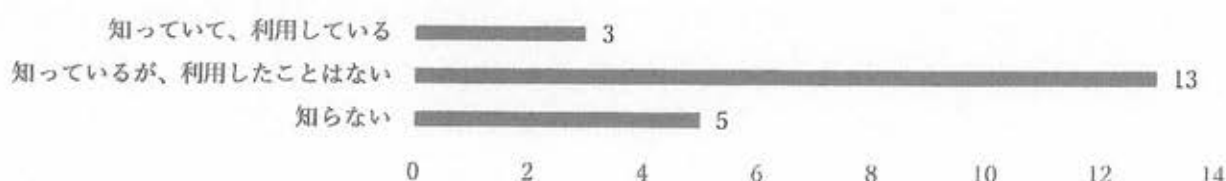
私が体調のいい場合、自分が、または近所に人に頼んで、自分の車に子どもを乗せるレンタカーを借りる。
電車やタクシーを利用している。
ヘルパーさんをお願いして、まとめ買いをしている。
自宅にある「助手席スライドアップシート」と「車いす収納装置」付きの車を使用する。
病院の予約日を変更してもらう。

ご意見（自由記述）

土日、年末年始に利用できたら嬉しい。

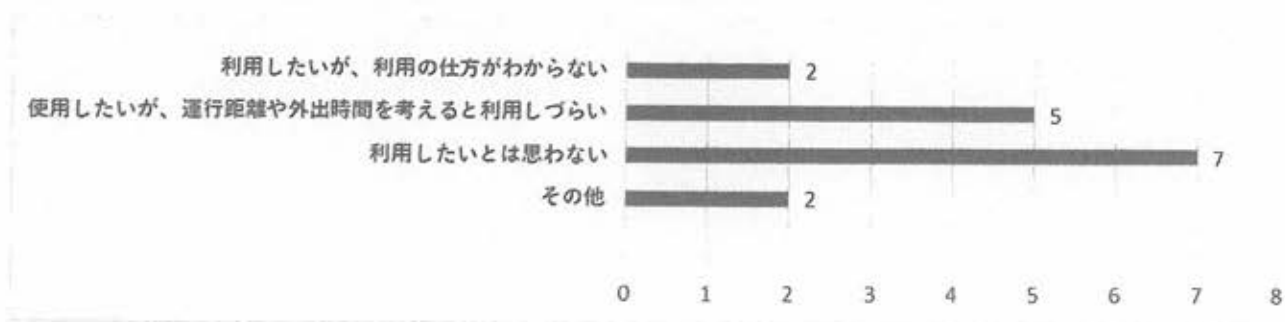
問 7

ハンディキャブの運転を協力する、「運転ボランティア」グループがあることをご存知ですか。該当する番号を○で囲んでください。



問 8

問 7 で 2. または 3. とお答えの方へ 運転ボランティアの運行を利用してみたいですか。



利用したいとは思わない（理由）

家族で対応できる

今は必要がない。
家族が協力してくれるので利用していない。
娘（介護者）が運転するから。
家族で介助運転ができるから。

その他

自分もしくは家族が運転できない時はボランティアの方をお願いしたい。
家族が協力してくれるので、利用していない。

問 9

「ハンディキャブ」へのご意見、ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

素晴らしい取り組みだと思う。宣伝して多くの人の外出の手伝いになれば、本人、家族も助かる人は多いと思う。土、日、盆、正月など親せき等が集まる時に利用したい。
大変助かっている。担当者の対応が良く感謝している。
定期的に時間通りに頼めない時が多いので、利用しづらい。
ハンディキャブがあるのはとてもありがたいと思う。この事業を知らない人も多いと思う。
年に 1～2 回病院より外出する時、大変助かっています。ありがとうございます。
本当に助かっている。家族といろんな所に行けて、本人も喜んでいる。
親切にしてくださき、助かっている。行き先の場所で待っていただくことがあり、申し訳ないと思う。
感謝している。
ハンディキャブの登録をして、初めて運転手がボランティアの方だと知った。いろいろ気を付けてくださり有難く思っている。
月 1 回の通院で大変助かっている。

⑦ 福祉バス利用者アンケート集計

目的 実態把握、改善点や要望を集約し、事業の円滑を図るため
 実施期間 令和2年1月6日～1月20日まで(24日ごろまで返信来ていた)
 対象者 平成31年4月～令和元年11月までの乗車責任者(第3条(3)の団体を除く)

対象人数 98 名
 回答数 78 名
 未回答数 20 名
 回収率 79.6%

〈アンケート項目〉

①バス利用申請方法のご理解頂けましたか？

選択項目	回答人数	比率
理解した	62	79%
だいたい理解した	14	18%
理解できなかった	2	3%
合計	78	

◆ご意見

- ・従来より理解しているつもり
- ・1年前から予約していたが都合により解約しご迷惑かけた
- ・福祉委員会は早期予約でありがたい
- ・担当の方に教えて頂きなんとかできた(2名)
- ・予約が取りにくいのが困る 希望日が取れない(2名)
- ・少々面倒かな
- ・まだ自分でしていない

②走行中の乗り心地はいかがですか？

選択項目	回答人数	比率
満足	58	75%
やや満足	18	23%
やや不満	1	1%
不満	0	0%
合計	77	

◆ご意見

- ・運転手さんに大変お世話になった ありがとうございます(3名)
- ・補助席を使わずに乗れる大きいバスにしてほしい(2名)
- ・座席のクッションが固い(2名)
- ・座席によってはシートベルトの調整が難しい時がある(2名)
- ・年数がたっているかと思うがエンジン音が大きい
- ・運転者の方が信頼できる人
- ・障がいのお子さんに配慮いただき助かった

③運転士の対応についてお聞きます。

選択項目	回答人数	比率
満足	72	95%
やや満足	4	5%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
合計	76	

◆ご意見

- ・優しく、親切丁寧で、気遣いいただいた(10名)
- ・安全運転でとても安心・快適(3名)
- ・楽しく気持ちよく楽しめる(2名)

・運転技術等について問題ない

④当バスをご利用になって、どの程度ご満足頂けましたか？

選択項目	回答人数	比率
満足	64	85%
やや満足	11	15%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
合計	75	

⑤利用した際に、何かお気づきの点があればご記入ください。

自由記述	回答人数	比率
お礼など	23	61%
改善してほしい	15	39%
合計	38	

◆お礼などの意見

- ・優しく、親切丁寧で、気遣いいただいた(11名)
- ・運行スケジュール、その土地の事を良く把握してもらいスムーズ(3名)
- ・安全運転で気持ちよく利用できた(3名)
- ・毎年利用させてもらいありがとうございます(3名)
- ・酒見運転手さんがバスの中の雰囲気をややかに盛り上げてくれる(2名)
帰りに美声を聞かせていただいた
- ・現状で大満足
- ・ガソリン代ぐらいは徴収していいかと思う
寄附のつもりで例えば1人200円ぐらいは
- ・アクション福岡プールへの行きについて問題なし
帰りの時間について乗車責任者が打合せを行った
- ・柔軟に対応していただきとてもありがたい
- ・時間も早めに来ていただき助かった
利用期日各区同じで計画を考えます

◆改善してほしいなどの意見

- ・車内がかなり古くなっているのでは
- ・夏場冷房機INの時に水滴落ちた 処置できましたか(市バス?)
- ・一番前左側の席のシートベルトに不具合があったように記憶している
- ・シートベルト装着に不具合のところがある
- ・高齢者バスハイクの時シートベルトがすんなりできない(コツがあると思う)
- ・きれいに掃除されているがカーテンのタレ下りをピンチで止めてあるのは?
- ・後部座席の方のマイクが使えるようにお願いしたい
- ・マイクが後ろまで届かなかった(自己紹介するとき困った)
- ・高齢者の乗り降りの際に踏み台があると乗り降りしやすいのでは
- ・当利用する方は初めて行くところが多く運転手に地理等の事前取得必要
- ・現地において多少のルート及び時間は臨機応変に対応していただければ
- ・バス使用の目的緩和してほしい
- ・目的が観光・友愛であるが社会見学(研修)の施設見学等の義務?は
時間の有効利用が出来ない
- ・バス申請書に年齢を記入するようになっているが聞きだすのが大変だった
- ・出来たら小型(15名まで)・中型(25名くらい) 選べるように2台ほしい
- ・高速走行もあるから補助席の使用は怖い

⑥その他、何かご意見ご要望等がございましたらご記入ください。

自由記述	回答人数	比率
お礼など	21	55%
要望など	15	39%
合計	36	

◆お礼などの意見

- ・障がい者・高齢者にいつもやさしく接していただいている(踏み台など)
- ・運転手さんには心づかい感謝している
- ・いつも安全運転ありがとうございます シートベルト着用は徹底していきたい
- ・見学先などスムーズには入れるよう色々配慮していただいたり良くしてもらい有難い
- ・心よく運行して頂き安心して乗ることができる
今後とも安全運転でよろしくお願いします
- ・運転手さんのご配慮に感謝
- ・運転手に対する指導徹底されている 又、運転手も心得ている
- ・何時も同じ運転士の方なので安心して乗っていられる
- ・バス担当職員さんが交代されたそうですが前の職員さんに大変お世話になった
こちらのほうこそよろしく願いいたします
- ・行先に迷っていたが事務の方に親切にいただきありがとうございます
今後ともよろしくお願いします
- ・福祉でいつもお世話になり感謝申し上げます
- ・事故のないよう気を付けてください いつも楽しく使わせていただいています
これからもよろしく
- ・今後も利用させていただきますのでよろしくお願いします
- ・お世話になりありがとうございました
- ・いつも気持ちよく利用させていただいている
- ・今後ともよろしくお願いします
- ・自治会の活動に大変ありがたくお礼いたします
- ・便利に活用させてもらっているありがとうございます
- ・とても楽しいバスハイクができた
- ・年1回は利用させて頂いている 非常に助かっている

◆要望等

- ・障がい者・高齢者(弱者)対策が不行き届きの感じがする
- ・利用の本申請までの手続きをできれば簡素化お願いします
- ・目的地までのコースや所要時間の記入がうまくできないネットでの時間を参考にしている
- ・希望日になかなか利用できないため日程調整に苦労する
- ・福祉バスの為利用申し込み2か月ではシーズンには空きがなくシーズンオフしか利用できない
- ・福祉バスの予約は2か月前からじゃなくもう少し前からできないか
- ・希望者が多いので仕方がないかもしれないが予約が取れない
- ・利用日程が混む場合有り 年度ごとの申請願い度(1年前でも取れない)
- ・福祉団体が無料で借りれるのに疑問がある。1団体につき社協会費
特別会員5000円くらいは支払ってもいいと思う
バス料金としてではなく社協会員協力としては如何か
- ・運転手さんへバスを出発させる折の乗車責任者との出発確認を再度ご指導お願いしたい
- ・研修先などへのアドバイス役立っている 穴場などを知らせてほしい
- ・時間ができたときに予定外の所へ寄り道ができないか
- ・トイレ休憩時間を配慮頂ければ有難い
- ・大型バスになれば1台で参加者が一緒に乗車できるので助かる ご検討の程お願いしたい
- ・もう少しバスが大きければと思う
- ・無理な事と思うが40名くらい乗れるバスだったらと願います
- ・補助席を使わなくても良い新しい車両を希望

⑧ 生活支援コーディネータースキルアップ研修アンケート 集計結果

日 時	令和2年2月13日（木）14：00～
会 場	大野城市総合福祉センター 3階大会議室
講 師	公文 真理亜氏（北九州市社会福祉協議会 地域支援課課長）
参加者	基幹型地域包括支援センター生活支援コーディネーター 2名
	各地区地域包括支援センター生活支援コーディネーター 4名
	社会福祉協議会生活支援コーディネーター 1名
	基幹型地域包括支援センター職員 2名
	社会福祉協議会職員 4名

1. 大野城市生活支援コーディネータースキルアップ研修 ～ボランティアコーディネーションの視点から～

○ボランティア活動されている方への接し方を見直すきっかけとなったと同時に、ボランティアの本来の意味を知ることができ、今後に役立てたい。

○ボランティアコーディネーターの8つの役割を自分にも落とし込んで、実際の活動にもつなげていきたいと思う。

○頭の柔軟さが不可欠だと改めて痛感しました。きちんと情報を集めて皆で共有し、どう発展させるかどんな可能性があるのか、色んな角度から模索すること(作業)を大切にしたいと思う。

○理解しているようで、できていないことが多く、改めて視点の見直しの必要性を感じた。

○住民主体で動いてもらう事のスキルは、今後も必要である。

○コーディネーションの基本的な視点、勉強になりました。8つの役割は、実践振り返り確認していきたいと思う。

○ボランティアの概念を基礎から見直すことができてよかった。

2. 北九州市版 地域包括ケアシステム構築に向けた地域の体制づくり(イメージ) 北九州市いきいき長寿プラン(2018～2020年度)における主な施策(抜粋)

○事業所でゆっくり見直します。(3件)

○協議体を「作戦会議」と言い換えていたので、住民も入りやすいと思った。

○地区でも体制づくりの協議が活発になっており、今後どのように動き、説明すべきかの参考になった。

○少し難しかったが、作戦という言葉にかえ、理解しやすくしていたのはよかった。

○社協を中心に第2層がしっかり機能していると感じました。カフェや終活支援などの内容をうかがいたいと思ったが、残念。

3. ボランティアコーディネーター基本指針

- 読み直し再度確認してきます。(2件)
- 初めて見た資料なので、しっかり内容を確認したい。
- 事例でもあったように見落としがち、忘れがちな大事なことから気をつけて行こうと思う。
- 改めてというか、初めて講義を受け、ボランティアコーディネーターを知る事ができた。
- ボランティアに関して誤解していた部分もあり、正しい知識を得ることの大切さが分かった。

4. 第2層協議体の設置を見据えた会議の運営方法や計画づくりについて

- 今後、どのような形で進むのか不透明であるが、住民の方の力を信じ、その力を引き起こすスキルも身につける必要があると感じた。
- ボランティアコーディネーター8つの役割のポイントを常に心がけて、必要に応じたスピード感と慎重、丁寧な事前準備のすすめの大切さを改めて確認しました。
- 今これについて悩んでいたもので、考え方の幅が増えました。
- 北九州市は既存のものを第2層にしたとのこと。東地区においても同様の状態で少しずつ進んでいます。

その他、感想や質問などをご記入ください

- 仕事としてSCをしている私と、ボランティアとして地域活動をしている方と、上手に対等な関係で繋がれるように努力していきたいです。
- 先生が最後に話されていたように、こり固まった流れだけでなく、地域住民と話しながら何を求めているのか、何を行うことが地域住民の意識を高める事になるのかを考えていきたいです。
- 講師の先生がどの意見も傾聴し、すべてを受け入れる、ほめるという流れも、今後の活動への励みともなり、参考になりました。再度、いただいた資料を読み返します。
- コーディネーターの8つの役割の大切さを実感できました。
- 住民主体が基本という事を忘れてはいけないと感じた。自分の考えを改めさせられた。
- 具体的な事例、話があり、頭に入りやすかったです。
- 机上だけでなく、実践のなかで身につけていくと感じました。特に客観的データの作成の必要性を感じています。

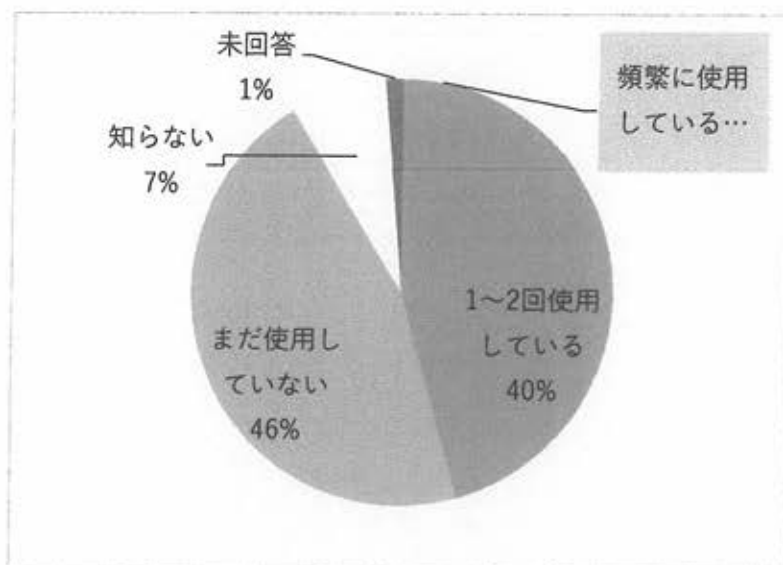
⑨「大野城市暮らしのもやい帳」に関するアンケート 調査結果

令和2年3月17日現在

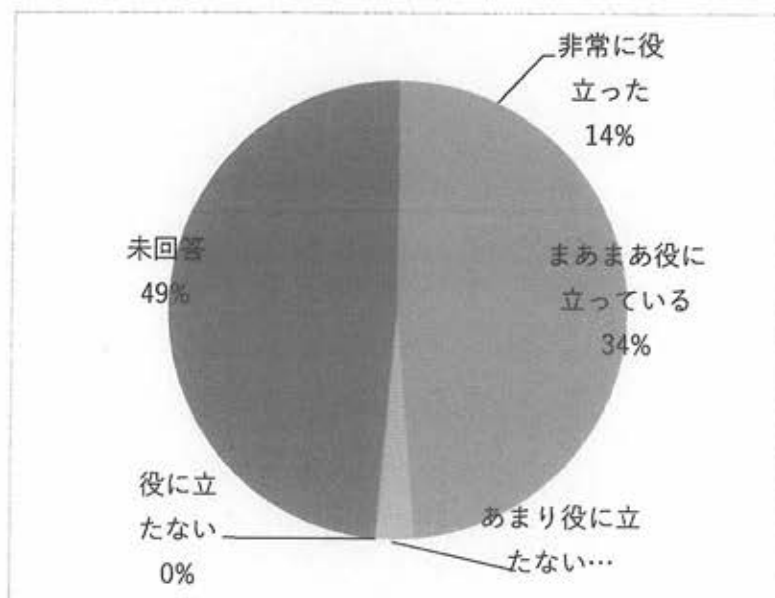
配布数 158件

回答数 149件 [回答率：94.3%]

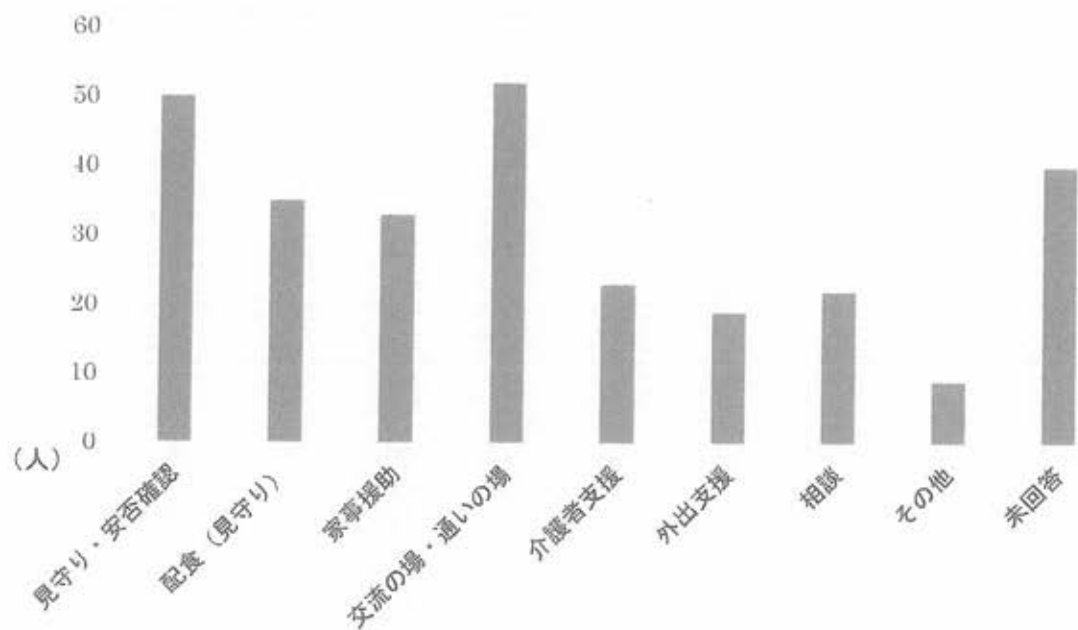
(1)「暮らしのもやい帳」を使ったことがありますか？



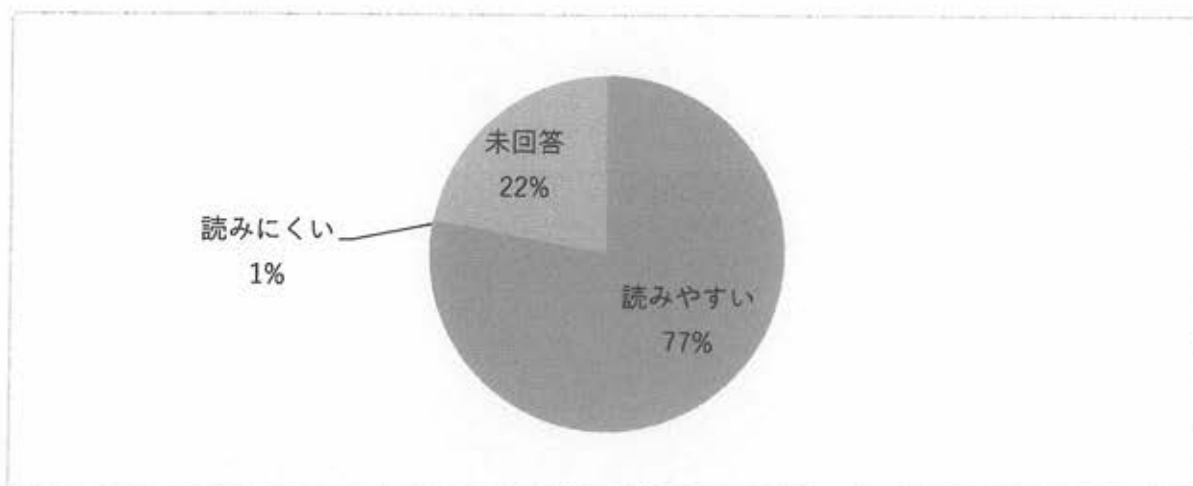
(2) 情報は役に立ちましたか？



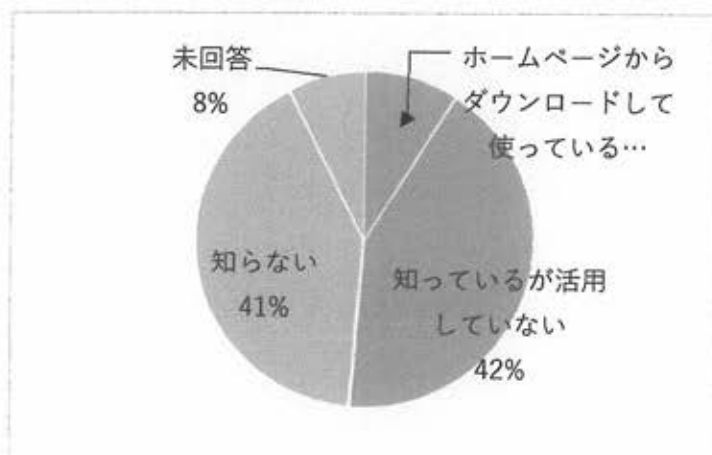
(3) 特にどのページが役に立ちましたか？



(4) 読みやすさはどうでしたか？



(5) このもやい帳は、大野城市のホームページからも閲覧・ダウンロードできますが、ご存じですか？



(6) どんな時に、活用できましたか？

○民生委員より

- ・高齢者より、外出や活動・食材宅配のお問い合わせがあった時。
- ・独居高齢者へ生活支援の現況及び情報を提供し、地域の見守りの際に活用している。
- ・引きこもりがちな高齢者へ外出できる場の情報をお知らせするのに役立った。
- ・公民館の行事等で多くの区民が集まる時に交流できる場があることをお知らせすることがある。
- ・独居の方が、粗大ごみを一人では出せないと言われ「おタスケさん」について情報提供した。
- ・突然一人暮らしになられた方、入院後生活に不安のある方に渡して見ていただいた。
- ・相談を受けた時話は十分に聞いて、自分の意見は言わず、公共の専門機関を教えることができる。
- ・南地区高齢者移動支援事業「ふれあい号」の説明。バス停に連れて行き、乗り方を教える。時刻表や地図を大きくコピーしてあげ、家に貼ってもらうなど活用できそう。

○福祉委員より

- ・お一人暮らしの方が亡くなられ、遠方の家族より葬儀場・遺品整理について相談があり、参考にしてお知らせした。
- ・童謡・唱歌を歌うサークルを紹介した。

○シニアクラブより

- ・ボランティア活動で訪問先の選定などに利用している。

(7) その他、ご感想やご意見を。ご自由にお書きください。

- ・多くの市民に配布することを検討してほしい。配布部数を多くしてほしい。(シニアクラブ)
- ・色々な情報が1冊にまとめているので、知りたい情報がある時に便利であり、安心感がある。(民生委員)
- ・他の区がどんなことをやっているのかが分かる。(民生委員)
- ・各公民館での活動内容(年齢・会費)が分かるので、区の福祉部の参考にしたい。(福祉委員)

◎課題と改善点

- ①第3版制作時には、配布対象に福祉推進委員を追加。
- ②通いの場において、「ボランティア側も募集しています」というところには、マークをつけるなどの工夫をし、支える側の人材呼びかけも行う。
- ③公民館で行われているミニディなどの活動とそれ以外(個人で行っている習い事)の区別をする。(公)などの印をつける。
- ④南地区東地区高齢者移動バス「ふれあい号」「おげんき号」のルートや時刻表の掲載検討。

⑤もやい帳の活用方法について…見守りの際に持ち歩きやすいようなサイズに変更するなどの工夫。

⑩相談事業(心配ごと相談)アンケート集計結果



相談事業アンケート(聞き取り)

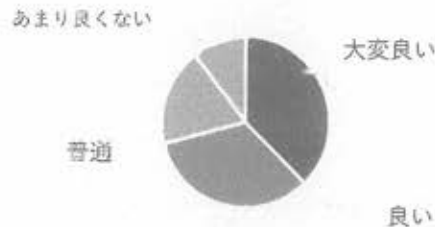
- ◆実施期間：令和元年7月～8月の2ヶ月間
- ◆実施方法：職員による聞き取り
- ◆心配ごと相談開催回数：16回(コミュニティセンター法律相談含む)
- ◆有効回答数：48

①相談事業について何で知りましたか？

- | | | |
|-------------------|-----|--------------------------------|
| a.大野城市の広報誌を見て | ×23 | |
| b.社協だより『ふくしんぼ』を見て | ×2 | |
| c.関係機関から | ×12 | 社協より×3
市役所より×8
まどかびあより×1 |
| d.知り合いから | ×2 | |
| e.その他 | ×8 | ネット・ホームページを見て×3
以前にも利用した×4 |

②本日の相談はいかがでしたか？

- | | |
|-----------|-----|
| a.大変良い | ×18 |
| b.良い | ×16 |
| c.普通 | ×9 |
| d.あまり良くない | ×5 |
| e.悪い | ×0 |



- 質問に対する的確に答えてもらい、満足できた。
- 親切だった。丁寧にアドバイスしてもらえた。
- きちんとアドバイスをもらったので解決できそう。
- 分かりやすかった。また利用したいと思う。
- よく話を聞いてもらえた。丁寧に助言いただき、良かった。
- 分からないことを親切に教えてもらえた。こちらの話をじっくり聞いてくれたのが嬉しかった。
- 最後には励ましの言葉までかけていただいた。
- アドバイスをもらい、今後の解決に向けての方向性が見えてきた。
- 解決した訳ではないが、とても参考になった。聞きたかった事については全て答えてもらえた。
- 今後の道筋が見えた。
- 話せてスッキリした。今後の流れが分かった。
- 分かりやすく端的に説明してもらえた。何をすべきなのかが分かった。
- ゆっくりと話を聞いてくれたので良かった。
- 良いアドバイスをもらったので良かった。
- とてもやさしい先生で良かった。
- その場で色々のご助言いただき大変助かりました。
- 真剣に話を聞いてもらえた。すぐに答えられない事も、調べてから連絡をくれるとのこと、とても親切だと思った。
- とても分かりやすく親切に教えていただいた。次に何を準備すべきかが分かった。
- 聞きたいことに対して全部答えていた。次の手を教えていただいた。
- スッキリした。心配していた事が、焦って行動しなくてもよいと分かり、安心した。
- こうしたらよいとアドバイスをもらった。何を言って良くて何を言って悪いのかよく分かった。
- 弁護士によっては悪徳な人もいるのだろうが、今日の先生みたいな人もいると分かった。
- 分からないことを教えてもらえて良かった。
- どうしたら良いのかを教えてもらえて良かった。
- 曖昧な事を言わず、はっきりとした意見を言ってもらえたのでスッキリした。
- もっと早く相談すれば良かった。今日は来て本当に良かった。
- いくつかの案を提案してもらえたのが良かった。
- 自分では分からないことを、相談内容を整理し、明確に説明してもらえた。

- 分かりやすく説明してもらえたのが良かった。
- 法テラスを紹介されたのは良かった。
- 2回目だったが、やはり言われる内容は同じだったので、今後の動きようが分かった。
- 基本的な考え方・方法論が分かった。
- 具体的な解決にはならないが、話を聞いてもらえて良かった。
- 予想通りの回答だった。
- 想像していた答えであった。
- 今日の相談で解決するかと思っていたが、できなかった。
アドバイスはもらえたので、それを実行していこうと思う。
- 次回の本格的な相談に向けての道筋ができたので良かった。
- 無料・短時間なので、深い話はできないが、今後の方向性は見えてきた。話せて安心できた。
- 海外での話が絡むので、難しく「多分・・・」「恐らく・・・」という感じの答えが多かった。
よく分からないなりに一所懸命に対応していただいた。
- 具体的な解決とはならなかった。
- 悪いわけではないが、こんなものかなあという感じ。
- 明確なアドバイスが欲しかった。
- もっとハッキリと質問に対する答えが欲しかった。
- せっかく相談に来たのに「もっと準備してから来なさい」と怒られた。
何をどうしたら良いか分からないから来たのに・・・。
- 具体的な文章で提示し相談したが、解答がなかった。説得力がなかった。意に添わなかった。
- あまり(自分が思っていたような)アドバイスをもらえなかった。
建設業の専門的な相談だったので、相談先として違っていたのかもしれないが・・・。
- もっと具体的なアドバイスが欲しかった。
弁護士会を紹介されたが、その前にもう少し教えてほしかった。

③時間はどうでしたか？

- | | |
|-----------|-----|
| a. ちょうど良い | ×24 |
| b. 普通 | ×14 |
| c. 足りない | ×10 |
| d. 多い | ×0 |
| e. その他 | ×0 |

- しっかり話せた。
- ちゃんと解決できたので良かった。
- 時間を過ぎてまで対応してくださり、本当に感謝です！
- 準備もしてきたし、十分話せた。
- 聞きたいことは全て聞けたので満足。
- 今日はまだ具体的な相談ではなかったので、15分位でちょうど良かった。
- 解決した訳ではないが、初回の相談としてはちょうど良かった。
- 今日は自分も漠然とした感じで相談に来たので、この位の時間でちょうど良かった。
- 1回の時間はこの位で良い。また相談したい時は改めて来るので。
- 複雑な話ではなかったで、これ位でちょうど良かった。
- 込み入った話ではなかったので。
- 聞きたいことは1つだけだったので。
- こんなもんじゃないかな・・・。
- 相談する内容を事前に整理して来たので。
- 15分～20分と聞いていたが、それ以上話せたのは良かった。それでもやはり足りないと思う。
- 30分近く話せたので良かったが、もし15分だったら足りなかったと思う。
- 20分～30分くらいが良い。
- 30分くらいあれば良いかなと思う。
- 30分～40分くらいあれば良かった。
- 時間内(10分位)で終わった。
- 今回はこれ位で良いが、次回はもっと話せたら・・・と思う。
- 1時間くらいあるといいかと思った。
- もう少し時間があつた方が良いかも。
- 自分の準備不足もありますが・・・もっと聞いて欲しかった。
- もっと色々聞きたかった。
- もう少し聞きたかったが、無料だし仕方ないとも思う。
- もう少し話したかった。
- もっと話したかったし、聞いて欲しかった。

④その他、相談しやすくなる為のヒントやご指摘はありませんか？
来やすさ・気軽さなど、もっとこうすれば・・・

- 皆さんの対応がとても良かった。足が悪いので、支えてもらったり、ゆっくり案内してもらったり。30年くらい前にも利用したことがあるが、とても助かる。
- 社協の雰囲気はとても良い。相談しやすい。皆さん笑顔で優しく対応してもらえるので安心する。
- 丁寧に対応してもらえて感謝しています。
- 丁寧に相談に乗っていただき、とても感謝しています。
- このような催しはとてもありがたい。他の皆さんも感謝していると思う。
ちょっと相談できるだけで安心できる。
- 今のままで十分です。丁寧に対応していただきました。
- 気軽に相談できるのでありがたい。
- 何度も利用し、お世話になってます。
- 予約枠と当日受付枠が両方あるのが良い。当日の流れで臨機応変に対応してもらえて助かった。
- 大野城社協はいつもしっかり話を聞いてくれるので相談しやすい。
(春日市よりよっぽど優しい・・・)ありがとう。
- 土地の人間ではないので、不慣れだったが、案内が丁寧で分かりやすかった。
- 今後も利用したいと思います。ありがとうございました。
- 市報を見て利用したが、もっと大きくPRしてもらえると、より目につきやすく、
多くの人の相談に繋がるのではないかな？
- 弁護士に依頼しなくてもできることを教えてほしい。
- 事前に市と連絡を取っていたのだから、事前準備(必要ならば自分も用意したのに)ができていれば、
限られた時間をもっと有効に使えたのでは？込み入った案件なので。
- 特にありません。今のままで十分です。
- 特にない。満足できた。
- 何回も相談できるのか？
- 場所(中コミ)が分かりにくかった。
- 場所が分かりにくかった。(間違えてまどかびあに行った)
- 先生によって、対応・雰囲気が違う。
- 先生によって、ずいぶん対応が違っているように感じた。
- もう少し話しやすい態度だといえると思う。
- 話しやすい態度ではなかった。厳しい先生だった。
- 先生によって、得意分野・不得意分野があるのかなあと思った。
- 知らない人も多いのでは？「こんな事で相談していいの？」と悩むし、相談するには勇気が必要。
- 予約した時点で、事前に相談内容や資料に目を通してもらえると、もっと的確にアドバイスが
もらえるのかも？その場でパッと読むだけの返答は難しいのでは？
- 事前に相談内容を伝えられたら、限られた時間を有効に使えるのではないかな？
- 記入用の鉛筆だけでなく、消しゴムもあれば・・・。
- 駐車場が満車だったので困った。改善してもらいたい。
- 特にない。×4

⑪ ふくしフェスティバル 2019 来場者アンケート集計結果

アンケート回収数	449
----------	-----

問 1	あなたの学年または年齢を教えてください。		
	① 未就学児	36	8.0%
	1年生	27	6.0%
	2年生	23	5.1%
	3年生	23	5.1%
	4年生	23	5.1%
	5年生	18	4.0%
	6年生	11	2.4%
	中学生	8	1.8%
	高校生	1	0.2%
	② 10代後半	18	4.0%
	③ 20代	29	6.5%
	④ 30代	63	14.0%
	⑤ 40代	88	19.6%
	⑥ 50代	16	3.6%
	⑦ 60代以上	37	8.2%
	※ 未回答	28	6.2%
	計	449	100.0%

問 5	今回の内容はいかがでしたか。また、その理由をお聞かせ下さい。		
	① よかった	370	82.4%
	② ふつう	32	7.1%
	③ よくなかった	0	0.0%
	※ 未回答	47	10.5%
	計	449	100.0%

問 2	あなたのお住まいの地区に○印をつけてください		
	① 大野城市	290	64.6%
	② 市外	109	24.3%
	※ 未回答	50	11.1%
	計	449	100.0%

問 3	ふくしフェスティバルのこと何で知りましたか。		
	① 広報「大野城」	216	45.4%
	② 市ホームページ	20	4.2%
	③ 出演者・出店団体から聞いて	84	17.6%
	④ イベント情報サイト	25	5.3%
	⑤ 家族・友人から聞いて	55	11.6%
	⑥ その他	30	6.3%
	※ 未回答	46	9.7%
	計	476	100.0%

※複数回答あり

※問3 その他回答

チラシ	12
通りすがり	9
出演者として	7
福岡県だより	1
学校	1

問 4	印象に残ったもの、楽しかったものなど、下から選んで番号を記入してください。また、理由があれば教えてください。		
	①	スタンプラリー	203 26.3%
	②	大ホールステージ	45 5.8%
	③	ギャラリーモールステージ	13 1.7%
	④	のってさわってくらべてみよう！ (車いすの乗り比べ)	21 2.7%
	⑤	赤い羽根共同募金啓発イベント	13 1.7%
	⑥	ボランティアコーナー	26 3.4%
	⑦	茶道体験	24 3.1%
	⑧	作ろう！わたしだけのキーホルダー	81 10.5%
	⑨	おいしくて簡単にできる介護食	34 4.4%
	⑩	子ども遊びコーナー	40 5.2%
		つどい場P a l ～みんなのいこいの場～	
	⑪	権利擁護セミナー	4 0.5%
	⑫	おねんね&おすわりアート	9 1.2%
	⑬	わくわくカフェ	31 4.0%
	⑭	雑貨マルシェconnect	21 2.7%
	⑮	パステルアート体験コーナー	19 2.5%
	⑯	体験しよう！福祉の車	44 5.7%
	⑰	福祉用具体験&福祉情報発信コーナー	12 1.6%
	⑱	らんらんブース	3 0.4%
	⑲	出店コーナー	22 2.8%
	⑳	日本赤十字社コーナー	37 4.8%
	㉑	障がい者スポーツ体験コーナー	33 4.3%
	※	未回答	37 4.8%
	計		772 100.0%

※複数回答あり

問 4

番号	理由
①	子供と楽しくまわれた/親子で楽しめた
	楽しかった/おもしろかった/集めるのが楽しかった
	いろいろなところをまわれた/いろいろなところをまわるきっかけになった/全てのイベントをまわれたから
	こどもが楽しめながら学べた
	子供といろんな体験ができて良かったです/子どもと一緒に色々回れたから
	いろいろなところにスタンプがあり、とてもおもしろかった
	スタンプラリーはいっぱいスタンプ押せた/スタンプ押しが楽しかったから。
	いろんな所に回って、さらに知識もふかまるから/スタンプを押しながら学べたから
	スタンプを探す合間に、色々な体験をすることができたから
	様々な催しがわかるから。何を見ようか考えなくても、大まかなルートが決められるから
②	いろいろな場所にいけて良かったから。
	体験できていろいろと楽しかったです。/色々な体験ができた。
	ダンスが楽しかったです
	(らららシニアネットオーケストラ) シニアの方々の演奏が素敵。衣装も「クリスマスバージョン」でかわいいですね。
	認知症の寸劇が笑いもあり楽しかったです
	(コスモ★KID'S) 子供達の踊りと先生の歌が良かった！
	ジュニアダンスで、小さな子供たちが一生懸命だったから
③	ジュニアダンスで楽しくおどった/子どもがダンスのステージに参加したので
	子供ダンス2チームのステージが楽しかったです。
	いろいろな団体が出演しており、趣向がよかった
④	フラダンス
	(マジックショー) おもしろかった/楽しかった/感激した/すごかった
⑤	ショーくんと会えたから。
	はじめて車いすに乗った/初めて体験して印象的だった
	なかなか体験する機会がないため
⑥	子供が関心をもっていた
	かっこいいから
	知れてよかった
⑦	頑張ってアピールしてた
	福祉体験。クイズやゲームで体験できる所が良く、その方が相手に伝える勉強になったから。
	手話を教えてもらったこと
	手話ができたのがよかった/手話が楽しかった/手話の歌(パブリカ)が面白かった
	ふだんなかなかできないようなことができたから
⑧	点字や手話がおもしろかったから
	シール作りを子供が楽しんでた
	おいしかった
⑨	キーホルダーのこうさくが楽しかった
	子供が楽しめたから/子ども喜んでたから
	子供といろんな体験ができて良かったです
	お母さんにアンパンマンのかおをかいってもらったから
	親子で楽しめたから/子どもと楽しめたから
	きれいなキーホルダーができたから
	絵をかいいたりするのが楽しかった/作るのが楽しかった/体験できていろいろと楽しかったです。
	自分の好きなキーホルダーを作れてよかったです/自分だけのオリジナルが作れて楽しかった
⑩	キーホルダーはかわいい材料がいっぱいあって、作るのはとてもたのしかった。
	介護食が意外と美味しかった/おいしかったから。
	介護で思ったよりもはやく簡単にできる事/簡単にできそうだったから。
	つくってみたいとおもった
⑪	とても勉強になりました。

番号	理由
⑩	色々作れたのとスタッフがよかった
	工作がおもしろかった/いっぱいつくれて楽しかった/いろんな材料をつかってつくれた/クリスマスツリーを作れた。
	カレンダー作りを楽しんで作っていたから/子どもが楽しんでいた
	ハンドマッサージ
⑪	学べた/大変勉強になりました
⑫	娘がへんしんした
	かわいい写真がとれました
⑬	わかったことがおもしろかった
⑮	体験できていろいろと楽しかったです。
	可愛いものが多い。
⑯	初めてしりました/初めて体験したから
	ふだん体験できない事をする事ができたから/ふだんなかなか接する機会がない経験ができ、考えることができました
	工夫されてて使いやすそうだった
	子供が車いすに乗り、福祉車両に乗ったことです。貴重な体験でした
	車内や間近で見ることが出来たから
	日頃乗ってみたいと思っていたのでよかった
	タント（車種）にバギータイプの車イスが乗せられるのを知った。
⑰	色んな話が聞けて勉強になりました。
	日頃乗ってみたいと思っていたのでよかった
	ふだんなかなか接する機会がない経験ができ、考えることができました
	車いすの体験など、アシストの車いすを押させてもらい知ることができてよかった
	役に立った参考になった
⑱	車いすの体験がよかった
	体験できていろいろと楽しかったです。
⑲	たくさん商品が充実していたから
	肉まんがおいしかった
	すごく参考になりました
⑳	写真がとれたのがうれしかった/制服を着て子供の写真を撮ってくれて記念になり、とてもよかった
	知らない内容が知れた
	子どもが喜んだ
	救急車に乗れたから
21	キャラクターが可愛かった。
	障がい者スポーツ体験はふだんできないことだから
	射的や車いすなど子どもたちが楽しんでいた
	スポーツ用車いすが印象に残った
	ビームライフルの体験が楽しかった
	車イスバスケットボールができて楽しかったです。/車イスバスケの体験ができた。
未選択	ライジングの選手に会えた。/バスケットがすきだから。
	全体的に子供がたのしめてよかったです
	乗り物に乗れたから
未選択	いろいろなところを見れたことができたから
	体験などができておもしろかった

問5 理由

【①よかった】

- ・とっても良かったです。どのブースも楽しかったです。
- ・車いすでも楽しめて良かった
- ・障がい者達が一生懸命なところ！
- ・知らない事が知れて良かったです
- ・ゆっくりまわれるところ
- ・色々楽しく、勉強になった。
- ・いろいろな種類のことが一日でふれることができた
- ・いろんな事を学べる機会になりました
- ・子供がとってもいろいろなことに興味を持って良かったです。
- ・子供といろんな体験ができて良かった

- ・小さな子ども連れでも無理なく楽しめました
- ・普段経験できないことをたくさんできてありがたかったです
- ・なかなかできないことを一日で体験できてとてもよかった
- ・はじめてこのようなフェスに参加したが、老若男女とわず楽しむことができると思いました。
- ・初めて参加しました。また来年も参加したいです
- ・前よりもっとたのしかった
- ・次回も参加したいと思う
- ・皆さん明るく、元気さが伝わりました
- ・スタッフの皆さん、ご苦労様でした
- ・もっと多様な人々と関われるようになればと思う。

- ・スタンプラリーでいろんなところを回れた
- ・スタンプラリーの景品がいい
- ・車イスバスケの技術を見ることができた。カッコ良かったです。
- ・障がい者じゃなくても車いす体験ができた
- ・つえなど、いろいろおしえてもらえた。とても良かったです。福祉車両もよかったです
- ・ボランティア体験が楽しかった
- ・カフェでお茶をいただいたり、あたたかい気持ちになりました。
- ・出店も雑貨から食べ物まであり、ステージ等楽しみながら「ふくし」を勉強することができました。
- ・屋外のコーナーが終了するのが早くて残念だった

【②ふつう】

場所がわかりづかった